

大学番号：国018

注3

[平成28年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

意見伺い

宇都宮大学 地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科
建築都市デザイン学科
社会基盤デザイン学科

注2

【意見伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 宇都宮大学
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部総務課

職名・氏名 アラ イ タカシ
荒 井 隆

電話番号 028-649-5011

（夜間） 028-649-5011

F A X 028-649-5027

e-mail syosoumu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

目次

地域デザイン科学部

<コミュニティデザイン学科>	<建築都市デザイン学科>	<社会基盤デザイン学科長>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	11
3. 施設・設備の整備状況、経費	69
4. 既設大学等の状況	70
5. 教員組織の状況	72
6. 留意事項等に対する履行状況等	97
7. その他全般的事項	99

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 宇都宮大学

(2) 大学名

宇都宮大学

(3) 大学の位置

〒321-8585
 栃木県宇都宮市陽東7の1の2
 (〒321-8505
 栃木県宇都宮市峰町350)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(イシダ トモヤス) 石田 朋靖 (平成27年4月)		
学部長	(ツカモト ジュン) 塚本 純 (平成28年4月)		
学科長	コミュニティデザイン学科長 (ナカムラ ユウジ) 中村 祐司 (平成28年4月)		
	建築都市デザイン学科長 (コオリ キミコ) 郡 公子 (平成28年4月)		
	社会基盤デザイン学科長 (イケダ ヒロカズ) 池田 裕一 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合 (平成28年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科 学士 (コミュニティデザイン学)	4年	50人	0年次人	200人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	50人 (-) [-]	-人 (-) [-]	1.10倍	
志願者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	169 (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	124 (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	59 (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	55 (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	-		-		-		1.1			

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) 55	[-] (-) -		
2年次	/		[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -		
3年次			/		[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	
4年次					/		[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -
計			[-] (-) -	[-] (-) -			[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) 55	[-] (-) -

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合 (平成28年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
地域デザイン科学部 建築都市デザイン学科 学士 (工学)	4年	50人	3年次 3人	206人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	- 人 (-) [-]	- 人 (-) [-]	- 人 (-) [-]	- 人 (-) [-]	- 人 (-) [-]	- 人 (-) [-]	50人 (-) [-]	- 人 (-) [-]	1.06倍	
志願者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	223 (-) [2]	- (-) []		
受験者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	184 (-) [0]	- (-) []		
合格者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	56 (-) [-]	- (-) []		
B 入学者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	53 (-) [-]	- (-) []		
入学定員超過率 B/A	-		-		-		1.06			

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) 53	[-] (-) -		
2年次	/		[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -		
3年次			/		[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	
4年次					/		[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -
計			[-] (-) -	[-] (-) -			[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) 53	[-] (-) -

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	人	0人	平成25年度	人	人		#DIV/0! %
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	0人	平成26年度	人	人		#DIV/0! %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	53人	0人	平成28年度	0人	0人		0 %
合計	53人	0人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合 (平成28年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科 学士 (工学)	4年	40人	3年次 3人	166人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	- 人 (-) [-]	- 人 (-) [-]	- 人 (-) [-]	- 人 (-) [-]	- 人 (-) [-]	- 人 (-) [-]	40人 (-) [-]	- 人 (-) [-]	1.07倍	
志願者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	93 (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	73 (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	47 (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	43 (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	-		-		-		1.07			

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) 43	[-] (-) -		
2年次	/		[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -		
3年次			/		[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	
4年次					/		[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -
計			[-] (-) -	[-] (-) -			[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) 43

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	人	0人	平成25年度	人	人		#DIV/0! %
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	0人	平成26年度	人	人		#DIV/0! %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	43人	0人	平成28年度	0人	0人		0 %
合 計	43人	0人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
科 導 初 目 入 期	新入生セミナー	1前	2			2		1			共同・※演習
	リテラシー科目										
基 盤 教 育 科 目	Integrated English I A	1前	2								兼6 兼2 カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)
	Integrated English I B	1前	1								兼8
	Integrated English II A	1後	2								兼6 兼2 カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)
	Integrated English II B	1後	1								兼8
	Advanced English I (Intensive Reading)	2前後		1							兼4
	Advanced English I (Pleasure Reading)	2前後		1							兼2
	Advanced English I (Academic Writing)	2前後		1							兼2
	Advanced English I (Essay writing)	2前後		1							兼4
	Advanced English I (Public Speaking)	2前後		1							兼2
	Advanced English I (Presentation)	2前後		1							兼4
	Advanced English I (Discussion&Debate)	2前後		1							兼2 カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)
	Advanced English I (Speech Clinic)	2前後		1							兼1 兼4 カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)
	Advanced English I (Vocabulary Building)	2前		1							兼2
	Advanced English I (Communicative Grammar)	2前後		1							兼4
	Advanced English I (Media English)	2前後		1							兼2
	Advanced English I (Cinema English)	2前後		1							兼2 カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)
	Advanced English I (TOEIC)	2前後		1							兼5
	Advanced English I (TOEFL)	2前後		1							兼2 カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)
	Advanced English I (EAP)	2前後		1							兼4
	Honors English A	1・2・3・4前		1							兼2
	Honors English B	1・2・3・4後		1							兼2
	Honors English C	1・2・3・4前		1							兼2
	Honors English D	1・2・3・4後		1							兼2
	Honors English E	1・2・3・4前		1							兼2
	Honors English F	1・2・3・4後		1							兼2
	Honors English G	1・2・3・4前		1							兼2
	Honors English H	1・2・3・4後		1							兼2
	Honors Camp A	1・2・3・4前		2							兼1
	Honors Camp B	1・2・3・4前		2							兼1
	Honors Camp C	1・2・3・4前		2							兼1
	Honors Camp D	1・2・3・4前		2							兼1
	Overseas Study A	1・2・3・4前		1							兼1
Overseas Study A	1・2・3・4前		2							兼1 } 留学期間により単位認定	
Overseas Study A	1・2・3・4前		3							兼1 } 留学期間により単位認定	
Overseas Study A	1・2・3・4前		4							兼1 } 留学期間により単位認定	
Overseas Study B	1・2・3・4前		1							兼1 } 留学期間により単位認定	
Overseas Study B	1・2・3・4前		2							兼1 } 留学期間により単位認定	
Overseas Study B	1・2・3・4前		3							兼1 } 留学期間により単位認定	
Overseas Study B	1・2・3・4前		4							兼1 } 留学期間により単位認定	
Overseas Study C	1・2・3・4前		1							兼1 } 留学期間により単位認定	
Overseas Study C	1・2・3・4前		2							兼1 } 留学期間により単位認定	
Overseas Study C	1・2・3・4前		3							兼1 } 留学期間により単位認定	
Overseas Study C	1・2・3・4前		4							兼1 } 留学期間により単位認定	
Overseas Study D	1・2・3・4前		1							兼1 } 留学期間により単位認定	
Overseas Study D	1・2・3・4前		2							兼1 } 留学期間により単位認定	
Overseas Study D	1・2・3・4前		3							兼1 } 留学期間により単位認定	
Overseas Study D	1・2・3・4前		4							兼1 } 留学期間により単位認定	
スポーツと健康	1前		2								兼9 兼7 カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)
情報処理基礎	1前		2			1					※講義
とちぎ終章学総論	1後		1								※講義
人 文 学 科 系 科 目	哲学領域	西洋思想	1・2前		2						兼1
		現代思想	1・2後		2						兼1
		東洋思想	1・2前		2						兼1
		論理学	1・2前		2						兼1

基盤教育科目	人文科学系科目	哲学領域	西洋の倫理思想	1・2後	2														兼1		
		科学思想史	1・2前	2																兼1	
		東アジアの宗教と文化	1・2前	2																兼1	
		仏教における人間形成論	1・2前	2																兼1	
	心理学領域	認知心理学入門	1・2後	2																兼1	
		行動心理学入門	1・2前	2																兼1	
		実験心理学入門	1・2前	2																兼1	
		発達と学習の心理学	1・2後	2																兼1	
		パーソナリティ心理学概論	1・2前	2								1								兼1	
		障害者心理学	1・2前	2																兼1	
		子どもの言語とコミュニケーション入門	1・2後	2																兼1	
		心理学と人権	1・2前	2																兼1	
		学校臨床心理学	1・2後	2																兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
		言語習得論	1・2後	2																兼1	
	文学領域	日本文学 (古典)	1・2前後	2																兼2	
		日本近代文学講読	1・2前	2																兼1	
		日本の小説	1・2前	2																兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
		日本の古典	1・2後	2																兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
		中国文学	1・2前	2																兼1	
		韓国文学	1・2後	2																兼1	
ドイツ文学		1・2前	2																兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
フランス文学		1・2後	2																兼1		
比較文学		1・2前	2																兼1		
ロシア文学		1・2前	2																兼1		
芸術領域	ヨーロッパ地域文化論	1・2前	2																兼1		
	現代美学	1・2後	2																兼1		
	芸術学	1・2前	2																兼1		
	芸術と自然	1・2前	2																兼1	隔年	
	音楽通論	1・2後	2																兼1		
	音楽の魅力	1・2後	2																兼1		
	器楽合奏概論	1・2後	2																兼1	カリキュラムの見直しにより科目を廃止 (28)	
	管打合奏演習	1・2後	2																兼1		
	日本文化A	1・2前	2																兼1		
	日本文化B	1・2後	2																兼1		
人文総合領域	多言語コミュニケーション学A	1・2前	2																兼1		
	多言語コミュニケーション学B	1・2後	2																兼1		
	日本語の表記	1・2前	2																兼1		
	論理表現の技術	1・2後	2																兼1		
	Japanese Communication Arts	1・2後	2																兼1		
	ことばから見た人間	1・2後	2																兼2	共同	
	社会言語学概論ー日本語の変遷ー	1・2前	2																兼1		
	成人教育と参加型学習	1・2後	2																兼1		
	教育の裏側に光を当てる	1・2前	2									1							兼1		
	生活美学	1・2前	2																兼1		
社会科学系科目	法学領域	日本国憲法	1・2前後	2																兼3	
	法学入門	1・2前	2																	兼1	
	国際化と人権	1・2前	2																	兼1	
	知的財産権概論	3・4後	2																	兼1	※演習
	政治学領域	国際政治史	1・2前	2																兼1	
	戦争と平和をめぐる諸問題	1・2後	2																	兼1	
	現代政治の理論と実際	1・2後	2								1									兼1	
	グローバル・ガバナンス論入門	1・2前	2																	兼1	
	政治の世界	1・2前	2																	兼1	
	現代日本政治論	1・2後	2																	兼1	
経済学領域	経済学 I	1・2前	2																	兼1	
経済分析入門	1・2前	2									1										
資本市場の役割と証券投資	1・2後	2																		兼1	

基盤教育科目	経済学領域	資本論を読む	1・2前	2						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
		応用経済学入門	1・2後	2		1						
		数理経済学入門	1・2前	2						兼1		
		ゲーム理論入門	1・2後	2						兼1		
		農業経営入門	1・2前	2		1						
	社会学領域	社会学入門	1・2後	2						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28) 担当 中川 敦 (准教授) 平成28年6月 提出予定	
		応用社会学	1・2後	2		1						
		現代日本の社会	1・2前	2						兼1		
		マスコミ入門	1・2後	2						兼1		
		オセアニア民族誌	1・2後	2						兼1		
		文化人類学入門	1・2後	2						兼1		
		環境と国際社会	1・2前	2						兼1		
	地理学領域	多文化共生論入門	1・2前	2						兼1		
		人文地理学入門Ⅰ	1・2前	2						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28) 担当 鈴木 富之 (講師) 平成28年6月 提出予定	
		人文地理学入門Ⅱ	1・2後	2						兼1		
	農村空間論	1・2後	2						兼1			
	歴史学領域	地誌学	1・2後	2				1				
		歴史学入門	1・2前	2						兼1		
	社会科学系科目	歴史学領域	歴史と民族	1・2後	2						兼1	
			歴史と文化	1・2後	2						兼1	
地域の歴史			1・2後	2						兼1		
社会総合領域			中東の社会と文化	1・2前	2						兼1	
			社会開発入門	1・2前	2						兼1	
			遊びの理論とゲーム開発	1・2後	2						兼1	
			遊び輪と遊び指導	1・2前	2						兼1	※講義
			住まいづくり・まちづくり入門	1・2前	2						兼1	隔年
			オイコス入門	1・2前	2						兼1	※講義
			障害者問題入門	1・2前	2						兼1	※講義
		数や図形の絵本づくり	1・2後	2						兼1	※講義	
		栃木県の歴史と文化	1・2前	2						兼1	※講義	
		社会福祉入門	1・2後	2						兼1		
社会総合領域		環境教育	1・2前	2						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
		地域環境社会学	1・2後	2						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
		災害復興学入門	1・2後	2						兼1		
		グローバル化と外国人児童生徒教育	1・2後	2						兼6	ムニバス・共同	
		国際協力論入門	1・2前	2						兼1		
		伝統染織と感性	1・2後	2						兼1		
		著作権法入門	1・2後	2						兼1		
	教科書に見る歴史と社会	1・2後	2						兼1			
	人と自然の共生を考える	1・2通	2						兼1	集中		
	希望の地域社会論	1・2後	2						兼4	ムニバス		
自然科学系科目	数学領域	地域振興と大学の役割	1・2後	2					兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
		農業と文明	1・2後	2					兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
		世界の農業	1・2前	2						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
		アフリカ学入門	1・2前	2						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
		中国事情	1・2後	2						兼1		
	物理学領域	グローバル韓国学	1・2前	2						兼1		
		科学・技術・教育・社会を考える	1・2後	2						兼1		
		セクソロジー入門	1・2後	2						兼1	※講義	
		現代数学入門	1・2後	2						兼1		
		電気電子数学入門	1・2前	2						兼1	※講義	
物理学領域	Mathematicaによる微積分入門	1・2前	2						兼1			
	Mathematicaによるデータ解析入門	1・2後	2						兼1			
	振動の科学	1・2前	2						兼1			
	数学の世界	1・2前	2						兼4	ムニバス カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
	教養物理	1・2前	2						兼3	ムニバス		
物理学領域	物理学入門	1・2前	2						兼1			
	理工学最前線	1・2前	2						兼1			
	Mathematica入門	1・2前後	2						兼1			
	放射線科学入門	1・2前	2						兼1			
	エレクトロニクス科学史	1・2後	2						兼1			

基盤教育科目	自然科学系科目	物理学領域	バイオメテイクス入門	1・2後	2							兼1		
		化学領域	地球環境と化学	1・2前	2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
			環境と生物化学	1・2前	2								兼1	
			不思議な化学	1・2後	2								兼1	
			水素とエネルギー	1・2後	2								兼1	
			リメディアル化学	1・2前	2								兼1	
			物質・材料の機器分析入門	1・2前	2								兼1	
			微生物の化学	1・2後	2								兼1	
		ノーベル化学賞周辺の化学	1・2後	2								兼1		
		生物学領域	人間生活と植物	1・2後	2								兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (28)
	食料生産の生物学		1・2後	2								兼1		
	21世紀を支える熱帯植物		1・2後	2								兼1		
	野外における野生動物識別テクニックの基礎		1・2前	2								兼1		
	野外における鳥獣識別テクニックの基礎		1・2前	2								兼1		
	基礎生物学	1・2前	2								兼1			
	ウイルスの世界と生物の世界	1・2前	2								兼1	※講義 カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
	美味しさを科学するーミシュランガイド宇都宮をつくらうー 人体の中の小宇宙	1・2後	2								兼1			
	情報科学領域	C言語・プログラミング入門	1・2前	2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
		プログラミング応用	1・2前	2								兼1		
		グラフィックス入門	1・2後	2								兼1		
インターネットのしくみ		1・2後	2								兼1			
Webのしくみ		1・2後	2								兼1			
身のまわりのICT		1・2後	2								兼1			
ワイヤレス通信のしくみ		1・2後	2								兼1			
医用画像工学入門	1・2前	2								兼1				
理学領域	地球環境と生物事件史	1・2前	2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
	身近な気象学	1・2後	2								兼1			
健康科学領域	肥満の科学	1・2後	2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
	健康管理学概論	1・2後	2								兼1			
	健康のためなら死んでもいい!?	1・2前	2								兼1			
	生活習慣と健康	1・2前	2								兼1			
自然総合領域	バレーボールの科学	1・2後	2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
	スポーツトレーニング論	1・2後	2								兼1			
自然総合領域	人間の感覚を測る	1・2前	2								兼1	※講義 集中 共同・集中 共同 カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
	生物の多様性とは何か	1・2後	2								兼1			
	雑草と人の暮らし	1・2後	2								兼1			
	雑草観察入門	1・2前	2								兼1			
	雑草と里山のフィールド演習 I	1・2前	1								兼1			
	雑草と里山のフィールド演習 II	1・2後	1								兼2			
	創造ものづくり入門	1・2後	2								兼2			
初習外国語系科目	ドイツ語基礎 I	1・2前	1								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
	ドイツ語基礎 II	1・2後	1								兼1			
	ドイツ語基礎 III	1・2前	1								兼1			
	ドイツ語基礎 IV	1・2後	1								兼1			
	ドイツ語応用 I	1・2前	1								兼1			
	ドイツ語応用 II	1・2後	1								兼1			
	フランス語基礎 I	1・2前	1								兼2			
	フランス語基礎 II	1・2後	1								兼2			
	フランス語基礎 III	1・2前	1								兼1			
	フランス語基礎 IV	1・2後	1								兼1			
	フランス語応用 I	1・2前	1								兼1			
	フランス語応用 II	1・2後	1								兼1			
	スペイン語基礎 I	1・2前	1								兼1			
	スペイン語基礎 II	1・2後	1								兼1			
	スペイン語基礎 III	1・2前	1								兼1			
	スペイン語基礎 IV	1・2後	1								兼1			
	スペイン語応用 I	1・2前	1								兼1			
	スペイン語応用 II	1・2後	1								兼1			
	中国語基礎 I	1・2前	1								兼2			
	中国語基礎 II	1・2後	1								兼2			
中国語基礎 III	1・2前	1								兼1				
中国語基礎 IV	1・2後	1								兼1				
中国語応用 I	1・2前	1								兼1				

初習外国語系科目	中国語応用Ⅱ	1・2後	1							兼1		
	タイ語基礎Ⅰ	1・2前	1							兼1		
	タイ語基礎Ⅱ	1・2後	1							兼1		
	タイ語基礎Ⅲ	1・2前	1							兼1		
	タイ語基礎Ⅳ	1・2後	1							兼1		
	タイ語応用Ⅰ	1・2前	1							兼1		
	タイ語応用Ⅱ	1・2後	1							兼1		
	朝鮮語基礎Ⅰ	1・2前	1							兼2		
	朝鮮語基礎Ⅱ	1・2後	1							兼1		
	朝鮮語基礎Ⅲ	1・2前	1							兼1		
	朝鮮語基礎Ⅳ	1・2後	1							兼1		
	朝鮮語応用Ⅰ	1・2前	1							兼1		
	朝鮮語応用Ⅱ	1・2後	1							兼1		
	総合系科目	野外調査論	1・2前	2							兼3	共同・※講義
		里山のサステナビリティを考える	1・2前	2							兼3	共同・集中・※講義
		人と自然をつなぐ・人と人をつなぐA	1・2前	1							兼2	共同・集中
		人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB	1・2前	1							兼1	集中・※講義
		実践・宇都宮のまちづくり	1・2前	2							兼1	
		一地方銀行の歴史に学ぶ“金融経済の仕組み”と“地域金融機関の役割”	1・2後	2							兼1	
地域金融機関とともに「地方創生」を考える		1・2後	2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
危機を見つめる力		1・2前	2							兼1		
3.11と学問の不確かさ		1・2前	2							兼8	オムニバス・共同	
食と生命のフィールド実践演習		1・2前	4							兼5	共同	
										兼6	担当教員退職のため担当教員数の変更 (28)	
男女共同参画社会を生きる		1・2後	2							兼2	共同・集中・※演習	
ものづくり体験		1・2後	2							兼2	共同	
宇大を学ぶ		1・2後	2							兼1	担当教員が退職したため担当教員数の変更 (28)	
栃木の里山に学ぶ (春夏編)		1・2前	1							兼1	集中	
栃木の里山に学ぶ (秋冬編)		1・2後	1							兼1	集中	
ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」		1・2前	2							兼1		
ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」		1・2後	2							兼1		
生きるということ		1・2前	2							兼1	担当教員が退職したため廃止 (28)	
「ぶろじえくと」をやってみる		1・2前	1							兼1	担当教員が退職したため廃止 (28)	
体験！ぶろじえくと		1・2前	2							兼1	担当教員が退職したため廃止 (28)	
感じる・考える・話す		1・2後	2							兼1	担当教員が退職したため廃止 (28)	
アクティブにとらえる現代社会		1・2後	2							兼1	担当教員が退職したため廃止 (28)	
サイエンスコミュニケーション入門～理系と文系の壁を超えよう		1・2前	2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
地域メディア演習		1・2後	2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
とちぎ終章学特講		1・2後	1			1					※講義	
とちぎ終章学演習Ⅰ		1・2前	2							兼3	共同・※講義	
とちぎ終章学演習Ⅱ	1・2前	2							兼1	※講義		
基盤キャリア教育科目	キャリア創造科目 自由科目	人間と社会	1・2・3・4前	2						兼1		
		キャリアデザイン	1・2・3・4後	2						兼2	共同	
		働くことの意味と実際	1・2・3・4前	2						兼1		
		実践企業人材論	1・2・3・4前	2						兼1		
		起業の実際と理論	1・2・3・4後	2						兼1		
		先輩に学ぶ	1・2・3・4前	2						兼1		
		より良く生きる	1・2・3・4前	2						兼3	オムニバス	
		企業のグローバル戦略とキャリア形成	1・2・3・4後	2						兼1		
		グローバル時代の企業経営	1・2・3・4前	2						兼1	集中	
		課題発見・解決型インターンシップ	1・2・3・4前	1						兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
		課題発見・解決型インターンシップ	1・2・3・4前	2						兼1		
		課題発見・解決型インターンシップ	1・2・3・4前	3						兼1		
		課題発見・解決型インターンシップ	1・2・3・4前	4						兼1		
		キャリア形成に資する活動	1・2・3・4前	1						兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
		キャリア形成に資する活動	1・2・3・4前	2						兼1		
		キャリア形成に資する活動	1・2・3・4前	3						兼1		
キャリア形成に資する活動	1・2・3・4前	4						兼1				
社会奉仕活動	1・2・3・4前	1						兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止 (28)			
社会奉仕活動	1・2・3・4前	2						兼1				
社会奉仕活動	1・2・3・4前	3						兼1				
社会奉仕活動	1・2・3・4前	4						兼1				

基盤教育科目	基盤キャリア教育科目	自由科目	国際協力活動	1・2・3・4前	1								兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止 (28)				
			国際協力活動	1・2・3・4前	2										兼1			
			国際協力活動	1・2・3・4前	3										兼1			
			国際協力活動	1・2・3・4前	4										兼1			
			実務体験活動	1・2・3・4前	1										兼1			
			実務体験活動	1・2・3・4前	2										兼1			
			実務体験活動	1・2・3・4前	3										兼1			
			実務体験活動	1・2・3・4前	4										兼1			
			特別体験活動	1・2・3・4前	1										兼1			
			特別体験活動	1・2・3・4前	2										兼1			
			特別体験活動	1・2・3・4前	3										兼1			
			特別体験活動	1・2・3・4前	4										兼1			
基盤教育科目	留学生日本語科目		アカデミック・ジャパニーズ	1前	1								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)				
			日本語アカデミック・リーディングⅠ	1前	1								兼1					
			日本語アカデミック・ライティング	1後	1								兼1					
			日本語アカデミック・リーディングⅡ	1・2・3・4後	1								兼1					
			日本語アカデミック・プレゼンテーション	1・2・3・4後	1								兼1					
			科学技術のための専門日本語	1・2・3・4前	1								兼1					
			人文社会系のための専門日本語	1・2・3・4前	1								兼1					
			日本事情	1・2・3・4前	2								兼1					
			専門導入科目			地域デザイン学序論A	1前	2			6	6	1				オムニバス	オムニバス
						地域デザイン学序論B	1後	2									兼12	
						地域デザイン学序論C	1後	2									兼10	
			共通専門科目	必修科目		地域デザイン訪問	1通	2			1	1	1				兼6	オムニバス・共同
地域の姿と課題Ⅰ	1前	1						1	1				兼2					
地域コミュニケーション演習	1前	1						1	3				兼8					
ワークショップ演習	3前	1							3				兼3					
地域プロジェクト演習	3通	2						6	6	1			兼3					
選択科目						G I S 演習	2後	1		1					兼2	オムニバス		
地域の姿と課題Ⅱ				3前	1		1											
地域デザイン倫理				3後	2									兼4				
基礎科目群						地域社会総論	1前	2			6	6	1				兼1	オムニバス
						まちづくり論	1後	2				1						
						ソーシャルスキル演習	2前	2				2						
	社会調査と地域	2前				2				1								
	社会調査法	2後	2															
	まちづくり特講	2後	2				4	2	1									
統計学基礎	2後	2				1					兼1							
専門教育科目	コミュニティデザイン学科専門科目		社会統計学	3前	2				1				兼1	※演習 オムニバス・※演習 留意事項に対応するため内容を変更、担当教員の追加 (28) 担当 阪田 和哉 (准教授) 平成28年6月 提出予定 留意事項に対応するため内容を変更 (28) 担当 阪田 和哉 (准教授) 平成28年6月 提出予定 共同 共同				
			社会調査実習Ⅰ	3前	1				1	1								
			社会調査実習Ⅱ	3後	1				1	1	1							
			社会システム科目群			公共政策入門	1前	2				1					留意事項に対応するため配当年次及び内容を変更 (28) 担当 塚本 純 (教授) 平成28年2月 教員審査済 判定 可	
						経済学概論	1前 4後	2			1							
						行政学	2前	2			1							
						公共経済学	2前	2				1						
						政治学概論	1後	2				1						
						ミクロ経済学	1後	2										
			マクロ経済学	2後	2		1						兼1					
			法学科目群			法学概論	2後	2									兼1	
						憲法	2後	2									兼1	
民法	2後	2											兼1					

専門教育科目 コミュニティデザイン学科専門科目 地域実践科目群 他学科学科目群 主題探求科目群	経済政策論 地方自治論 政策過程論 行政法 公共マネジメント スポーツ・余暇政策 都市計画法 プロジェクト評価論 財政学 環境・資源経済学	3前 2後 3前 3前 3前 3前 3後 3後 3後 3後 3後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	留意事項に対応するため配当年次を変更(28) 集中 集中
	地域資源論 地域食育論 農村マネジメント 観光概論 文化マネジメント 地域生態学 農村起業論 食文化論 観光地理学 食資源活用実習 観光学実習 地域史 生物多様性論 景観解析 文化マネジメント演習	1後 2前 2前 2後 2後 2前 2後 2後 3前 3前 3後 3後 3後 3後 3後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	※演習 ※演習 ※演習 集中
	高齢社会学 地域福祉の実際 生涯学習社会学 地域社会学 地域実践心理学 生涯学習概論 社会学概論 社会福祉学概論 地域福祉論 社会教育計画Ⅰ NPO論 倫理学概論 会話分析入門 多文化理解論 福祉社会学 現代日本社会学 社会教育計画Ⅱ ストレスマネジメント	1後 1後 2前 2前 2後 1前 2前 2前 2後 3前 3前 3前 3前 3前 3後 3後 3後 3後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	隔年 ※演習 ※演習 ※演習
	防災マネジメントⅠ 流域環境学Ⅰ 都市計画 地区計画 高齢者防災論	2後 3前 3前 3後 3後	2 2 2 2 2	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	兼1 兼1 兼2 兼1 兼1	ゼミナール
	コミュニティデザイン演習(経済政策分野) コミュニティデザイン演習(文化マネジメント分野) コミュニティデザイン演習(地方自治分野) コミュニティデザイン演習(農村マネジメント分野) コミュニティデザイン演習(地域生態学分野) コミュニティデザイン演習(食生活学分野) コミュニティデザイン演習(まちづくり分野) コミュニティデザイン演習(公共マネジメント分野) コミュニティデザイン演習(公共政策分野) コミュニティデザイン演習(社会教育分野) コミュニティデザイン演習(福祉社会学分野) コミュニティデザイン演習(心理学分野) コミュニティデザイン演習(観光地理学分野) 外国語文献講読 卒業研究準備演習 卒業研究 リフレクション	3前 3前 3前 3前 3前 3前 3前 3前 3前 3前 3前 3前 3前 3前 3前 3後 3後 4通 4後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 6 6 6 6	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 6 6 6 6	1 1	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	集中

(注)・設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

・設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度設置以前）についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
39	324	0	363	39 [0]	343 [19]	0 [0]	382 [19]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	器楽合奏概論	2	1・2後	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
2	生きるということ	2	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
3	「ぶろじえくと」をやってみる	1	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
4	体験！ぶろじえくと	2	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
5	感じる・考える・話す	2	1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
6	アクティブにとらえる現代社会	2	1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
7	社会奉仕活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
8	国際協力活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
9	実務体験活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
10	特別体験活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止となった科目のうち番号7～10の科目については、現状に見合った活動である「課題発見・解決型インターンシップ」及び「キャリア形成に資する活動」として科目を新設したため、教育の質の確保はできており、それ以外の科目については、一般教養科目に位置づけられている科目であり履修上の影響はないと考える。
 なお、学生に対しては、履修案内・シラバス等において、開講科目を周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.02}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

峰キャンパス

＜地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科＞

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
基礎教育科目	リテラシー科目	Integrated English I A	1前	2								兼6 兼2	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)	
		Integrated English I B	1前	1								兼8		
		Integrated English II A	1後	2								兼6 兼2	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)	
		Integrated English II B	1後	1								兼8		
		Advanced English I (Intensive Reading)	2前後		1								兼4	
		Advanced English I (Pleasure Reading)	2前後			1							兼2	
		Advanced English I (Academic Writing)	2前後			1							兼2	
		Advanced English I (Essay writing)	2前後			1							兼4	
		Advanced English I (Public Speaking)	2前後			1							兼2	
		Advanced English I (Presentation)	2前後			1							兼4	
		Advanced English I (Discussion&Debate)	2前後			1							兼2 兼1	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)
		Advanced English I (Speech Clinic)	2前後			1							兼4 兼3	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)
		Advanced English I (Vocabulary Building)	2前			1							兼2	
		Advanced English I (Communicative Grammar)	2前後			1							兼4	
		Advanced English I (Media English)	2前後			1							兼2	
		Advanced English I (Cinema English)	2前後			1							兼2 兼1	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)
		Advanced English I (TOEIC)	2前後			1							兼5	
		Advanced English I (TOEFL)	2前後			1							兼2 兼1	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)
		Advanced English I (EAP)	2前後			1							兼4	
		Honors English A	1・2・3・4前			1							兼2	
		Honors English B	1・2・3・4後			1							兼2	
		Honors English C	1・2・3・4前			1							兼2	
		Honors English D	1・2・3・4後			1							兼2	
		Honors English E	1・2・3・4前			1							兼2	
		Honors English F	1・2・3・4後			1							兼2	
		Honors English G	1・2・3・4前			1							兼2	
		Honors English H	1・2・3・4後			1							兼2	
		Honors Camp A	1・2・3・4前			2							兼1	
		Honors Camp B	1・2・3・4前			2							兼1	
		Honors Camp C	1・2・3・4前			2							兼1	
		Honors Camp D	1・2・3・4前			2							兼1	
		Overseas Study A	1・2・3・4前			1							兼1	} 留学期間により単位認定
		Overseas Study A	1・2・3・4前			2						兼1		
Overseas Study A	1・2・3・4前			3						兼1				
Overseas Study A	1・2・3・4前			4						兼1				
Overseas Study B	1・2・3・4前			1						兼1	} 留学期間により単位認定			
Overseas Study B	1・2・3・4前			2						兼1				
Overseas Study B	1・2・3・4前			3						兼1				
Overseas Study B	1・2・3・4前			4						兼1				
Overseas Study C	1・2・3・4前			1						兼1	} 留学期間により単位認定			
Overseas Study C	1・2・3・4前			2						兼1				
Overseas Study C	1・2・3・4前			3						兼1				
Overseas Study C	1・2・3・4前			4						兼1				
Overseas Study D	1・2・3・4前			1						兼1	} 留学期間により単位認定			
Overseas Study D	1・2・3・4前			2						兼1				
Overseas Study D	1・2・3・4前			3						兼1				
Overseas Study D	1・2・3・4前			4						兼1				
スポーツと健康	1前			2							兼9 兼7	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)		
	とちぎ終章学総論	1後		1					1			※講義		
人文科学系科目	哲学領域	西洋思想	1・2前			2						兼1		
		現代思想	1・2後			2						兼1		
		東洋思想	1・2前			2						兼1		
		論理学	1・2前			2						兼1		
		西洋の倫理思想	1・2後			2						兼1		
	科学思想史	1・2前			2						兼1			

基盤教育科目	人文科学系科目	哲学領域	東アジアの宗教と文化	1・2前	2							兼1			
			仏教における人間形成論	1・2前	2								兼1		
		心理学領域	認知心理学入門	1・2後	2									兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
			行動心理学入門	1・2前	2									兼1	
			実験心理学入門	1・2前	2									兼1	
			発達と学習の心理学	1・2後	2									兼1	
			パーソナリティ心理学概論	1・2前	2			1						兼1	
			障害者心理学	1・2前	2									兼1	
			子どもの言語とコミュニケーション入門	1・2後	2									兼1	
			心理学と人権	1・2前	2									兼1	
			学校臨床心理学	1・2後	2									兼1	
			言語習得論	1・2後	2									兼1	
		文学領域	日本文学 (古典)	1・2前後	2									兼2	カリキュラムの整備により科目を追加 (28) カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
			日本近代文学講読	1・2前	2									兼1	
			日本の小説	1・2前	2									兼1	
			日本の古典	1・2後	2									兼1	
			中国文学	1・2前	2									兼1	
			韓国文学	1・2後	2									兼1	
			ドイツ文学	1・2後	2									兼1	
			フランス文学	1・2後	2									兼1	
			比較文学	1・2前	2									兼1	
			ロシア文学	1・2前	2									兼1	
		芸術領域	英文学入門	1・2後	2									兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
			米文学入門	1・2前	2									兼1	
			ヨーロッパ地域文化論	1・2前	2									兼1	
			現代美学	1・2後	2									兼1	
			芸術学	1・2前	2									兼1	
			芸術と自然	1・2前	2									兼1	
音楽通論	1・2後		2									兼1			
声楽の魅力	1・2後		2									兼1			
器楽合奏概論	1・2後		2									兼1			
管打合奏演習	1・2後		2									兼1			
人文総合領域	日本文化A	1・2前	2									兼1	カリキュラムの見直しにより科目を廃止 (28)		
	日本文化B	1・2後	2									兼1			
	美術表現基礎	1・2前	2									兼2			
	近現代美術論	1・2後	2									兼2			
	多言語コミュニケーション学A	1・2前	2									兼1			
	多言語コミュニケーション学B	1・2後	2									兼1			
	日本語の表記	1・2前	2									兼1			
	論理表現の技術	1・2後	2									兼1			
	Japanese Communication Arts	1・2後	2									兼1			
	ことばから見た人間	1・2後	2									兼2			
社会学領域	成人教育と参加型学習	1・2後	2									兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
	教育の裏側に光を当てる	1・2前	2									兼1			
	生活美学	1・2前	2			1						兼1			
	ものと文化と社会	1・2後	2							1		兼1			
	映像分析の実践	1・2前	2									兼1			
	世界のなかの日本文化	1・2後	2									兼1			
	ボディ・ランゲージ	1・2後	2									兼1			
	声のトレーニング	1・2後	2									兼1			
	法学領域	日本国憲法	1・2前後	2										兼3	※演習
	法学入門	1・2前	2											兼1	
国際化と人権	1・2前	2										兼1			
知的財産権概論	3・4後	2										兼1			
政治学領域	国際政治史	1・2前	2									兼1			
戦争と平和をめぐる諸問題	1・2後	2										兼1			
現代政治の理論と実際	1・2後	2				1						兼1			
グローバル・ガバナンス論入門	1・2前	2										兼1			
政治の世界	1・2前	2										兼1			
現代日本政治論	1・2後	2										兼1			
経済学領域	経済学 I	1・2前	2									兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
経済分析入門	1・2前	2				1						兼1			
資本市場の役割と証券投資	1・2後	2										兼1			
資本論を読もう	1・2前	2										兼1			
応用経済学入門	1・2後	2							1			兼1			
数理経済学入門	1・2前	2										兼1			

基礎教育科目	社会科学系科目	経済学領域	ゲーム理論入門	1・2後	2								兼1		
		農業経営入門	1・2前	2		1									
		社会学領域	社会学入門	1・2後	2									兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28) 担当 中川 敦 (准教授) 平成28年6月 提出予定
			応用社会学	1・2後	2		1								
			現代日本の社会	1・2前	2									兼1	
			マスコミ入門	1・2後	2									兼1	
			オセアニア民族誌	1・2後	2									兼1	
			文化人類学入門	1・2後	2									兼1	
			環境と国際社会	1・2前	2									兼1	
		地理学領域	多文化共生論入門	1・2前	2									兼1	
			人文地理学入門 I	1・2前	2									兼1	
			人文地理学入門 II	1・2後	2									兼1	
			農村空間論	1・2後	2									兼1	
		歴史学領域	地誌学	1・2後	2							1			カリキュラムの整備により科目を追加 (28) 担当 鈴木 富之 (講師) 平成28年6月 提出予定
			歴史学入門	1・2前	2									兼1	
			歴史と民族	1・2後	2									兼1	
			歴史と文化	1・2後	2									兼1	
		社会科学総合領域	地域の歴史	1・2後	2									兼1	
			中東の社会と文化	1・2前	2									兼1	
			社会開発入門	1・2前	2									兼1	
			遊びの理論とゲーム開発	1・2後	2									兼1	
			遊び輪と遊び指導	1・2前	2									兼1	
			住まいづくり・まちづくり入門	1・2前	2									兼1	
			オイコス入門	1・2前	2									兼1	
			障害者問題入門	1・2前	2									兼1	
			数や図形の絵本づくり	1・2後	2									兼1	
			栃木県の歴史と文化	1・2前	2									兼1	
			社会福祉入門	1・2後	2									兼1	
			環境教育	1・2前	2									兼1	
地域環境社会学	1・2後		2									兼1			
災害復興学入門	1・2後		2									兼1			
グローバル化と外国人児童生徒教育	1・2後		2									兼6			
国際協力論入門	1・2前		2									兼1			
伝統染織と感性	1・2後		2									兼1			
著作権法入門	1・2後		2									兼1			
教科書に見る歴史と社会	1・2後		2									兼1			
人と自然の共生を考える	1・2通		2									兼1			
希望の地域社会論	1・2後		2									兼4			
地域振興と大学の役割	1・2後		2									兼1			
農業と文明	1・2後		2									兼1			
世界の農業	1・2前		2									兼1			
アフリカ学入門	1・2前	2									兼1				
中国事情	1・2後	2									兼1				
グローバル韓国学	1・2前	2									兼1				
科学・技術・教育・社会を考える	1・2後	2									兼1				
セクソロジー入門	1・2後	2									兼1				
自然科学系科目	数学領域	現代数学入門	1・2後	2									兼1		
		Mathematicaによる微積分入門	1・2前	2									兼1		
		Mathematicaによるデータ解析入門	1・2後	2									兼1		
		振動の科学	1・2前	2									兼1		
	物理学領域	数学の世界	1・2前	2									兼4	オムニバス カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
		教養物理	1・2前	2									兼3		
		物理学入門	1・2前	2									兼1		
		理工学最前線	1・2前	2									兼1		
		Mathematica入門	1・2前後	2									兼1		
		放射線科学入門	1・2前	2									兼1		
		エレクトロニクス科学史	1・2後	2									兼1		
		バイオメティクス入門	1・2後	2									兼1		
化学領域	地球環境と化学	1・2前	2									兼1			
	環境と生物化学	1・2前	2									兼1			
	不思議な化学	1・2後	2									兼1			

自然科学系科目	化学領域	水素とエネルギー	1・2後	2						兼1	
		リメディアル化学	1・2前	2						兼1	
		物質・材料の機器分析入門	1・2前	2						兼1	
		微生物の化学	1・2後	2						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
	生物学領域	ノーベル化学賞周辺の化学	1・2後	2						兼1	
		人間生活と植物	1・2後	2						兼1	
		食料生産の生物学	1・2後	2						兼1	
		21世紀を支える熱帯植物	1・2後	2						兼1	
		野外における野生動物識別テクニックの基礎 野外における鳥獣識別テクニックの基礎	1・2前	2						兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (28)
	情報科学領域	基礎生物学	1・2前	2						兼1	
		ウイルスの世界と生物の世界	1・2前	2						兼1	
		美味しさを科学するーミシュランガイド宇都宮をつくらうー	1・2後	2						兼1	※講義
		人体の中の小宇宙	1・2後	2						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
		C言語・プログラミング入門	1・2前	2						兼1	
		プログラミング応用	1・2前	2						兼1	
	理学領域	インターネットのしくみ	1・2後	2						兼1	
		Webのしくみ	1・2後	2						兼1	
	健康科学領域	身のまわりのICT	1・2後	2						兼1	
		ワイヤレス通信のしくみ	1・2後	2						兼1	
	健康科学領域	医用画像工学入門	1・2前	2						兼1	
		地球環境と生物事件史	1・2前	2						兼1	
身近な気象学		1・2後	2						兼1		
肥満の科学		1・2後	2						兼1		
健康科学領域	健康管理学概論	1・2後	2						兼1		
	健康のためなら死んでもいい!?	1・2前	2						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
	生活習慣と健康	1・2前	2						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
	バレーボールの科学	1・2後	2						兼1		
自然総合領域	スポーツトレーニング論	1・2後	2						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
	人間の感覚を測る	1・2前	2						兼1	※講義	
	生物の多様性とは何か	1・2後	2						兼1		
	雑草と人のくらし	1・2後	2						兼1		
	雑草観察入門	1・2前	2						兼1	※講義	
	雑草と里山のフィールド演習 I	1・2前	1						兼1	集中	
雑草と里山のフィールド演習 II	1・2後	1						兼2	共同・集中		
初習外国語系科目	創造ものづくり入門	1・2後	2						兼2	共同 カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
	ドイツ語基礎 I	1・2前	1						兼1		
	ドイツ語基礎 II	1・2後	1						兼1		
	ドイツ語基礎 III	1・2前	1						兼1		
	ドイツ語基礎 IV	1・2後	1						兼1		
	ドイツ語応用 I	1・2前	1						兼1		
	ドイツ語応用 II	1・2後	1						兼1		
	フランス語基礎 I	1・2前	1						兼2		
	フランス語基礎 II	1・2後	1						兼2		
	フランス語基礎 III	1・2前	1						兼1		
	フランス語基礎 IV	1・2後	1						兼1		
	フランス語応用 I	1・2前	1						兼1		
	フランス語応用 II	1・2後	1						兼1		
	スペイン語基礎 I	1・2前	1						兼1		
	スペイン語基礎 II	1・2後	1						兼1		
	スペイン語基礎 III	1・2前	1						兼1		
	スペイン語基礎 IV	1・2後	1						兼1		
	スペイン語応用 I	1・2前	1						兼1		
	スペイン語応用 II	1・2後	1						兼1		
	中国語基礎 I	1・2前	1						兼2		
	中国語基礎 II	1・2後	1						兼2		
中国語基礎 III	1・2前	1						兼1			
中国語基礎 IV	1・2後	1						兼1			
中国語応用 I	1・2前	1						兼1			
中国語応用 II	1・2後	1						兼1			
タイ語基礎 I	1・2前	1						兼1			
タイ語基礎 II	1・2後	1						兼1			
タイ語基礎 III	1・2前	1						兼1			
タイ語基礎 IV	1・2後	1						兼1			
タイ語応用 I	1・2前	1						兼1			
タイ語応用 II	1・2後	1						兼1			

初習外国語系科目	朝鮮語基礎Ⅰ	1・2前	1						兼2	
	朝鮮語基礎Ⅱ	1・2後	1						兼1	
総合系科目	朝鮮語基礎Ⅲ	1・2前	1						兼1	
	朝鮮語基礎Ⅳ	1・2後	1						兼1	
	朝鮮語応用Ⅰ	1・2前	1						兼1	
	朝鮮語応用Ⅱ	1・2後	1						兼1	
	野外調査論	1・2前	2						兼3	共同・※講義
	里山のサステイナビリティを考える	1・2前	2						兼3	共同・集中・※講義
人と自然をつなぐ・人と人をつなぐA	1・2前	1						兼2	共同・集中	
人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB	1・2前	1						兼1	集中・※講義	
実践・宇都宮のまちづくり	1・2前	2						兼1		
一地方銀行の歴史に学ぶ“金融経済の仕組み”と“地域金融機関の役割”	1・2後	2						兼1		
地域金融機関とともに「地方創生」を考える	1・2後	2						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
危機を見つめる力	1・2前	2						兼1		
3.11と学問の不確かさ	1・2前	2						兼8	オムニバス・共同	
食と生命のフィールド実践演習	1・2前	4						兼5	共同	
								兼6	担当教員退職のため担当教員数の変更 (28)	
男女共同参画社会を生きる	1・2後	2						兼2	共同・集中・※演習	
宇大を学ぶ	1・2後	2						兼1	担当教員が退職したため担当教員数の変更 (28)	
栃木の里山に学ぶ (春夏編)	1・2前	1						兼1	集中	
栃木の里山に学ぶ (秋冬編)	1・2後	1						兼1	集中	
ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」	1・2前	2						兼1		
ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」	1・2後	2						兼1		
生きるということ	1・2前	2						兼1	担当教員が退職したため廃止 (28)	
「ぶろじえくと」をやってみる	1・2前	1						兼1	担当教員が退職したため廃止 (28)	
体験！ぶろじえくと	1・2前	2						兼1	担当教員が退職したため廃止 (28)	
感じる・考える・話す	1・2後	2						兼1	担当教員が退職したため廃止 (28)	
デクティブにとらえる現代社会	1・2後	2						兼1	担当教員が退職したため廃止 (28)	
サイエンスコミュニケーション入門～理系と文系の壁を超えよう	1・2前	2						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
地域メディア演習	1・2後	2						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
とちぎ終章学特講	1・2後	1							※講義	
とちぎ終章学演習Ⅰ	1・2前	2						兼3	共同・※講義	
とちぎ終章学演習Ⅱ	1・2前	2						兼1	※講義	
キャリア創造科目	キャリアデザイン	1・2・3・4後	2						兼2	共同
	働くことの意味と実際	1・2・3・4前	2						兼1	
	実践企業人材論	1・2・3・4前	2						兼1	
	起業の実際と理論	1・2・3・4後	2						兼1	
	先輩に学ぶ	1・2・3・4前	2						兼1	
	企業のグローバル戦略とキャリア形成	1・2・3・4後	2						兼1	
	グローバル時代の企業経営	1・2・3・4前	2						兼1	集中
	課題発見・解決型インターンシップ	1・2・3・4前	1						兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
	課題発見・解決型インターンシップ	1・2・3・4前	2						兼1	
	課題発見・解決型インターンシップ	1・2・3・4前	3						兼1	
課題発見・解決型インターンシップ	1・2・3・4前	4						兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
キャリア形成に資する活動	1・2・3・4前	1						兼1		
キャリア形成に資する活動	1・2・3・4前	2						兼1		
キャリア形成に資する活動	1・2・3・4前	3						兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
キャリア形成に資する活動	1・2・3・4前	4						兼1		
社会奉仕活動	1・2・3・4前	1						兼1		
社会奉仕活動	1・2・3・4前	2						兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止 (28)	
社会奉仕活動	1・2・3・4前	3						兼1		
社会奉仕活動	1・2・3・4前	4						兼1		
国際協力活動	1・2・3・4前	1						兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止 (28)	
国際協力活動	1・2・3・4前	2						兼1		
国際協力活動	1・2・3・4前	3						兼1		
国際協力活動	1・2・3・4前	4						兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止 (28)	
実務体験活動	1・2・3・4前	1						兼1		
実務体験活動	1・2・3・4前	2						兼1		
実務体験活動	1・2・3・4前	3						兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止 (28)	
実務体験活動	1・2・3・4前	4						兼1		
特別体験活動	1・2・3・4前	1						兼1		
特別体験活動	1・2・3・4前	2						兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止 (28)	
特別体験活動	1・2・3・4前	3						兼1		
特別体験活動	1・2・3・4前	4						兼1		

基盤教育科目	留学生 日本語科目	アカデミック・ジャパニーズ 日本語アカデミック・リーディングⅠ	1前 1前	1 1							兼1 兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
		日本語アカデミック・ライティング 日本語アカデミック・リーディングⅡ	1後 1・2・3・4後	1 1							兼1 兼1		カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
		日本語アカデミック・プレゼンテーション 科学技術のための専門日本語 人文社会系のための専門日本語 日本事情	1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前	1 1 1 2							兼1 兼1 兼1 兼1		
専門導入科目	地域デザイン学序論A 地域デザイン学序論B 地域デザイン学序論C	1前 1後 1後	2 2 2		6	6	1			兼12 兼10	ムニバス ムニバス ムニバス		
専門教育科目	コミュニティデザイン学科専門科目	経済学概論	1前 4後	2		1						留意事項に対応するため配当年次及び内容を変更 (28) 担当 塚本 純 (教授) 平成28年2月 教員審査済 判定 可 留意事項に対応するため内容を変更 (28) 担当 阪田 和哉 (准教授) 平成28年2月 教員審査済 判定 可 留意事項に対応するため科目を追加 (28) 担当 塚本 純 (教授) 平成28年2月 教員審査済 判定 可 留意事項に対応するため配当年次を変更 (28) 集中	
		行政学 公共経済学	2前 2前	2 2		1		1					
		社会システム科目群	政治学概論 ミクロ経済学 マクロ経済学	1後 1後 2後	2 2 2				1				兼1
		法学概論 憲法 民法	2後 2後 2後	2 2 2							兼1 兼1 兼1		
		経済政策論 地方自治論 行政法 スポーツ・余暇政策	3前 3前 3前 3後	2 2 2 2		1		1			兼1		
		都市計画法 財政学 環境・資源経済学	3後 3後 3後	2 2 2				1			兼1 兼1 兼1		
		地域資源科目群	農村マネジメント 文化マネジメント 農村起業論 食文化論 地域史 生物多様性論 文化マネジメント演習	2前 2後 2後 2後 3後 3後 3後	2 2 2 2 2 2 2		1 1 1 1						※演習 ※演習 ※演習 兼1 兼1
		地域実践科目群	地域福祉の実際 生涯学習社会論 地域社会学 生涯学習概論 社会学概論 地域社会学	1後 2前 2前 1前 2前 2前	2 2 2 2 2 2			1					兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
		地域実践科目群	地域福祉論 社会教育計画Ⅰ 倫理学概論 現代日本社会論 社会教育計画Ⅱ	2後 3前 3前 3後 3後	2 2 2 2 2								兼1 隔年 兼1 ※演習 兼1 兼1 ※演習

(注)・設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
18	278	0	296	18 [0]	297 [19]	0 [0]	315 [19]	

- (注)・未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)
- ・資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	器楽合奏概論	2	1・2後	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
2	生きるということ	2	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
3	「ぶろじえくと」をやってみる	1	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
4	体験！ぶろじえくと	2	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
5	感じる・考える・話す	2	1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
6	アクティブにとらえる現代社会	2	1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
7	社会奉仕活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
8	国際協力活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
9	実務体験活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
10	特別体験活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止となった科目のうち番号7～10の科目については、現状に見合った活動である「課題発見・解決型インターンシップ」及び「キャリア形成に資する活動」として科目を新設したため、教育の質の確保はできており、それ以外の科目については、一般教養科目に位置づけられている科目であり履修上の影響はないと考える。
 なお、学生に対しては、履修案内・シラバス等において、開講科目を周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.03}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

陽東キャンパス

<地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
基盤教育科目	科目導入 期 新入生セミナー	1前	2			2		1			共同・※演習	
	シ リ テ ラ 情報処理基礎	1前	2			1						
	人文 系 合 人 文 領 域 総 目 目 社会言語学概論－日本語の変遷－	1・2前		2							兼1	
	自然 科 学 系 領 域 教 学 目 目 電気電子数学入門	1・2前		2							兼1 ※講義	
	自然 科 学 系 領 域 情 報 科 目 目 グラフィックス入門	1・2後		2							兼1	
	総 合 系 科 目 目 ものづくり体験	1・2後		2							兼2 共同	
	基 盤 キ ャ リ ア 教 育 科 目 目 キャリア創造 人間と社会 より良く生きる	1・2・3・4前 1・2・3・4前		2 2							兼1 兼3	オムニバス
共通専門科目	必修 科 目 目 地域デザイン訪問	1通	2			1	1	1			兼6 オムニバス・共同	
	必修 科 目 目 地域の姿と課題Ⅰ	1前	1			1	1				兼2 オムニバス・共同	
	必修 科 目 目 地域コミュニケーション演習	1前	1			1	3				兼8 共同	
	必修 科 目 目 ワークショップ演習	3前	1				3				兼3 共同	
	必修 科 目 目 地域プロジェクト演習	3通	2			6	6	1			共同	
	選 択 科 目 目 GIS演習	2後		1		1					兼2 オムニバス	
専門教育科目	選 択 科 目 目 地域の姿と課題Ⅱ	3前		1		1					兼4 オムニバス	
	選 択 科 目 目 地域デザイン倫理	3後		2							兼4 オムニバス	
	コ ミュ ニ テ ィ デ ザ ィ ン 学 科 専 門 科 目 目 基礎 科 目 目 群 地域社会総論	1前	2			6	6	1			オムニバス	
		1後	2				1					
		2前	2				2					
		2前	2				1					
		2後	2								兼1	※演習
		2後	2			4	2	1				オムニバス・※演習
		2後	2								兼1	オムニバス 留意事項に対応するため内容を変更、担当教員の追加(28) 担当 阪田 和哉(准教授) 平成28年6月 提出予定 留意事項に対応するため内容を変更(28) 担当 阪田 和哉(准教授) 平成28年6月 提出予定
	3前		2			1						
3前		1			1	1				共同		
3後		1			1	1				共同		
テ ム 科 目 目 群 社会 シ ス テム 目 目 公共政策入門	1前	2				1						
	3前		2				1					

専門教育科目 コミュニティデザイン学科専門科目 主題探求科目群	テム社会 科シ 目群 公共マネジメント プロジェクト評価論	3前 3後	2 2	1 1							
	地域資源論 地域食育論 地域生態学 観光概論 観光地理学 食資源活用実習 観光学実習 景観解析	1後 2前 2前 2後 3前 3前 3後 3後	2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1							兼1 集中
	地域実践科目群 高齢社会学 地域実践心理学 NPO論 会話分析入門 多文化理解論 福祉社会学 ストレスマネジメント	1後 2後 3前 3前 3前 3後 3後	2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1							※演習 ※演習
	他学科科目 防災マネジメント I 流域環境学 I 都市計画 地区計画 高齢者防災論	2後 3前 3前 3後 3後	2 2 2 2 2	1 1 1 1 1							兼1 兼1 兼2 小コパス 兼1 兼1
	コミュニティデザイン演習(経済政策分野) コミュニティデザイン演習(文化マネジメント分野) コミュニティデザイン演習(地方自治分野) コミュニティデザイン演習(農村マネジメント分野) コミュニティデザイン演習(地域生態学分野) コミュニティデザイン演習(食生活学分野) コミュニティデザイン演習(まちづくり分野) コミュニティデザイン演習(公共マネジメント分野) コミュニティデザイン演習(公共政策分野) コミュニティデザイン演習(社会教育分野) コミュニティデザイン演習(福祉社会学分野) コミュニティデザイン演習(心理学分野) コミュニティデザイン演習(観光地理学分野) 外国語文献講読 卒業研究準備演習 卒業研究 リフレクション	3前 3前 3前 3前 3前 3前 3前 3前 3前 3前 3前 3前 3前 3後 3後 4通 4後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							

- (注)・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年度」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)

についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え
 消し修正をしてください。

- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
21	46	0	67	21 [0]	46 [0]	0 [0]	67 [0]	

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を
 記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<地域デザイン科学部 建築都市デザイン学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基盤教育科目	科 導 初 目 入 期	新入生セミナー	1前	2			4	6		2		ホームベース・※演習	
	リテラシー科目	Integrated English I A	1前	2								兼6 兼2	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)
		Integrated English I B	1前	1								兼8	
		Integrated English II A	1後	2								兼6 兼2	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)
		Integrated English II B	1後	1								兼8	
		Advanced English I (Intensive Reading)	2前後		1							兼4	
		Advanced English I (Pleasure Reading)	2前後		1							兼2	
		Advanced English I (Academic Writing)	2前後		1							兼2	
		Advanced English I (Essay writing)	2前後		1							兼4	
		Advanced English I (Public Speaking)	2前後		1							兼2	
		Advanced English I (Presentation)	2前後		1							兼4	
		Advanced English I (Discussion&Debate)	2前後		1							兼2	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)
		Advanced English I (Speech Clinic)	2前後		1							兼4 兼1	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)
		Advanced English I (Vocabulary Building)	2前		1							兼2	
		Advanced English I (Communicative Grammar)	2前後		1							兼4	
		Advanced English I (Media English)	2前後		1							兼2	
		Advanced English I (Cinema English)	2前後		1							兼2	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)
		Advanced English I (TOEIC)	2前後		1							兼5	
		Advanced English I (TOEFL)	2前後		1							兼2 兼4	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)
		Advanced English I (EAP)	2前後		1							兼4	
		Honors English A	1・2・3・4前		1							兼2	
		Honors English B	1・2・3・4後		1							兼2	
		Honors English C	1・2・3・4前		1							兼2	
		Honors English D	1・2・3・4後		1							兼2	
		Honors English E	1・2・3・4前		1							兼2	
		Honors English F	1・2・3・4後		1							兼2	
		Honors English G	1・2・3・4前		1							兼2	
		Honors English H	1・2・3・4後		1							兼2	
		Honors Camp A	1・2・3・4前		2							兼1	
		Honors Camp B	1・2・3・4前		2							兼1	
		Honors Camp C	1・2・3・4前		2							兼1	
		Honors Camp D	1・2・3・4前		2							兼1	
		Overseas Study A	1・2・3・4前		1							兼1	} 留学期間により単位認定
		Overseas Study A	1・2・3・4前		2							兼1	
		Overseas Study A	1・2・3・4前		3							兼1	
		Overseas Study A	1・2・3・4前		4							兼1	} 留学期間により単位認定
Overseas Study B	1・2・3・4前		1							兼1			
Overseas Study B	1・2・3・4前		2							兼1			
Overseas Study B	1・2・3・4前		3							兼1	} 留学期間により単位認定		
Overseas Study B	1・2・3・4前		4							兼1			
Overseas Study C	1・2・3・4前		1							兼1			
Overseas Study C	1・2・3・4前		2							兼1	} 留学期間により単位認定		
Overseas Study C	1・2・3・4前		3							兼1			
Overseas Study C	1・2・3・4前		4							兼1			
Overseas Study D	1・2・3・4前		1							兼1	} 留学期間により単位認定		
Overseas Study D	1・2・3・4前		2							兼1			
Overseas Study D	1・2・3・4前		3							兼1			
Overseas Study D	1・2・3・4前		4							兼1			
スポーツと健康	1前		2								兼9 兼7	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)	
情報処理基礎	1前		2			1							
とちぎ終章学総論	1後		1								兼1	※講義	
人文科学系科目	哲学領域	西洋思想	1・2前		2							兼1	
		現代思想	1・2後		2							兼1	
		東洋思想	1・2前		2							兼1	
		論理学	1・2前		2							兼1	
		西洋の倫理思想	1・2後		2							兼1	

基盤教育科目	人文科学系科目	哲学領域	科学思想史	1・2前	2							兼1			
			東アジアの宗教と文化	1・2前	2								兼1		
			仏教における人間形成論	1・2前	2								兼1		
		心理学領域	認知心理学入門	1・2後	2									兼1	
			行動心理学入門	1・2前	2									兼1	
			実験心理学入門	1・2前	2									兼1	
			発達と学習の心理学	1・2後	2									兼1	
			パーソナリティ心理学概論	1・2前	2									兼1	
			障害者心理学	1・2前	2									兼1	
			子どもの言語とコミュニケーション入門	1・2後	2									兼1	
	心理学と人権	1・2前	2									兼1			
	学校臨床心理学	1・2後	2									兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
	言語習得論	1・2後	2									兼1			
	文学領域	日本文学 (古典)	1・2前後	2									兼2		
		日本近代文学講読	1・2前	2									兼1		
		日本の小説	1・2前	2									兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
		日本の古典	1・2後	2									兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
		中国文学	1・2前	2									兼1		
		韓国文学	1・2後	2									兼1		
		ドイツ文学	1・2前	2									兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
フランス文学		1・2後	2									兼1			
比較文学	1・2前	2									兼1				
ロシア文学	1・2前	2									兼1				
英文学入門	1・2後	2									兼1				
米文学入門	1・2前	2									兼1				
芸術領域	ヨーロッパ地域文化論	1・2前	2									兼1			
	現代美学	1・2後	2									兼1			
	芸術学	1・2前	2									兼1			
	芸術と自然	1・2前	2									兼1	隔年		
	音楽通論	1・2後	2									兼1			
	音楽の魅力	1・2後	2									兼1			
	器楽合奏概論	1・2後	2									兼1	カリキュラムの見直しにより科目を廃止 (28)		
	管打合奏演習	1・2後	2									兼1			
	日本文化A	1・2前	2									兼1			
	日本文化B	1・2後	2									兼1			
美術表現基礎	1・2前	2									兼2	オムニバス・共同・※講義			
近現代美術論	1・2後	2									兼2	オムニバス・共同			
人文総合領域	多言語コミュニケーション学A	1・2前	2									兼1			
	多言語コミュニケーション学B	1・2後	2									兼1			
	日本語の表記	1・2前	2									兼1			
	論理表現の技術	1・2後	2									兼1			
	Japanese Communication Arts	1・2後	2									兼1			
	ことばから見た人間	1・2後	2									兼2	共同		
	社会言語学概論-日本語の変遷-	1・2前	2									兼1			
	生涯学習概論	1・2前	2									兼1			
	成人教育と参加型学習	1・2後	2									兼1			
	教育の裏側に光を当てる	1・2前	2									兼1			
	生活美学	1・2前	2									兼1			
	ものと文化と社会	1・2後	2									兼1			
	映像分析の実践	1・2前	2									兼1			
	世界のなかの日本文化	1・2後	2									兼1			
ボディ・ランゲージ	1・2後	2									兼1				
声のトレーニング	1・2後	2									兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)			
社会科学系科目	法学領域	日本国憲法	1・2前後	2								兼3			
		法学入門	1・2前	2								兼1			
		国際化と人権	1・2前	2								兼1			
		知的財産権概論	1・2後	2								兼1	※演習		
		法学概論	3・4後	2								兼1			
	政治学領域	国際政治史	1・2前	2								兼1			
	戦争と平和をめぐる諸問題	1・2後	2								兼1				
	現代政治の理論と実際	1・2後	2								兼1				
	グローバル・ガバナンス論入門	1・2前	2								兼1				
	政治の世界	1・2前	2								兼1				
	現代日本政治論	1・2後	2								兼1				

基礎教育科目	社会科学系科目	経済学 I	1・2前	2						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
		経済分析入門	1・2前	2						兼1		
		資本市場の役割と証券投資	1・2後	2						兼1		
		資本論を読もう	1・2前	2						兼1		
		応用経済学入門	1・2後	2						兼1		
		数理経済学入門	1・2前	2						兼1		
		ゲーム理論入門	1・2後	2						兼1		
		農業経営入門	1・2前	2						兼1		
		社会学領域	社会学入門	1・2後	2					兼1		カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
		応用社会学	1・2後	2						兼1		
	現代日本の社会	1・2前	2						兼1			
	マスコミ入門	1・2後	2						兼1			
	オセアニア民族誌	1・2後	2						兼1			
	文化人類学入門	1・2後	2						兼1			
	環境と国際社会	1・2前	2						兼1			
	多文化共生論入門	1・2前	2						兼1			
	地理学領域	人文地理学入門 I	1・2前	2						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
	人文地理学入門 II	1・2後	2						兼1			
	農村空間論	1・2後	2						兼1			
	地誌学	1・2後	2						兼1			
歴史学領域	歴史学入門	1・2前	2						兼1			
歴史と民族	1・2後	2						兼1				
歴史と文化	1・2後	2						兼1				
地域の歴史	1・2後	2						兼1				
社会科学系科目	中東の社会と文化	1・2前	2						兼1	※講義 隔年 ※講義 ※講義 カリキュラムの整備により科目を追加 (28) カリキュラムの整備により科目を追加 (28) オムニバス・共同 集中 オムニバス カリキュラムの整備により科目を追加 (28) カリキュラムの整備により科目を追加 (28) カリキュラムの整備により科目を追加 (28) カリキュラムの整備により科目を追加 (28) ※講義		
社会開発入門	1・2前	2						兼1				
遊びの理論とゲーム開発	1・2後	2						兼1				
遊び輪と遊び指導	1・2前	2						兼1				
住まいづくり・まちづくり入門	1・2前	2						兼1				
オイコス入門	1・2前	2						兼1				
障害者問題入門	1・2前	2						兼1				
数や図形の絵本づくり	1・2後	2						兼1				
栃木県の歴史と文化	1・2前	2						兼1				
社会福祉入門	1・2後	2						兼1				
環境教育	1・2前	2						兼1				
地域環境社会学	1・2後	2						兼1				
社会科学系科目	社会総合領域	災害復興学入門	1・2後	2					兼1	オムニバス・共同 集中 オムニバス カリキュラムの整備により科目を追加 (28) カリキュラムの整備により科目を追加 (28) カリキュラムの整備により科目を追加 (28) カリキュラムの整備により科目を追加 (28) ※講義		
グローバル化と外国人児童生徒教育	1・2後	2						兼6				
国際協力論入門	1・2前	2						兼1				
伝統染織と感性	1・2後	2						兼1				
著作権法入門	1・2後	2						兼1				
教科書に見る歴史と社会	1・2後	2						兼1				
人と自然の共生を考える	1・2通	2				2		兼1				
希望の地域社会論	1・2後	2						兼2				
地域振興と大学の役割	1・2後	2						兼1				
農業と文明	1・2後	2						兼1				
世界の農業	1・2前	2						兼1				
アフリカ学入門	1・2前	2						兼1				
中国事情	1・2後	2						兼1				
グローバル韓国学	1・2前	2						兼1				
科学・技術・教育・社会を考える	1・2後	2						兼1				
セクソロジー入門	1・2後	2						兼1				
自然科学系科目	数学領域	現代数学入門	1・2後	2					兼1	※講義 オムニバス カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
電気電子数学入門	1・2前	2						兼1				
Mathematicaによる微積分入門	1・2前	2						兼1				
Mathematicaによるデータ解析入門	1・2後	2						兼1				
振動の科学	1・2前	2						兼1				
数学の世界	1・2前	2						兼4				
物理学領域	教養物理	1・2前	2			1			兼2	オムニバス		
物理学入門	1・2前	2						兼1				
物理工学最前線	1・2前	2						兼1				
Mathematica入門	1・2前後	2						兼1				
放射線科学入門	1・2前	2						兼1				
エレクトロニクス科学史	1・2後	2						兼1				
バイオメテイクス入門	1・2後	2						兼1				

基盤教育科目	自然科学系科目	化学領域	地球環境と化学	1・2前	2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
			環境と生物化学	1・2前	2							兼1			
		不思議な化学	1・2後	2								兼1			
		水素とエネルギー	1・2後	2								兼1			
		リメディアル化学	1・2前	2								兼1			
		物質・材料の機器分析入門	1・2前	2								兼1			
		微生物の化学	1・2後	2								兼1			
		ノーベル化学賞周辺の化学	1・2後	2								兼1			
		生物学領域	人間生活と植物	1・2後	2									兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (28)
			食料生産の生物学	1・2後	2									兼1	
	21世紀を支える熱帯植物		1・2後	2								兼1			
	野外における野生動物識別テクニックの基礎 野外における鳥獣識別テクニックの基礎		1・2前	2								兼1			
	情報科学領域	基礎生物学	1・2前	2								兼1	※講義 カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
		ウイルスの世界と生物の世界	1・2前	2								兼1			
		美味しさを科学するーミシュランガイド宇都宮をつくらうー 人体の中の小宇宙	1・2後	2								兼1			
		1・2後	2									兼1			
	理学領域	C言語・プログラミング入門	1・2前	2								兼1			
		プログラミング応用	1・2前	2								兼1			
		グラフィックス入門	1・2後	2								兼1			
		インターネットのしくみ	1・2後	2								兼1			
健康科学領域	We b のしくみ	1・2後	2								兼1				
	身のまわりのICT	1・2後	2								兼1				
	ワイヤレス通信のしくみ	1・2後	2								兼1				
	医用画像工学入門	1・2前	2								兼1				
自然総合領域	地球環境と生物事件史	1・2前	2								兼1				
	身近な気象学	1・2後	2								兼1				
	肥満の科学	1・2後	2								兼1				
	健康のためなら死んでもいい！？	1・2前	2								兼1				
初習外国語系科目	生活習慣と健康	1・2前	2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28) カリキュラムの整備により科目を追加 (28)			
	健康管理学概論	1・2後	2								兼1				
	バレーボールの科学	1・2後	2								兼1				
	スポーツトレーニング論	1・2後	2								兼1				
初習外国語系科目	人間の感覚を測る	1・2前	2								兼1	※講義 集中 共同・集中 共同 カリキュラムの整備により科目を追加 (28)			
	生物の多様性とは何か	1・2後	2								兼1				
	雑草と人のくらし	1・2後	2								兼1				
	雑草観察入門	1・2前	2								兼1				
	雑草と里山のフィールド演習Ⅰ	1・2前	1								兼1				
	雑草と里山のフィールド演習Ⅱ	1・2後	1								兼1				
	創造ものづくり入門	1・2後	2								兼2				
	ドイツ語基礎Ⅰ	1・2前	1								兼1				
	ドイツ語基礎Ⅱ	1・2後	1								兼1				
	ドイツ語基礎Ⅲ	1・2前	1								兼1				
	ドイツ語基礎Ⅳ	1・2後	1								兼1				
	ドイツ語応用Ⅰ	1・2前	1								兼1				
	ドイツ語応用Ⅱ	1・2後	1								兼1				
	フランス語基礎Ⅰ	1・2前	1								兼2				
	フランス語基礎Ⅱ	1・2後	1								兼2				
	フランス語基礎Ⅲ	1・2前	1								兼1				
フランス語基礎Ⅳ	1・2後	1								兼1					
フランス語応用Ⅰ	1・2前	1								兼1					
フランス語応用Ⅱ	1・2後	1								兼1					
スペイン語基礎Ⅰ	1・2前	1								兼1					
スペイン語基礎Ⅱ	1・2後	1								兼1					
スペイン語基礎Ⅲ	1・2前	1								兼1					
スペイン語基礎Ⅳ	1・2後	1								兼1					
スペイン語応用Ⅰ	1・2前	1								兼1					
スペイン語応用Ⅱ	1・2後	1								兼1					
中国語基礎Ⅰ	1・2前	1								兼2					
中国語基礎Ⅱ	1・2後	1								兼2					
中国語基礎Ⅲ	1・2前	1								兼1					
中国語基礎Ⅳ	1・2後	1								兼1					
中国語応用Ⅰ	1・2前	1								兼1					
中国語応用Ⅱ	1・2後	1								兼1					
タイ語基礎Ⅰ	1・2前	1								兼1					
タイ語基礎Ⅱ	1・2後	1								兼1					
タイ語基礎Ⅲ	1・2前	1								兼1					
タイ語基礎Ⅳ	1・2後	1								兼1					

初習外国語系科目	タイ語応用Ⅰ	1・2前	1						兼1	
	タイ語応用Ⅱ	1・2後	1						兼1	
総合系科目	朝鮮語基礎Ⅰ	1・2前	1						兼2	
	朝鮮語基礎Ⅱ	1・2後	1						兼1	
	朝鮮語基礎Ⅲ	1・2前	1						兼1	
	朝鮮語基礎Ⅳ	1・2後	1						兼1	
	朝鮮語応用Ⅰ	1・2前	1						兼1	
	朝鮮語応用Ⅱ	1・2後	1						兼1	
	野外調査論	1・2前	2						兼3	共同・※講義
	里山のサステイナビリティを考える	1・2前	2						兼3	共同・集中・※講義
	人と自然をつなぐ・人と人をつなぐA	1・2前	1						兼2	共同・集中
	人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB	1・2前	1						兼1	集中・※講義
	実践・宇都宮のまちづくり	1・2前	2						兼1	
	一地方銀行の歴史に学ぶ“金融経済の仕組み”と“地域金融機関の役割”	1・2後	2						兼1	
	地域金融機関とともに「地方創生」を考える	1・2後	2						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
	危機を見つめる力	1・2前	2						兼1	
	3.11と学問の不確かさ	1・2前	2						兼8	オムニバス・共同
食と生命のフィールド実践演習	1・2前	4						兼5 兼6	共同 担当教員退職のため担当教員数の変更 (28)	
男女共同参画社会を生きる	1・2後	2						兼2	共同・集中・※演習	
ものづくり体験	1・2後	2						兼2	共同	
宇大を学ぶ	1・2後	2						兼1	担当教員が退職したため担当教員の変更 (28)	
栃木の里山に学ぶ (春夏編)	1・2前	1						兼1	集中	
栃木の里山に学ぶ (秋冬編)	1・2後	1						兼1	集中	
ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」	1・2前	2						兼1		
ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」	1・2後	2						兼1		
生きるということ	1・2前	2						兼4	担当教員が退職したため廃止 (28)	
「ふるじえくと」をやってみる	1・2前	4						兼4	担当教員が退職したため廃止 (28)	
体験！ふるじえくと	1・2前	2						兼4	担当教員が退職したため廃止 (28)	
感じる・考える・話す	1・2後	2						兼4	担当教員が退職したため廃止 (28)	
アクティブにとらえる現代社会	1・2後	2						兼4	担当教員が退職したため廃止 (28)	
サイエンスコミュニケーション入門～理系と文系の壁を超えよう	1・2前	2						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
地域メディア演習	1・2後	2						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
とちぎ終章学特講	1・2後		1					兼1	※講義	
とちぎ終章学演習Ⅰ	1・2前		2					兼3	共同・※講義	
とちぎ終章学演習Ⅱ	1・2前		2					兼1	※講義	
キャリア創造科目	人間と社会	1・2・3・4前	2						兼1	
	キャリアデザイン	1・2・3・4後	2						兼2	共同
	働くことの意味と実際	1・2・3・4前	2						兼1	
	実践企業人材論	1・2・3・4前	2						兼1	
	起業の実際と理論	1・2・3・4後	2						兼1	
	先輩に学ぶ	1・2・3・4前	2						兼1	
	より良く生きる	1・2・3・4前	2						兼3	オムニバス
	企業のグローバル戦略とキャリア形成	1・2・3・4後	2						兼1	
	グローバル時代の企業経営	1・2・3・4前	2						兼1	集中
	基盤キャリア教育科目 自由科目	課題発見・解決型インターンシップ	1・2・3・4前	1						兼1
課題発見・解決型インターンシップ		1・2・3・4前	2						兼1	
課題発見・解決型インターンシップ		1・2・3・4前	3						兼1	
課題発見・解決型インターンシップ		1・2・3・4前	4						兼1	
キャリア形成に資する活動		1・2・3・4前	1						兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
キャリア形成に資する活動		1・2・3・4前	2						兼1	
キャリア形成に資する活動		1・2・3・4前	3						兼1	
キャリア形成に資する活動		1・2・3・4前	4						兼1	
社会奉仕活動		1・2・3・4前	1						兼4	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止 (28)
社会奉仕活動		1・2・3・4前	2						兼4	
社会奉仕活動		1・2・3・4前	3						兼4	
社会奉仕活動		1・2・3・4前	4						兼4	
国際協力活動		1・2・3・4前	1						兼4	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止 (28)
国際協力活動		1・2・3・4前	2						兼4	
国際協力活動		1・2・3・4前	3						兼4	
国際協力活動		1・2・3・4前	4						兼4	
実務体験活動		1・2・3・4前	1						兼4	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止 (28)
実務体験活動		1・2・3・4前	2						兼4	
実務体験活動		1・2・3・4前	3						兼4	
実務体験活動		1・2・3・4前	4						兼4	

基盤教育科目	基礎キャリア 自由科目	特別体験活動	1・2・3・4前	1								兼1		
		特別体験活動	1・2・3・4前	2										兼1
		特別体験活動	1・2・3・4前	3										兼1
		特別体験活動	1・2・3・4前	4										兼1
	留學生日本語科目	アカデミック・ジャパニーズ	1前	1									兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
		日本語アカデミック・リーディングⅠ	1前	1									兼1	
		日本語アカデミック・ライティング	1後	1									兼1	
		日本語アカデミック・リーディングⅡ	1・2・3・4後	1									兼1	
		日本語アカデミック・プレゼンテーション	1・2・3・4後	1									兼1	
	入専門導	地域デザイン学序論A	1前	2									兼13	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
		地域デザイン学序論B	1後	2			4	6					兼13	
		地域デザイン学序論C	1後	2									兼10	
			1後	2									兼10	
専門教育科目	共通専門科目	地域デザイン訪問	1通	2			1	2					兼6	オムニバス・共同
		地域の姿と課題Ⅰ	1前	1				1					兼3	
		地域コミュニケーション演習	1前	1			2	2			2		兼6	
		地域の姿と課題Ⅱ	3前	1			1	1					兼6	
		ワークショップ演習	3前	1				3					兼3	
		地域プロジェクト演習	3通	2			4	6			2		兼3	
	必修科目	G I S 演習	2後		1			1					兼2	オムニバス
		地域デザイン倫理	3後		2								兼4	
		微積分学及演習	1前	3									兼3	
		建築構造力学Ⅰ	1前	2			1						兼3	
		建築構造力学演習Ⅰ	1前	1							1		兼3	
		建築図学	1後	2				1			1		兼3	
		建築設計基礎	1後	2				1					兼3	
建築構造力学Ⅱ	1後	2				1					兼3			
建築都市デザイン学科専門科目	必修科目	建築構造力学演習Ⅱ	1後	1						1			兼1	オムニバス
		線形代数学及演習	2前	3									兼1	
		建築計画学Ⅰ	2前	2				1					兼1	
		建築コンバージョン論	2前	2			1						兼1	
		環境工学Ⅰ	2前	2				1					兼1	
		建築構法	2前	2				1					兼1	
		建築設計製図Ⅰ	2前	2				4			2		兼1	
		建築計画学Ⅱ	2後	2				1					兼1	
		バリアフリー建築論	2後	2				1					兼1	
		設備工学Ⅰ	2後	2			1						兼1	
	建築材料Ⅰ	2後	2			1						兼1		
	建築設計製図Ⅱ	2後	2				3					兼1		
	建築材料実験	3前	1			1	1					兼1		
	建築設計製図Ⅲ	3前	2				3					兼1		
	建築法規	3後	2									兼1		
	建築生産	3後	2									兼1		
	建築地域設計製図	3後	2			4	6			2		兼1		
選択科目	建築環境実験	3通	1			1	1			1		兼1	オムニバス・共同	
	卒業研究	4通	4			4	6			2		兼1		
	卒業設計	4通	4			4	6			2		兼1		
	高齢社会学	1後		2								兼1		
	まちづくり論	1後		2								兼1		
	建築構造力学Ⅲ	2前		2		1						兼1		
	社会調査法	2後		2					2		1	兼1		
	建築史Ⅰ	2後		2								兼1		
	建築構造力学Ⅳ	2後		2				1				兼1		
	環境工学Ⅱ	2後		2				1				兼1		
防災マネジメントⅠ	2後		2								兼1			
まちづくり特講	2後		2								兼7			
学外実習Ⅰ	2通		1		1						兼1			
学外実習Ⅱ	2通		2		1						兼1			
社会統計学	3前		2								兼1			
建築計画学Ⅲ	3前		2				1				兼1			
都市計画	3前		2				1				兼1			
建築リサイクル学	3前		2		1						兼1			
建築史Ⅱ	3前		2								兼1			
鉄骨構造	3前		2		1						兼1			
鉄筋コンクリート構造	3前		2			1					兼1			
設備工学Ⅱ	3前		2			1					兼1			
設備設計論	3前		2								兼1			
建築材料Ⅱ	3前		2		1						兼1			

専門教育科目	建築都市デザイン学科専門科目	選択科目	生物多様性論	3後	2						兼1			
			建築計画学Ⅳ	3後	2			1						
			地区計画	3後	2			1				兼1	オムニバス	
			建築デザイン	3後	2			1						
			建築史Ⅲ	3後	2							兼1	隔年	
			高齢者防災論	3後	2					1				
			構造設計論	3後	2							兼1	隔年	
			土質基礎工学	3後	2							兼1		
			設備工学Ⅲ	3後	2			1						
			地域環境エネルギー計画	3後	2					1				
			建築インターンシップ	3通	2					1				
			建築学外実習	3通	1					1				
			国土計画	4前	2								兼2	オムニバス
			工業日本語基礎Ⅰ	3前	1								兼1	留学生対象科目
			工業日本語基礎Ⅱ	3後	1								兼1	留学生対象科目
工業日本語応用	4通	2								兼1	留学生対象科目			

- (注)・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任, 兼担の教員が担当する授業科目については, 備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で, 専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には, 「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について, 設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても, 設置時の状況を黒字で記入してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
44	300	0	344	44 [0]	318 [18]	0 [0]	362 [18]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに, []内に, 設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)
- ・ 資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	器楽合奏概論	2	1・2後	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
2	生きるということ	2	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
3	「ぶろじえくと」をやってみる	1	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
4	体験！ぶろじえくと	2	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
5	感じる・考える・話す	2	1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
6	アクティブにとらえる現代社会	2	1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
7	社会奉仕活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
8	国際協力活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
9	実務体験活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
10	特別体験活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止となった科目のうち番号7～10の科目については、現状に見合った活動である「課題発見・解決型インターンシップ」及び「キャリア形成に資する活動」として科目を新設したため、教育の質の確保はできており、それ以外の科目については、一般教養科目に位置づけられている科目であり履修上の影響はないと考える。
 なお、学生に対しては、履修案内・シラバス等において、開講科目を周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.02}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

峰キャンパス

<地域デザイン科学部 建築都市デザイン学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎教育科目	Integrated English I A	1前	2								兼6 兼2	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)	
	Integrated English I B	1前	1								兼8		
	Integrated English II A	1後	2								兼6 兼2	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)	
	Integrated English II B	1後	1								兼8		
	Advanced English I (Intensive Reading)	2前後	1								兼4		
	Advanced English I (Pleasure Reading)	2前後	1								兼2		
	Advanced English I (Academic Writing)	2前後	1								兼2		
	Advanced English I (Essay writing)	2前後	1								兼4		
	Advanced English I (Public Speaking)	2前後	1								兼2		
	Advanced English I (Presentation)	2前後	1								兼4		
	Advanced English I (Discussion&Debate)	2前後	1								兼2	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)	
	Advanced English I (Speech Clinic)	2前後	1								兼1 兼4 兼3	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)	
	Advanced English I (Vocabulary Building)	2前	1								兼2		
	Advanced English I (Communicative Grammar)	2前後	1								兼4		
	Advanced English I (Media English)	2前後	1								兼2		
	Advanced English I (Cinema English)	2前後	1								兼2 兼1	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)	
	Advanced English I (TOEIC)	2前後	1								兼5		
	Advanced English I (TOEFL)	2前後	1								兼2 兼1	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)	
	Advanced English I (EAP)	2前後	1								兼4		
	Honors English A	1・2・3・4前	1								兼2		
	Honors English B	1・2・3・4後	1								兼2		
	Honors English C	1・2・3・4前	1								兼2		
	Honors English D	1・2・3・4後	1								兼2		
	Honors English E	1・2・3・4前	1								兼2		
	Honors English F	1・2・3・4後	1								兼2		
	Honors English G	1・2・3・4前	1								兼2		
	Honors English H	1・2・3・4後	1								兼2		
	Honors Camp A	1・2・3・4前	2								兼1		
	Honors Camp B	1・2・3・4前	2								兼1		
	Honors Camp C	1・2・3・4前	2								兼1		
	Honors Camp D	1・2・3・4前	2								兼1		
	Overseas Study A	1・2・3・4前	1								兼1	留学期間により単位認定	
	Overseas Study A	1・2・3・4前	2								兼1		
	Overseas Study A	1・2・3・4前	3								兼1		
	Overseas Study A	1・2・3・4前	4								兼1		
	Overseas Study B	1・2・3・4前	1								兼1	留学期間により単位認定	
	Overseas Study B	1・2・3・4前	2								兼1		
	Overseas Study B	1・2・3・4前	3								兼1		
	Overseas Study B	1・2・3・4前	4								兼1		
	Overseas Study C	1・2・3・4前	1								兼1	留学期間により単位認定	
Overseas Study C	1・2・3・4前	2								兼1			
Overseas Study C	1・2・3・4前	3								兼1			
Overseas Study C	1・2・3・4前	4								兼1			
Overseas Study D	1・2・3・4前	1								兼1	留学期間により単位認定		
Overseas Study D	1・2・3・4前	2								兼1			
Overseas Study D	1・2・3・4前	3								兼1			
Overseas Study D	1・2・3・4前	4								兼1			
スポーツと健康	1前	2									兼9 兼7	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)	
とちぎ終章学総論	1後	1									兼1	※講義	
人文科学系科目	哲学領域	西洋思想	1・2前	2								兼1	
		現代思想	1・2後	2								兼1	
		東洋思想	1・2前	2								兼1	
		論理学	1・2前	2								兼1	
		西洋の倫理思想	1・2後	2								兼1	
		科学思想史	1・2前	2								兼1	
		東アジアの宗教と文化	1・2前	2								兼1	
仏教における人間形成論	1・2前	2								兼1			

基礎教育科目	人文科学系科目	心理学領域	認知心理学入門	1・2後	2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
			行動心理学入門	1・2前	2							兼1	
			実験心理学入門	1・2前	2							兼1	
			発達と学習の心理学	1・2後	2							兼1	
			パーソナリティ心理学概論	1・2前	2							兼1	
			障害者心理学	1・2前	2							兼1	
			子どもの言語とコミュニケーション入門	1・2後	2							兼1	
			心理学と人権	1・2前	2							兼1	
			学校臨床心理学	1・2後	2							兼1	
			言語習得論	1・2後	2							兼1	
			文学領域	日本文学 (古典)	1・2前後	2							
	日本近代文学講読	1・2前		2							兼1		
	日本の小説	1・2前		2							兼1		
	日本の古典	1・2後		2							兼1		
	中国文学	1・2前		2							兼1		
	韓国文学	1・2後		2							兼1		
	ドイツ文学	1・2前		2							兼1		
	フランス文学	1・2後		2							兼1		
	比較文学	1・2前		2							兼1		
	ロシア文学	1・2前		2							兼1		
	英文学入門	1・2後		2							兼1		
	米文学入門	1・2前	2							兼1			
	芸術領域	ヨーロッパ地域文化論	1・2前	2							兼1	隔年 カリキュラムの見直しにより科目を廃止 (28)	
		現代美学	1・2後	2							兼1		
		芸術学	1・2前	2							兼1		
		芸術と自然	1・2前	2							兼1		
		音楽通論	1・2後	2							兼1		
		声楽の魅力	1・2後	2							兼1		
		器楽合奏概論	1・2後	2							兼1		
		管打合奏演習	1・2後	2							兼1		
		日本文化A	1・2前	2							兼1		
		日本文化B	1・2後	2							兼1		
		美術表現基礎	1・2前	2							兼2		
近現代美術論	1・2後	2							兼2				
人文総合領域	多言語コミュニケーション学A	1・2前	2							兼1	共同 カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
	多言語コミュニケーション学B	1・2後	2							兼1			
	日本語の表記	1・2前	2							兼1			
	論理表現の技術	1・2後	2							兼1			
	Japanese Communication Arts	1・2後	2							兼1			
	ことばから見た人間	1・2後	2							兼2			
	生涯学習概論	1・2前	2							兼1			
	成人教育と参加型学習	1・2後	2							兼1			
	教育の裏側に光を当てる	1・2前	2							兼1			
	生活美学	1・2前	2							兼1			
	ものと文化と社会	1・2後	2							兼1			
映像分析の実践	1・2前	2							兼1				
世界のなかの日本文化	1・2後	2							兼1				
ボディ・ランゲージ	1・2後	2							兼1				
声のトレーニング	1・2後	2							兼1				
社会科学系科目	法学領域	日本国憲法	1・2前後	2							兼3	※演習	
		法学入門	1・2前	2							兼1		
		国際化と人権	1・2前	2							兼1		
		知的財産権概論	1・2後	2							兼1		
		法学概論	3・4後	2							兼1		
	政治学領域	国際政治史	1・2前	2							兼1		
		戦争と平和をめぐる諸問題	1・2後	2							兼1		
		現代政治の理論と実際	1・2後	2							兼1		
		グローバル・ガバナンス論入門	1・2前	2							兼1		
		政治の世界	1・2前	2							兼1		
	現代日本政治論	1・2後	2							兼1			
経済学領域	経済学 I	1・2前	2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
	経済分析入門	1・2前	2							兼1			
	資本市場の役割と証券投資	1・2後	2							兼1			
	資本論を読もう	1・2前	2							兼1			
	応用経済学入門	1・2後	2							兼1			
数理経済学入門	1・2前	2							兼1				

基盤教育科目	社会科学系科目	経済学領域	ゲーム理論入門	1・2後	2													兼1			
			農業経営入門	1・2前	2														兼1		
		社会学領域	社会学入門	1・2後	2															兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
			応用社会学	1・2後	2															兼1	
			現代日本の社会	1・2前	2															兼1	
			マスコミ入門	1・2後	2															兼1	
			オセアニア民族誌	1・2後	2															兼1	
			文化人類学入門	1・2後	2															兼1	
			環境と国際社会	1・2前	2															兼1	
		多文化共生論入門	1・2前	2															兼1		
		地理学領域	人文地理学入門 I	1・2前	2															兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
			人文地理学入門 II	1・2後	2															兼1	
			農村空間論 地誌学	1・2後 1・2後	2 2															兼1 兼1	
		歴史学領域	歴史学入門	1・2前	2															兼1	
			歴史と民族	1・2後	2															兼1	
			歴史と文化	1・2後	2															兼1	
			地域の歴史	1・2後	2															兼1	
		社会科学系科目	社会学領域	中東の社会と文化	1・2前	2															兼1
	社会開発入門			1・2前	2															兼1	
	遊びの理論とゲーム開発			1・2後	2															兼1	
	遊び輪と遊び指導			1・2前	2															兼1	
	住まいづくり・まちづくり入門			1・2前	2															兼1	
	オイコス入門			1・2前	2															兼1	
	障害者問題入門			1・2前	2															兼1	
	数や図形の絵本づくり			1・2後	2															兼1	
	栃木県の歴史と文化			1・2前	2															兼1	
	社会福祉入門			1・2後	2															兼1	
	環境教育			1・2前	2															兼1	
	地域環境社会学			1・2後	2															兼1	
	社会総合領域		災害復興学入門	1・2後	2															兼1	オムニバス・共同 集中 オムニバス カリキュラムの整備により科目を追加 (28) カリキュラムの整備により科目を追加 (28) カリキュラムの整備により科目を追加 (28) カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
グローバル化と外国人児童生徒教育			1・2後	2															兼6		
国際協力論入門			1・2前	2															兼1		
伝染組織と感性			1・2後	2															兼1		
著作権法入門			1・2後	2															兼1		
教科書に見る歴史と社会			1・2後	2															兼1		
人と自然の共生を考える			1・2通	2															兼1		
希望の地域社会論	1・2後	2								2							兼2				
地域振興と大学の役割	1・2後	2															兼1				
農業と文明	1・2後	2															兼1				
世界の農業	1・2前	2															兼1				
アフリカ学入門	1・2前	2															兼1				
中国事情	1・2後	2															兼1				
グローバル韓国学	1・2前	2															兼1				
科学・技術・教育・社会を考える	1・2後	2															兼1				
セクソロジー入門	1・2後	2															兼1				
自然科学系科目	数学領域	現代数学入門	1・2後	2															兼1	オムニバス カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
		Mathematicaによる微積分入門	1・2前	2															兼1		
		Mathematicaによるデータ解析入門	1・2後	2															兼1		
		振動の科学	1・2前	2															兼1		
		数学の世界	1・2前	2															兼4		
	物理学領域	教養物理	1・2前	2								1							兼2	オムニバス	
		物理学入門	1・2前	2															兼1		
		物理工学最前線	1・2前	2															兼1		
		Mathematica入門	1・2前後	2															兼1		
		放射線科学入門	1・2前	2															兼1		
		エレクトロニクス科学史	1・2後	2															兼1		
		バイオメテイクス入門	1・2後	2															兼1		
化学領域	地球環境と化学	1・2前	2															兼1			
	環境と生物化学	1・2前	2															兼1			
	不思議な化学	1・2後	2															兼1			
	水素とエネルギー	1・2後	2															兼1			
	リメディアル化学	1・2前	2															兼1			
物質・材料の機器分析入門	1・2前	2															兼1				

基盤教育科目	自然科学系科目	化学領域	微生物の化学	1・2後	2						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
			ノーベル化学賞周辺の化学	1・2後	2						兼1		
		生物学領域	人間生活と植物	1・2後	2							兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (28)
			食料生産の生物学	1・2後	2							兼1	
			21世紀を支える熱帯植物	1・2後	2							兼1	
			野外における野生動物識別テクニックの基礎	1・2前	2							兼1	
			野外における鳥獣識別テクニックの基礎	1・2前	2							兼1	
		情報科学領域	基礎生物学	1・2前	2							兼1	※講義 カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
			ウイルスの世界と生物の世界	1・2前	2							兼1	
			美味しさを科学するーミシュランガイド宇宙宮をつくらうー	1・2後	2							兼1	
	人体の中の小宇宙		1・2後	2							兼1		
	地理領域	C言語・プログラミング入門	1・2前	2							兼1		
		プログラミング応用	1・2前	2							兼1		
	健康科学領域	インターネットのしくみ	1・2後	2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
		Webのしくみ	1・2後	2							兼1		
		身のまわりのICT	1・2後	2							兼1		
		ワイヤレス通信のしくみ	1・2後	2							兼1		
		医用画像工学入門	1・2前	2							兼1		
		地球環境と生物事件史	1・2前	2							兼1		
		身近な気象学	1・2後	2							兼1		
肥満の科学		1・2後	2							兼1			
健康管理学概論		1・2後	2							兼1			
健康のためなら死んでもいい!?		1・2前	2							兼1			
自然総合領域	生活習慣と健康	1・2前	2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
	バレーボールの科学	1・2後	2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
初習外国語系科目	スポーツトレーニング論	1・2後	2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
	人間の感覚を測る	1・2前	2							兼1	※講義		
	生物の多様性とは何か	1・2後	2							兼1			
	雑草と人の暮らし	1・2後	2							兼1			
	雑草観察入門	1・2前	2							兼1	※講義		
	雑草と里山のフィールド演習 I	1・2前	1							兼1	集中		
	雑草と里山のフィールド演習 II	1・2後	1							兼2	共同・集中		
創造ものづくり入門	1・2後	2							兼2	共同 カリキュラムの整備により科目を追加 (28)			
初習外国語系科目	ドイツ語基礎 I	1・2前	1							兼1			
	ドイツ語基礎 II	1・2後	1							兼1			
	ドイツ語基礎 III	1・2前	1							兼1			
	ドイツ語基礎 IV	1・2後	1							兼1			
	ドイツ語応用 I	1・2前	1							兼1			
	ドイツ語応用 II	1・2後	1							兼1			
	フランス語基礎 I	1・2前	1							兼2			
	フランス語基礎 II	1・2後	1							兼2			
	フランス語基礎 III	1・2前	1							兼1			
	フランス語基礎 IV	1・2後	1							兼1			
	フランス語応用 I	1・2前	1							兼1			
	フランス語応用 II	1・2後	1							兼1			
	スペイン語基礎 I	1・2前	1							兼1			
	スペイン語基礎 II	1・2後	1							兼1			
	スペイン語基礎 III	1・2前	1							兼1			
	スペイン語基礎 IV	1・2後	1							兼1			
	スペイン語応用 I	1・2前	1							兼1			
	スペイン語応用 II	1・2後	1							兼1			
	中国語基礎 I	1・2前	1							兼2			
	中国語基礎 II	1・2後	1							兼2			
	中国語基礎 III	1・2前	1							兼1			
	中国語基礎 IV	1・2後	1							兼1			
	中国語応用 I	1・2前	1							兼1			
	中国語応用 II	1・2後	1							兼1			
	タイ語基礎 I	1・2前	1							兼1			
	タイ語基礎 II	1・2後	1							兼1			
	タイ語基礎 III	1・2前	1							兼1			
タイ語基礎 IV	1・2後	1							兼1				
タイ語応用 I	1・2前	1							兼1				
タイ語応用 II	1・2後	1							兼1				
朝鮮語基礎 I	1・2前	1							兼2				
朝鮮語基礎 II	1・2後	1							兼1				
朝鮮語基礎 III	1・2前	1							兼1				

語系外国	初習	朝鮮語基礎Ⅳ	1・2後		1							兼1		
	習	朝鮮語応用Ⅰ	1・2前		1							兼1		
	科目	朝鮮語応用Ⅱ	1・2後		1							兼1		
総合系科目	基盤教育科目	野外調査論	1・2前		2							兼3	共同・※講義	
		里山のサステイナビリティを考える	1・2前		2							兼3	共同・集中・※講義	
		人と自然をつなぐ・人と人をつなぐA	1・2前		1								兼2	共同・集中
		人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB	1・2前		1								兼1	集中・※講義
		実践・宇都宮のまちづくり	1・2前		2								兼1	
		一地方銀行の歴史に学ぶ“金融経済の仕組み”と“地域金融機関の役割”	1・2後		2								兼1	
		地域金融機関とともに「地方創生」を考える	1・2後		2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(28)
		危機を見つめる力	1・2前		2								兼1	
		3.11と学問の不確かさ	1・2前		2								兼8	オンパス・共同
		食と生命のフィールド実践演習	1・2前		4								兼5	共同
													兼6	担当教員退職のため担当教員数の変更(28)
		男女共同参画社会を生きる	1・2後		2								兼2	共同・集中・※演習
		宇大を学ぶ	1・2後		2								兼1	担当教員が退職したため担当教員数の変更(28)
		栃木の里山に学ぶ(春夏編)	1・2前		1								兼1	集中
		栃木の里山に学ぶ(秋冬編)	1・2後		1								兼1	集中
		ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」	1・2前		2								兼1	
		ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」	1・2後		2								兼1	
		生きるということ	1・2前		2								兼1	担当教員が退職したため廃止(28)
		「ぶろじゅくと」をやってみる	1・2前		1								兼1	担当教員が退職したため廃止(28)
		体験！ぶろじゅくと	1・2前		2								兼1	担当教員が退職したため廃止(28)
		感じる・考える・話す	1・2後		2								兼1	担当教員が退職したため廃止(28)
		アクティブにとらえる現代社会	1・2後		2								兼1	担当教員が退職したため廃止(28)
		サイエンスコミュニケーション入門～理系と文系の壁を超えよう	1・2前		2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(28)
		地域メディア演習	1・2後		2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(28)
		とちぎ終章学特講	1・2後		1								兼1	※講義
		とちぎ終章学演習Ⅰ	1・2前		2								兼3	共同・※講義
		とちぎ終章学演習Ⅱ	1・2前		2								兼1	※講義
キャリア教育科目	自由科目	キャリアデザイン	1・2・3・4後		2							兼2	共同	
		働くことの意味と実際	1・2・3・4前		2							兼1		
		実践企業人材論	1・2・3・4前		2								兼1	
		起業の実際と理論	1・2・3・4後		2								兼1	
		先輩に学ぶ	1・2・3・4前		2								兼1	
		企業のグローバル戦略とキャリア形成	1・2・3・4後		2								兼1	
		グローバル時代の企業経営	1・2・3・4前		2								兼1	集中
		課題発見・解決型インターンシップ	1・2・3・4前		1								兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を追加(28)
		課題発見・解決型インターンシップ	1・2・3・4前		2							兼1		
		課題発見・解決型インターンシップ	1・2・3・4前		3							兼1		
		課題発見・解決型インターンシップ	1・2・3・4前		4							兼1		
		キャリア形成に資する活動	1・2・3・4前		1								兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を追加(28)
		キャリア形成に資する活動	1・2・3・4前		2							兼1		
		キャリア形成に資する活動	1・2・3・4前		3							兼1		
		キャリア形成に資する活動	1・2・3・4前		4							兼1		
		社会奉仕活動	1・2・3・4前		1								兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止(28)
		社会奉仕活動	1・2・3・4前		2							兼1		
		社会奉仕活動	1・2・3・4前		3							兼1		
		社会奉仕活動	1・2・3・4前		4							兼1		
		国際協力活動	1・2・3・4前		1								兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止(28)
		国際協力活動	1・2・3・4前		2							兼1		
国際協力活動	1・2・3・4前		3							兼1				
国際協力活動	1・2・3・4前		4							兼1				
実務体験活動	1・2・3・4前		1								兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止(28)		
実務体験活動	1・2・3・4前		2							兼1				
実務体験活動	1・2・3・4前		3							兼1				
実務体験活動	1・2・3・4前		4							兼1				
特別体験活動	1・2・3・4前		1								兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止(28)		
特別体験活動	1・2・3・4前		2							兼1				
特別体験活動	1・2・3・4前		3							兼1				
特別体験活動	1・2・3・4前		4							兼1				

基盤教育科目	留學生日本語科目	アカデミック・ジャパニーズ 日本語アカデミック・リーディングⅠ	1前 1前	1 1							兼1 兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(28)
		日本語アカデミック・ライティング 日本語アカデミック・リーディングⅡ	1後 1・2・3・4後	1 1							兼1 兼1	
入専門科目	地域デザイン学序論A 地域デザイン学序論B 地域デザイン学序論C	地域デザイン学序論A	1前	2			4	6		2	兼13	オムニバス
		地域デザイン学序論B	1後	2								オムニバス
専門教育科目	選択科目	生物多様性論	3後	2							兼1	オムニバス

- (注)・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任, 兼担の教員が担当する授業科目については, 備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合, 専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には, 「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について, 設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても, 設置時の状況を黒字で記入してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
10	256	0	266	10 [0]	274 [18]	0 [0]	284 [18]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに, []内に, 設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)
- ・ 資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	器楽合奏概論	2	1・2後	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
2	生きるということ	2	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
3	「ぶろじえくと」をやってみる	1	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
4	体験！ぶろじえくと	2	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
5	感じる・考える・話す	2	1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
6	アクティブにとらえる現代社会	2	1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
7	社会奉仕活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
8	国際協力活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
9	実務体験活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
10	特別体験活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止となった科目のうち番号7～10の科目については、現状に見合った活動である「課題発見・解決型インターンシップ」及び「キャリア形成に資する活動」として科目を新設したため、教育の質の確保はできており、それ以外の科目については、一般教養科目に位置づけられている科目であり履修上の影響はないと考える。
 なお、学生に対しては、履修案内・シラバス等において、開講科目を周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.03}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

陽東キャンパス

<地域デザイン科学部 建築都市デザイン学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基盤教育科目	入初期 目 新入生セミナー	1前	2			4	6			2		オムニバス・※演習
	シ リ テ ラ 情報処理基礎	1前	2			1						
	人文 科学 系 人文 総合 領域 社会言語学概論－日本語の変遷－	1・2前		2								兼1
	自然 科学 系 数学 領域 電気電子数学入門	1・2前		2								兼1 ※講義
	情報 科学 系 情報 科学 領域 グラフィックス入門	1・2後		2								兼1
	総合 系 科目 ものづくり体験	1・2後		2								兼2 共同
	基盤 キャリア 教育 科目 キャリア 創造 科目 人間と社会	1・2・3・4前		2								兼1
	より良く生きる	1・2・3・4前		2								兼3 オムニバス
共通専門科目	地域デザイン訪問	1通	2			1	2					兼6 オムニバス・共同
	必修 科目 地域の姿と課題Ⅰ	1前	1				1					兼3 オムニバス・共同
	地域コミュニケーション演習	1前	1			2	2			2		兼6 共同
	地域の姿と課題Ⅱ	3前	1			1	1					オムニバス
	ワークショップ演習	3前	1				3					兼3 共同
	地域プロジェクト演習	3通	2			4	6			2		共同
	選択 科目 GIS演習	2後		1			1					兼2 オムニバス
地域デザイン倫理	3後		2								兼4 オムニバス	
専門教育科目	微積分学及演習	1前	3									兼3 共同・※講義
	建築構造力学Ⅰ	1前	2			1						
	建築構造力学演習Ⅰ	1前	1							1		
	建築図学	1後	2							1		オムニバス
	建築設計基礎	1後	2				1					
	建築構造力学Ⅱ	1後	2				1					
	建築構造力学演習Ⅱ	1後	1							1		
	線形代数学及演習	2前	3									兼1 ※講義
	建築計画学Ⅰ	2前	2				1					
	建築コンバージョン論	2前	2			1						
	環境工学Ⅰ	2前	2				1					
	必修 科目 建築構法	2前	2				1					
	建築設計製図Ⅰ	2前	2				4			2		
	建築計画学Ⅱ	2後	2				1					
	バリアフリー建築論	2後	2				1					
	設備工学Ⅰ	2後	2			1						
	建築材料Ⅰ	2後	2			1						
	建築設計製図Ⅱ	2後	2				3					兼1
	建築材料実験	3前	1			1	1					
	建築設計製図Ⅲ	3前	2				3					
建築法規	3後	2									兼1	
建築生産	3後	2									兼1	
建築地域設計製図	3後	2			4	6			2		兼1	
建築環境実験	3通	1			1	1			1		オムニバス・共同	
卒業研究	4通	4			4	6			2			
卒業設計	4通	4			4	6			2			

専門教育科目	建築都市デザイン学科専門科目	高齢社会学	1後	2					兼1		
		まちづくり論	1後	2					兼1		
		建築構造力学Ⅲ	2前	2		1					
		社会調査法	2後	2			2		1	オムニバス・※演習	
		建築史Ⅰ	2後	2					兼1	隔年	
		建築構造力学Ⅳ	2後	2				1			
		環境工学Ⅱ	2後	2				1			
		防災マネジメントⅠ	2後	2					兼1		
		まちづくり特講	2後	2					兼7	オムニバス・※演習	
		学外実習Ⅰ	2通	1		1					
		学外実習Ⅱ	2通	2		1					
		社会統計学	3前	2					兼1	コミュニティデザイン学科の留意事項に対応するため内容を変更(28)	
		建築計画学Ⅲ	3前	2				1			
		都市計画	3前	2				1		兼1	オムニバス
		建築リサイクル学	3前	2		1					
		建築史Ⅱ	3前	2					兼1	隔年	
		鉄骨構造	3前	2		1					
		鉄筋コンクリート構造	3前	2				1			
		設備工学Ⅱ	3前	2		1					
		設備設計論	3前	2					兼1	隔年	
		建築材料Ⅱ	3前	2		1					
		建築計画学Ⅳ	3後	2				1			
		地区計画	3後	2				1		兼1	オムニバス
		建築デザイン	3後	2				1			
		建築史Ⅲ	3後	2					兼1	隔年	
		高齢者防災論	3後	2				1			
		構造設計論	3後	2					兼1	隔年	
		土質基礎工学	3後	2					兼1		
設備工学Ⅲ	3後	2		1							
地域環境エネルギー計画	3後	2				1					
建築インターンシップ	3通	2			1						
建築学外実習	3通	1			1						
国土計画	4前	2					兼2	オムニバス			
工業日本語基礎Ⅰ	3前	1					兼1	留学生対象科目			
工業日本語基礎Ⅱ	3後	1					兼1	留学生対象科目			
工業日本語応用	4通	2					兼1	留学生対象科目			

- (注)・設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・設置時の授業科目全て(兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・兼任, 兼担の教員が担当する授業科目については, 備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・授業科目を追加又は内容を変更する場合, 専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には, 「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
 - ・「配当年次」について, 設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても, 設置時の状況を黒字で記入してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
34	44	0	78	34	44	0	78	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注)・未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに, []内に, 設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)
- ・資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

＜地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科＞

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基盤教育科目	科 導 初 目 入 期	新入生セミナー	1前	2			5	4				オムニバス・※演習	
	リ テ ラ シ ー 科 目	Integrated English I A	1前	2								兼6 兼2	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)
		Integrated English I B	1前	1								兼8	
		Integrated English II A	1後	2								兼6 兼2	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)
		Integrated English II B	1後	1								兼8	
		Advanced English I (Intensive Reading)	2前後		1							兼4	
		Advanced English I (Pleasure Reading)	2前後		1							兼2	
		Advanced English I (Academic Writing)	2前後		1							兼2	
		Advanced English I (Essay writing)	2前後		1							兼4	
		Advanced English I (Public Speaking)	2前後		1							兼2	
		Advanced English I (Presentation)	2前後		1							兼4	
		Advanced English I (Discussion&Debate)	2前後		1							兼2	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)
		Advanced English I (Speech Clinic)	2前後		1							兼4	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)
		Advanced English I (Vocabulary Building)	2前		1							兼2	
		Advanced English I (Communicative Grammar)	2前後		1							兼4	
		Advanced English I (Media English)	2前後		1							兼2	
		Advanced English I (Cinema English)	2前後		1							兼2	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)
		Advanced English I (TOEIC)	2前後		1							兼5	
		Advanced English I (TOEFL)	2前後		1							兼2	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)
		Advanced English I (EAP)	2前後		1							兼4	
		Honors English A	1・2・3・4前		1							兼2	
		Honors English B	1・2・3・4後		1							兼2	
		Honors English C	1・2・3・4前		1							兼2	
		Honors English D	1・2・3・4後		1							兼2	
		Honors English E	1・2・3・4前		1							兼2	
		Honors English F	1・2・3・4後		1							兼2	
		Honors English G	1・2・3・4前		1							兼2	
		Honors English H	1・2・3・4後		1							兼2	
	Honors Camp A	1・2・3・4前		2							兼1		
	Honors Camp B	1・2・3・4前		2							兼1		
	Honors Camp C	1・2・3・4前		2							兼1		
	Honors Camp D	1・2・3・4前		2							兼1		
	Overseas Study A	1・2・3・4前		1							兼1	留学期間により単位認定	
Overseas Study A	1・2・3・4前		2						兼1				
Overseas Study A	1・2・3・4前		3						兼1				
Overseas Study A	1・2・3・4前		4						兼1				
Overseas Study B	1・2・3・4前		1						兼1	留学期間により単位認定			
Overseas Study B	1・2・3・4前		2						兼1				
Overseas Study B	1・2・3・4前		3						兼1				
Overseas Study B	1・2・3・4前		4						兼1				
Overseas Study C	1・2・3・4前		1						兼1	留学期間により単位認定			
Overseas Study C	1・2・3・4前		2						兼1				
Overseas Study C	1・2・3・4前		3						兼1				
Overseas Study C	1・2・3・4前		4						兼1				
Overseas Study D	1・2・3・4前		1						兼1	留学期間により単位認定			
Overseas Study D	1・2・3・4前		2						兼1				
Overseas Study D	1・2・3・4前		3						兼1				
Overseas Study D	1・2・3・4前		4						兼1				
スポーツと健康	1前		2								兼9 兼7	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)	
		情報処理基礎	1前	2			1	1		2		オムニバス	
		とちぎ終章学総論	1後	1								兼1	※講義
人 文 科 学 系 科 目	哲 学 領 域	西洋思想	1・2前		2							兼1	
		現代思想	1・2後		2							兼1	
		東洋思想	1・2前		2							兼1	
		論理学	1・2前		2							兼1	
		西洋の倫理思想	1・2後		2							兼1	

基盤教育科目	人文科学系科目	哲学領域	科学思想史	1・2前	2							兼1			
		東アジアの宗教と文化	1・2前	2								兼1			
		仏教における人間形成論	1・2前	2									兼1		
		心理学領域	認知心理学入門	1・2後	2									兼1	
			行動心理学入門	1・2前	2									兼1	
			実験心理学入門	1・2前	2									兼1	
			発達と学習の心理学	1・2後	2									兼1	
			パーソナリティ心理学概論	1・2前	2									兼1	
			障害者心理学	1・2前	2									兼1	
			子どもの言語とコミュニケーション入門	1・2後	2									兼1	
			心理学と人権	1・2前	2									兼1	
			学校臨床心理学	1・2後	2									兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
			言語習得論	1・2後	2									兼1	
		文学領域	日本文学 (古典)	1・2前後	2									兼2	
			日本近代文学講読	1・2前	2									兼1	
			日本の小説	1・2前	2									兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
			日本の古典	1・2後	2									兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
			中国文学	1・2前	2									兼1	
			韓国文学	1・2後	2									兼1	
			ドイツ文学	1・2前	2									兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
			フランス文学	1・2後	2									兼1	
			比較文学	1・2前	2									兼1	
			ロシア文学	1・2前	2									兼1	
英文学入門	1・2後	2									兼1				
米文学入門	1・2前	2									兼1				
芸術領域	ヨーロッパ地域文化論	1・2前	2									兼1			
	現代美学	1・2後	2									兼1			
	芸術学	1・2前	2									兼1			
	芸術と自然	1・2前	2									兼1	隔年		
	音楽通論	1・2後	2									兼1			
	声楽の魅力	1・2後	2									兼1			
	器楽合奏概論	1・2後	2									兼1	カリキュラムの見直しにより科目を廃止 (28)		
	管打合奏演習	1・2後	2									兼1			
	日本文化A	1・2前	2									兼1			
	日本文化B	1・2後	2									兼1			
美術表現基礎	1・2前	2									兼2	オムニバス・共同・※講義			
近現代美術論	1・2後	2									兼2	オムニバス・共同			
人文総合領域	多言語コミュニケーション学A	1・2前	2									兼1			
	多言語コミュニケーション学B	1・2後	2									兼1			
	日本語の表記	1・2前	2									兼1			
	論理表現の技術	1・2後	2									兼1			
	Japanese Communication Arts	1・2後	2									兼1			
	ことばから見た人間	1・2後	2									兼2	共同		
	社会言語学概論－日本語の変遷－	1・2前	2									兼1			
	生涯学習概論	1・2前	2									兼1			
	成人教育と参加型学習	1・2後	2									兼1			
	教育の裏側に光を当てる	1・2前	2									兼1			
	生活美学	1・2前	2									兼1			
	ものと文化と社会	1・2後	2									兼1			
	映像分析の実践	1・2前	2									兼1			
	世界のなかの日本文化	1・2後	2									兼1			
	ボディ・ランゲージ	1・2後	2									兼1			
声のトレーニング	1・2後	2									兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)			
社会科学系科目	法学領域	日本国憲法	1・2前後	2								兼3			
		法学入門	1・2前	2								兼1			
		国際化と人権	1・2前	2								兼1			
		知的財産権概論	3・4後	2								兼1	※演習		
		法学概論	1・2後	2								兼1			
	政治学領域	国際政治史	1・2前	2									兼1		
		戦争と平和をめぐる諸問題	1・2後	2									兼1		
		現代政治の理論と実際	1・2後	2									兼1		
		グローバル・ガバナンス論入門	1・2前	2									兼1		
		政治の世界	1・2前	2									兼1		
	現代日本政治論	1・2後	2									兼1			
	経済学領域	経済学 I	1・2前	2									兼1		
経済分析入門		1・2前	2									兼1			
資本市場の役割と証券投資		1・2後	2									兼1			
資本論を読もう		1・2前	2									兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
応用経済学入門	1・2後	2									兼1				

基盤教育科目	社会科学系科目	経済学領域	数理経済学入門	1・2前	2							兼1		
		ゲーム理論入門	1・2後	2								兼1		
		農業経営入門	1・2前	2								兼1		
		社会学領域	社会学入門	1・2後	2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
			応用社会学	1・2後	2								兼1	
			現代日本の社会	1・2前	2								兼1	
			マスコミ入門	1・2後	2								兼1	
			オセアニア民族誌	1・2後	2								兼1	
			文化人類学入門	1・2後	2								兼1	
		地理学領域	人文地理学入門Ⅰ	1・2前	2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
	人文地理学入門Ⅱ		1・2後	2								兼1		
	農村空間論		1・2後	2								兼1		
	地誌学		1・2後	2								兼1		
	歴史学領域	歴史学入門	1・2前	2								兼1		
		歴史と民族	1・2後	2								兼1		
		歴史と文化	1・2後	2								兼1		
	社会総合領域	地域環境社会学	地域の歴史	1・2後	2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
			中東の社会と文化	1・2前	2								兼1	
			社会開発入門	1・2前	2								兼1	
			遊びの理論とゲーム開発	1・2後	2								兼1	
遊び輪と遊び指導			1・2前	2								兼1		
住まいづくり・まちづくり入門			1・2前	2								兼1		
オイコス入門			1・2前	2								兼1		
障害者問題入門			1・2前	2								兼1		
数や図形の絵本づくり			1・2後	2								兼1		
栃木県の歴史と文化			1・2前	2								兼1		
社会総合領域		社会福祉入門	1・2後	2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
		環境教育	1・2前	2								兼1		
		地域環境社会学	1・2後	2								兼1		
		災害復興学入門	1・2後	2								兼1		
		グローバル化と外国人児童生徒教育	1・2後	2								兼6		
		国際協力論入門	1・2前	2								兼1		
		伝統染織と感性	1・2後	2								兼1		
		著作権法入門	1・2後	2								兼1		
		教科書に見る歴史と社会	1・2後	2								兼1		
人と自然の共生を考える	1・2通	2								兼1				
社会総合領域	希望の地域社会論	1・2後	2					1		1	兼2	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
	地域振興と大学の役割	1・2後	2								兼1			
	農業と文明	1・2後	2								兼1			
	世界の農業	1・2前	2								兼1			
	アフリカ学入門	1・2前	2								兼1			
	中国事情	1・2後	2								兼1			
	グローバル韓国学	1・2前	2								兼1			
	科学・技術・教育・社会を考える	1・2後	2								兼1			
	セクソロジー入門	1・2後	2								兼1			
	数学領域	現代数学入門	1・2後	2									兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
電気電子数学入門		1・2前	2								兼1			
Mathematicaによる微積分入門		1・2前	2								兼1			
Mathematicaによるデータ解析入門		1・2後	2								兼1			
振動の科学		1・2前	2								兼1			
数学の世界	1・2前	2								兼4				
物理学領域	教養物理	1・2前	2								兼3	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
	物理学入門	1・2前	2								兼1			
	理工学最前線	1・2前	2								兼1			
	Mathematica入門	1・2前後	2								兼1			
	放射線科学入門	1・2前	2								兼1			
	エレクトロニクス科学史	1・2後	2								兼1			
化学領域	バイオミメティクス入門	1・2後	2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
	地球環境と化学	1・2前	2								兼1			
	環境と生物化学	1・2前	2								兼1			
	不思議な化学	1・2後	2								兼1			
	水素とエネルギー	1・2後	2								兼1			
リメディアル化学	1・2前	2								兼1				
物質・材料の機器分析入門	1・2前	2								兼1				

基盤教育科目	自然科学系科目	化学領域	微生物の化学	1・2後	2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
			ノーベル化学賞周辺の化学	1・2後	2							兼1		
		生物学領域	人間生活と植物	1・2後	2								兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (28)
			食料生産の生物学	1・2後	2								兼1	
			21世紀を支える熱帯植物	1・2後	2								兼1	
			野外における野生動物識別テクニックの基礎	1・2前	2								兼1	
			野外における鳥獣識別テクニックの基礎	1・2前	2								兼1	
		情報科学領域	基礎生物学	1・2前	2								兼1	※講義 カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
			ウイルスの世界と生物の世界	1・2前	2								兼1	
			美味しさを科学するーミシュランガイド宇都宮をつくろうー	1・2後	2								兼1	
	人体の中の小宇宙		1・2後	2								兼1		
	地学領域	C言語・プログラミング入門	1・2前	2								兼1		
		プログラミング応用	1・2前	2								兼1		
		グラフィックス入門	1・2後	2								兼1		
		インターネットのしくみ	1・2後	2								兼1		
		Webのしくみ	1・2後	2								兼1		
	健康科学領域	身のまわりのICT	1・2後	2								兼1		
		ワイヤレス通信のしくみ	1・2後	2								兼1		
		医用画像工学入門	1・2前	2								兼1		
地球環境と生物事件史		1・2前	2								兼1			
身近な気象学		1・2後	2								兼1			
自然総合領域	肥満の科学	1・2後	2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
	健康管理学概論	1・2後	2								兼1			
	健康のためなら死んでもいい!?	1・2前	2								兼1			
	生活習慣と健康	1・2前	2								兼1			
	バレーボールの科学	1・2後	2								兼1			
初習外国語系科目	スポーツトレーニング論	1・2後	2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
	人間の感覚を測る	1・2前	2								兼1	※講義 集中 共同・集中 共同 カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
	生物の多様性とは何か	1・2後	2								兼1			
	雑草と人のくらし	1・2後	2								兼1			
	雑草観察入門	1・2前	2								兼1			
雑草と里山のフィールド演習Ⅰ	1・2前	1								兼1				
初習外国語系科目	雑草と里山のフィールド演習Ⅱ	1・2後	1								兼2			
	創造ものづくり入門	1・2後	2								兼2			
	初習外国語系科目	ドイツ語基礎Ⅰ	1・2前	1									兼1	
		ドイツ語基礎Ⅱ	1・2後	1									兼1	
		ドイツ語基礎Ⅲ	1・2前	1									兼1	
		ドイツ語基礎Ⅳ	1・2後	1									兼1	
		ドイツ語応用Ⅰ	1・2前	1									兼1	
		ドイツ語応用Ⅱ	1・2後	1									兼1	
		フランス語基礎Ⅰ	1・2前	1									兼2	
		フランス語基礎Ⅱ	1・2後	1									兼2	
		フランス語基礎Ⅲ	1・2前	1									兼1	
		フランス語基礎Ⅳ	1・2後	1									兼1	
		フランス語応用Ⅰ	1・2前	1									兼1	
		フランス語応用Ⅱ	1・2後	1									兼1	
		スペイン語基礎Ⅰ	1・2前	1									兼1	
		スペイン語基礎Ⅱ	1・2後	1									兼1	
		スペイン語基礎Ⅲ	1・2前	1									兼1	
		スペイン語基礎Ⅳ	1・2後	1									兼1	
		スペイン語応用Ⅰ	1・2前	1									兼1	
		スペイン語応用Ⅱ	1・2後	1									兼1	
中国語基礎Ⅰ		1・2前	1								兼2			
中国語基礎Ⅱ		1・2後	1								兼2			
中国語基礎Ⅲ	1・2前	1								兼1				
中国語基礎Ⅳ	1・2後	1								兼1				
中国語応用Ⅰ	1・2前	1								兼1				
中国語応用Ⅱ	1・2後	1								兼1				
タイ語基礎Ⅰ	1・2前	1								兼1				
タイ語基礎Ⅱ	1・2後	1								兼1				
タイ語基礎Ⅲ	1・2前	1								兼1				
タイ語基礎Ⅳ	1・2後	1								兼1				
タイ語応用Ⅰ	1・2前	1								兼1				
タイ語応用Ⅱ	1・2後	1								兼1				
朝鮮語基礎Ⅰ	1・2前	1								兼2				
朝鮮語基礎Ⅱ	1・2後	1								兼1				
朝鮮語基礎Ⅲ	1・2前	1								兼1				

国語系外	初習	朝鮮語基礎Ⅳ	1・2後	1						兼1		
	習	朝鮮語応用Ⅰ	1・2前	1						兼1		
	習	朝鮮語応用Ⅱ	1・2後	1						兼1		
	総合系科目	野	野外調査論	1・2前	2						兼3	共同・※講義
		山	里山のサステナビリティを考える	1・2前	2						兼3	共同・集中・※講義
		人	人と自然をつなぐ・人と人をつなぐA	1・2前	1						兼2	共同・集中
		人	人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB	1・2前	1						兼1	集中・※講義
		実	実践・宇都宮のまちづくり	1・2前	2						兼1	
		一	一地方銀行の歴史に学ぶ「金融経済の仕組み」と「地域金融機関の役割」	1・2後	2						兼1	
		地	地域金融機関とともに「地方創生」を考える	1・2後	2						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
		危	危機を見つめる力	1・2前	2						兼1	
		3.11	3.11と学問の不確かさ	1・2前	2						兼8	オムニバス・共同
		食	食と生命のフィールド実践演習	1・2前	4						兼5	共同
											兼6	担当教員退職のため担当教員数の変更 (28)
		男	男女共同参画社会を生きる	1・2後	2						兼2	共同・集中・※演習
		もの	ものづくり体験	1・2後	2						兼2	共同
		宇	宇大を学ぶ	1・2後	2						兼1	担当教員が退職したため担当教員の変更 (28)
		栃	栃木の里山に学ぶ (春夏編)	1・2前	1						兼1	集中
		栃	栃木の里山に学ぶ (秋冬編)	1・2後	1						兼1	集中
		ワ	ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」	1・2前	2						兼1	
ワ		ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」	1・2後	2						兼1		
生		生きるということ	1・2前	2						兼1	担当教員が退職したため廃止 (28)	
「ぶ		「ぶろじえくと」をやってみる	1・2前	1						兼1	担当教員が退職したため廃止 (28)	
体	体験！ぶろじえくと	1・2前	2						兼1	担当教員が退職したため廃止 (28)		
感	感じる・考える・話す	1・2後	2						兼1	担当教員が退職したため廃止 (28)		
デ	データタイプにとらえる現代社会	1・2後	2						兼1	担当教員が退職したため廃止 (28)		
サイ	サイエンスコミュニケーション入門～理系と文系の壁を超えよう	1・2前	2						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
地	地域メディア演習	1・2後	2						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
と	とちぎ終章学特講	1・2後	1						兼1	※講義		
と	とちぎ終章学演習Ⅰ	1・2前	2						兼3	共同・※講義		
と	とちぎ終章学演習Ⅱ	1・2前	2						兼1	※講義		
キャリア創造科目	人	人間と社会	1・2・3・4前	2						兼1		
	キ	キャリアデザイン	1・2・3・4後	2						兼2	共同	
	働	働くことの意味と実際	1・2・3・4前	2						兼1		
	実	実践企業人材論	1・2・3・4前	2						兼1		
	起	起業の実際と理論	1・2・3・4後	2						兼1		
	先	先輩に学ぶ	1・2・3・4前	2						兼1		
	よ	より良く生きる	1・2・3・4前	2						兼3	オムニバス	
	企	企業のグローバル戦略とキャリア形成	1・2・3・4後	2						兼1		
	グ	グローバル時代の企業経営	1・2・3・4前	2						兼1	集中	
	自由科目	課	課題発見・解決型インターンシップ	1・2・3・4前	1						兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
		課	課題発見・解決型インターンシップ	1・2・3・4前	2					兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
課		課題発見・解決型インターンシップ	1・2・3・4前	3					兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
課		課題発見・解決型インターンシップ	1・2・3・4前	4					兼1			
キ		キャリア形成に資する活動	1・2・3・4前	1					兼1			活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
キ		キャリア形成に資する活動	1・2・3・4前	2					兼1		活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
キ		キャリア形成に資する活動	1・2・3・4前	3					兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
キ		キャリア形成に資する活動	1・2・3・4前	4					兼1			
社		社会奉仕活動	1・2・3・4前	1					兼1			活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止 (28)
社		社会奉仕活動	1・2・3・4前	2					兼1		活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止 (28)	
社		社会奉仕活動	1・2・3・4前	3					兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止 (28)		
社		社会奉仕活動	1・2・3・4前	4					兼1			
国		国際協力活動	1・2・3・4前	1					兼1			活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止 (28)
国		国際協力活動	1・2・3・4前	2					兼1		活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止 (28)	
国		国際協力活動	1・2・3・4前	3					兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止 (28)		
国		国際協力活動	1・2・3・4前	4					兼1			
実		実務体験活動	1・2・3・4前	1					兼1			活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止 (28)
実		実務体験活動	1・2・3・4前	2					兼1		活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止 (28)	
実		実務体験活動	1・2・3・4前	3					兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止 (28)		
実	実務体験活動	1・2・3・4前	4					兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止 (28)			
特	特別体験活動	1・2・3・4前	1					兼1				活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止 (28)
特	特別体験活動	1・2・3・4前	2					兼1			活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止 (28)	
特	特別体験活動	1・2・3・4前	3					兼1		活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止 (28)		
特	特別体験活動	1・2・3・4前	4					兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止 (28)			

基盤教育科目	留学生日本語科目	アカデミック・ジャパニーズ	1前	1								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)			
		日本語アカデミック・リーディングⅠ	1前	1								兼1				
		日本語アカデミック・ライティング	1後	1								兼1				
基盤教育科目	留学生日本語科目	日本語アカデミック・リーディングⅡ	1・2・3・4後	1								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)			
		日本語アカデミック・プレゼンテーション	1・2・3・4後	1								兼1				
		科学技術のための専門日本語	1・2・3・4前	1								兼1				
基盤教育科目	留学生日本語科目	人文社会系のための専門日本語	1・2・3・4前	1								兼1				
		日本事情	1・2・3・4前	2								兼1				
		地域デザイン学序論A	1前	2								兼13		オムニバス		
基盤教育科目	専門導入	地域デザイン学序論B	1後	2								兼12	オムニバス			
		地域デザイン学序論C	1後	2			5	4		1		兼12	オムニバス			
		地域デザイン学序論C	1後	2								兼12	オムニバス			
共通専門科目	必修科目	地域デザイン訪問	1通	2			3					兼6	オムニバス・共同			
		地域の姿と課題Ⅰ	1前	1				1				兼3	オムニバス・共同			
		地域コミュニケーション演習	1前	1					2			兼10	共同			
	選択科目	地域プロジェクト演習	3通	2			5	4			2		兼10	共同		
		地域デザイン倫理	3後	2			4						兼10	オムニバス		
		G I S演習	2後	1							1		兼2	オムニバス		
共通専門科目	選択科目	地域の姿と課題Ⅱ	3前	1			1	2					兼2	オムニバス		
		ワークショップ演習	3前	1									兼6	共同		
		社会基盤解析法Ⅰ	1前	2			1							※講義		
	社会基盤デザイン学科専門科目	必修科目	社会基盤解析法Ⅱ	1後	2				1						※講義	
			応用力学序論	1後	2					1						
			構造力学Ⅰ	2前	2			1								
水理学Ⅰ			2前	2			1									
土質力学Ⅰ			2前	2					1							
土木計画学			2前	2							1					
選択科目		コンクリート工学Ⅰ	2前	2			1									
		測量学	2前	2					1							
		公共経済学	2前	2										兼1	コミュニティデザイン学科の留意事項に対応するため内容を変更 (28)	
		社会調査法	2後	2			1								※演習	
		構造力学Ⅱ	2後	2			1									
		水理学Ⅱ	2後	2			1									
社会基盤デザイン学科専門科目	必修科目	土質力学Ⅱ	2後	2				1								
		鉄筋コンクリート工学	2後	2					1							
		防災マネジメントⅠ	2後	2					1							
		海外プロジェクトⅠ	2後	2			1									
		測量学実習	2通	3							1					
		海外プロジェクト演習	3前	1			1									
	選択科目	社会基盤設計演習	3後	1			1	2			1			オムニバス		
		防災マネジメント演習	3後	1				1								
		社会基盤インターンシップ	3通	1				1								
		土木工学実験	3通	2			1	2			1			共同		
		卒業研究	4通	8			5	4			2					
		公共政策入門	1前	2											兼1	
社会基盤デザイン学科専門科目	必修科目	社会福祉学概論	1前	2										兼1		
		地域資源論	1後	2										兼1		
		まちづくり論	1後	2										兼1		
		高齢社会学	1後	2										兼1		
		生物多様性論	1後	2										兼1		
		農村マネジメント	2前	2										兼1	※演習	
		文化マネジメント	2後	2										兼1	※演習	
		地域史	2後	2										兼1		
		まちづくり特講	2後	2										兼7	オムニバス・※演習	
		地方自治論	3前	2										兼1		
	選択科目	観光地理学	3前	2										兼1		
		構造工学Ⅰ	3前	2			1									
		流域環境学Ⅰ	3前	2			1									
		衛生工学	3前	2			1								オムニバス	
		交通計画	3前	2			1									
		都市計画	3前	2			1							兼1	オムニバス	
		防災マネジメントⅡ	3前	2					1							
		土木工学通論	3前	2					1						兼4	オムニバス
		公共マネジメント	3前	2											兼1	
		地域生態学	3前	2											兼1	
N P O論	3前	2											兼1			

専門教育科目	社会基盤デザイン学科専門科目	流域環境学Ⅱ	3後	2	1							兼2 オムニバス	
		土質基礎工学	3後	2		1							兼1 オムニバス
		地質工学	3後	2							1		
		地区計画	3後	2								1	
		コンクリート工学Ⅱ	3後	2	1								
		海外プロジェクトⅡ	3後	2	1								
		プロジェクト評価論	3後	2									兼1
		高齢者防災論	3後	2									兼1
		地域環境エネルギー計画	3後	2									兼1
		財政学	3後	2									兼1 集中
		景観解析	3後	2									兼1 集中
		環境・資源経済学	3後	2									兼1
		社会統計学	4前	2									兼1
		構造工学Ⅱ	4前	2	1								
		国土計画	4前	2									兼2 オムニバス
		工業日本語基礎Ⅰ	3前	1									兼1 留学生対象科目
		工業日本語基礎Ⅱ	3後	1									兼1 留学生対象科目
工業日本語応用	4通	2									兼1 留学生対象科目		

コミュニティデザイン学科の留意事項に対応するため内容を変更 (28)

- (注)・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
41	304	0	345	41 [0]	322 [18]	0 [0]	363 [18]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	器楽合奏概論	2	1・2後	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
2	生きるということ	2	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
3	「ぶろじえくと」をやってみる	1	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
4	体験！ぶろじえくと	2	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
5	感じる・考える・話す	2	1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
6	アクティブにとらえる現代社会	2	1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
7	社会奉仕活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
8	国際協力活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
9	実務体験活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
10	特別体験活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止となった科目のうち番号7～10の科目については、現状に見合った活動である「課題発見・解決型インターンシップ」及び「キャリア形成に資する活動」として科目を新設したため、教育の質の確保はできており、それ以外の科目については、一般教養科目に位置づけられている科目であり履修上の影響はないと考える。
 なお、学生に対しては、履修案内・シラバス等において、開講科目を周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.02}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

峰キャンパス

＜地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科＞

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基盤教育科目	Integrated English I A	1前	2								兼6 兼2	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)	
	Integrated English I B	1前	1								兼8		
	Integrated English II A	1後	2								兼6 兼2	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)	
	Integrated English II B	1後	1								兼8		
	Advanced English I (Intensive Reading)	2前後	1								兼4		
	Advanced English I (Pleasure Reading)	2前後	1								兼2		
	Advanced English I (Academic Writing)	2前後	1								兼2		
	Advanced English I (Essay writing)	2前後	1								兼4		
	Advanced English I (Public Speaking)	2前後	1								兼2		
	Advanced English I (Presentation)	2前後	1								兼4		
	Advanced English I (Discussion&Debate)	2前後	1								兼2	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)	
	Advanced English I (Speech Clinic)	2前後	1								兼1 兼4 兼3	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)	
	Advanced English I (Vocabulary Building)	2前	1								兼2		
	Advanced English I (Communicative Grammar)	2前後	1								兼4		
	Advanced English I (Media English)	2前後	1								兼2		
	Advanced English I (Cinema English)	2前後	1								兼2 兼1	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)	
	Advanced English I (TOEIC)	2前後	1								兼5		
	Advanced English I (TOEFL)	2前後	1								兼2 兼1	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)	
	Advanced English I (EAP)	2前後	1								兼4		
	Honors English A	1・2・3・4前	1								兼2		
	Honors English B	1・2・3・4後	1								兼2		
	Honors English C	1・2・3・4前	1								兼2		
	Honors English D	1・2・3・4後	1								兼2		
	Honors English E	1・2・3・4前	1								兼2		
	Honors English F	1・2・3・4後	1								兼2		
	Honors English G	1・2・3・4前	1								兼2		
	Honors English H	1・2・3・4後	1								兼2		
	Honors Camp A	1・2・3・4前	2								兼1		
	Honors Camp B	1・2・3・4前	2								兼1		
	Honors Camp C	1・2・3・4前	2								兼1		
	Honors Camp D	1・2・3・4前	2								兼1		
	Overseas Study A	1・2・3・4前	1								兼1	留学期間により単位認定	
	Overseas Study A	1・2・3・4前	2								兼1		
	Overseas Study A	1・2・3・4前	3								兼1		
	Overseas Study A	1・2・3・4前	4								兼1		
	Overseas Study B	1・2・3・4前	1								兼1	留学期間により単位認定	
	Overseas Study B	1・2・3・4前	2								兼1		
	Overseas Study B	1・2・3・4前	3								兼1		
	Overseas Study B	1・2・3・4前	4								兼1		
	Overseas Study C	1・2・3・4前	1								兼1	留学期間により単位認定	
	Overseas Study C	1・2・3・4前	2								兼1		
	Overseas Study C	1・2・3・4前	3								兼1		
Overseas Study C	1・2・3・4前	4								兼1			
Overseas Study D	1・2・3・4前	1								兼1	留学期間により単位認定		
Overseas Study D	1・2・3・4前	2								兼1			
Overseas Study D	1・2・3・4前	3								兼1			
Overseas Study D	1・2・3・4前	4								兼1			
スポーツと健康	1前	2									兼9 兼7	カリキュラム充実のため担当教員を追加 (28)	
とちぎ終章学総論	1後	1									兼1	※講義	
人文科学系科目	哲学領域	西洋思想	1・2前	2								兼1	
		現代思想	1・2後	2								兼1	
		東洋思想	1・2前	2								兼1	
		論理学	1・2前	2								兼1	
		西洋の倫理思想	1・2後	2								兼1	
		科学思想史	1・2前	2								兼1	
		東アジアの宗教と文化	1・2前	2								兼1	
仏教における人間形成論	1・2前	2								兼1			

基盤教育科目	人文科学系科目	心理学領域	認知心理学入門	1・2後	2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
			行動心理学入門	1・2前	2							兼1	
			実験心理学入門	1・2前	2							兼1	
			発達と学習の心理学	1・2後	2							兼1	
			パーソナリティ心理学概論	1・2前	2							兼1	
			障害者心理学	1・2前	2							兼1	
			子どもの言語とコミュニケーション入門	1・2後	2							兼1	
			心理学と人権	1・2前	2							兼1	
			学校臨床心理学	1・2後	2							兼1	
			言語習得論	1・2後	2							兼1	
文学領域	日本文学 (古典)	1・2前後	2							兼2	カリキュラムの整備により科目を追加 (28) カリキュラムの整備により科目を追加 (28) カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
	日本近代文学講読	1・2前	2							兼1			
	日本の小説	1・2前	2							兼1			
	日本の古典	1・2後	2							兼1			
	中国文学	1・2前	2							兼1			
	韓国文学	1・2後	2							兼1			
	ドイツ文学	1・2前	2							兼1			
	フランス文学	1・2後	2							兼1			
	比較文学	1・2前	2							兼1			
	ロシア文学	1・2前	2							兼1			
英文学入門	1・2後	2							兼1				
米文学入門	1・2前	2							兼1				
芸術領域	ヨーロッパ地域文化論	1・2前	2							兼1	隔年 カリキュラムの見直しにより科目を廃止 (28)		
	現代美学	1・2後	2							兼1			
	芸術学	1・2前	2							兼1			
	芸術と自然	1・2前	2							兼1			
	音楽通論	1・2後	2							兼1			
	声楽の魅力	1・2後	2							兼1			
	器楽合奏概論	1・2後	2							兼1			
	管打合奏演習	1・2後	2							兼1			
	日本文化A	1・2前	2							兼1			
	日本文化B	1・2後	2							兼1			
美術表現基礎	1・2前	2							兼2				
近現代美術論	1・2後	2							兼2				
人文総合領域	多言語コミュニケーション学A	1・2前	2							兼1	共同 カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
	多言語コミュニケーション学B	1・2後	2							兼1			
	日本語の表記	1・2前	2							兼1			
	論理表現の技術	1・2後	2							兼1			
	Japanese Communication Arts	1・2後	2							兼1			
	ことばから見た人間	1・2後	2							兼2			
	生涯学習概論	1・2前	2							兼1			
	成人教育と参加型学習	1・2後	2							兼1			
	教育の裏側に光を当てる	1・2前	2							兼1			
	生活美学	1・2前	2							兼1			
ものと文化と社会	1・2後	2							兼1				
映像分析の実践	1・2前	2							兼1				
世界のなかの日本文化	1・2後	2							兼1				
ボディ・ランゲージ	1・2後	2							兼1				
声のトレーニング	1・2後	2							兼1				
社会科学系科目	法学領域	日本国憲法	1・2前後	2							兼3	※演習	
		法学入門	1・2前	2							兼1		
		国際化と人権	1・2前	2							兼1		
		知的財産権概論	3・4後	2							兼1		
		法学概論	1・2後	2							兼1		
	政治学領域	国際政治史	1・2前	2							兼1		
		戦争と平和をめぐる諸問題	1・2後	2							兼1		
		現代政治の理論と実際	1・2後	2							兼1		
		グローバル・ガバナンス論入門	1・2前	2							兼1		
		政治の世界	1・2前	2							兼1		
現代日本政治論	1・2後	2							兼1				
経済学領域	経済学 I	1・2前	2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
	経済分析入門	1・2前	2							兼1			
	資本市場の役割と証券投資	1・2後	2							兼1			
	資本論を読もう	1・2前	2							兼1			

基盤教育科目	社会科学系科目	経済学領域	応用経済学入門	1・2後	2														兼1				
		数理経済学入門	1・2前	2															兼1				
		ゲーム理論入門	1・2後	2																兼1			
		農業経営入門	1・2前	2																兼1			
		社会学領域	社会学入門	1・2後	2																兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
			応用社会学	1・2後	2																兼1		
			現代日本の社会	1・2前	2																兼1		
			マスコミ入門	1・2後	2																兼1		
			オセアニア民族誌	1・2後	2																兼1		
			文化人類学入門	1・2後	2																兼1		
		地理学領域	環境と国際社会	1・2前	2																兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
			多文化共生論入門	1・2前	2																兼1		
	人文地理学入門Ⅰ		1・2前	2																兼1			
	人文地理学入門Ⅱ		1・2後	2																兼1			
	歴史学領域	農村空間論	1・2後	2																兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
		地誌学	1・2後	2																兼1			
		歴史学入門	1・2前	2																兼1			
	社会総合領域	歴史と民族	1・2後	2																	兼1		
		歴史と文化	1・2後	2																	兼1		
		地域の歴史	1・2後	2																	兼1		
		社会学領域	中東の社会と文化	1・2前	2																	兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28) カリキュラムの整備により科目を追加 (28) カリキュラムの整備により科目を追加 (28) カリキュラムの整備により科目を追加 (28) カリキュラムの整備により科目を追加 (28) カリキュラムの整備により科目を追加 (28) カリキュラムの整備により科目を追加 (28) カリキュラムの整備により科目を追加 (28) カリキュラムの整備により科目を追加 (28) カリキュラムの整備により科目を追加 (28) カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
			社会開発入門	1・2前	2																	兼1	
			遊びの理論とゲーム開発	1・2後	2																	兼1	
			遊び輪と遊び指導	1・2前	2																	兼1	
			住まいづくり・まちづくり入門	1・2前	2																	兼1	
			オイコス入門	1・2前	2																	兼1	
障害者問題入門			1・2前	2																	兼1		
数や図形の絵本づくり			1・2後	2																	兼1		
栃木県の歴史と文化			1・2前	2																	兼1		
社会福祉入門			1・2後	2																	兼1		
環境教育			1・2前	2																	兼1		
地域環境社会学			1・2後	2																	兼1		
社会学領域		災害復興学入門	1・2後	2																	兼1		
		グローバル化と外国人児童生徒教育	1・2後	2																	兼6		
		国際協力論入門	1・2前	2																	兼1		
		伝統染織と感性	1・2後	2																	兼1		
		著作権法入門	1・2後	2																	兼1		
	教科書に見る歴史と社会	1・2後	2																	兼1			
	人と自然の共生を考える	1・2通	2																	兼1			
	希望の地域社会論	1・2後	2								1									兼2			
	地域振興と大学の役割	1・2後	2																	兼1			
	農業と文明	1・2後	2																	兼1			
世界の農業	1・2前	2																	兼1				
アフリカ学入門	1・2前	2																	兼1				
社会学領域	中国事情	1・2後	2																	兼1			
	グローバル韓国学	1・2前	2																	兼1			
	科学・技術・教育・社会を考える	1・2後	2																	兼1			
	セクソロジー入門	1・2後	2																	兼1			
	現代数学入門	1・2後	2																	兼1			
	Mathematicaによる微積分入門	1・2前	2																	兼1			
	Mathematicaによるデータ解析入門	1・2後	2																	兼1			
	振動の科学	1・2前	2																	兼1			
	数学の世界	1・2前	2																	兼4			
	オムニバス																			兼4			
自然科学系科目	物理学領域	教養物理	1・2前	2																	兼3		
		物理学入門	1・2前	2																	兼1		
		理工学最前線	1・2前	2																	兼1		
	物理学領域	Mathematica入門	1・2前後	2																	兼1		
		放射線科学入門	1・2前	2																	兼1		
		エレクトロニクス科学史	1・2後	2																	兼1		
化学領域	バイオメテックス入門	1・2後	2																	兼1			
	地球環境と化学	1・2前	2																	兼1			
	環境と生物化学	1・2前	2																	兼1			
	不思議な化学	1・2後	2																	兼1			
	水素とエネルギー	1・2後	2																	兼1			
リメディアル化学	1・2前	2																	兼1				
物質・材料の機器分析入門	1・2前	2																	兼1				

基礎教育科目	自然科学系科目	化学領域	微生物の化学	1・2後	2						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
		ノーベル化学賞周辺の化学	1・2後	2							兼1		
		生物学領域	人間生活と植物	1・2後	2							兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (28)
			食料生産の生物学	1・2後	2							兼1	
			21世紀を支える熱帯植物	1・2後	2							兼1	
			野外における野生動物識別テクニックの基礎	1・2前	2							兼1	
			野外における鳥獣識別テクニックの基礎	1・2前	2							兼1	
		基礎生物学	基礎生物学	1・2前	2							兼1	※講義 カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
			ウイルスの世界と生物の世界	1・2前	2							兼1	
			美味しさを科学するーミシュランガイド宇都宮をつくろうー	1・2後	2							兼1	
			人体の中の小宇宙	1・2後	2							兼1	
		情報科学領域	C言語・プログラミング入門	1・2前	2							兼1	
			プログラミング応用	1・2前	2							兼1	
			インターネットのしくみ	1・2後	2							兼1	
			Webのしくみ	1・2後	2							兼1	
			身のまわりのICT	1・2後	2							兼1	
			ワイヤレス通信のしくみ	1・2後	2							兼1	
		理学領域	医用画像工学入門	1・2前	2							兼1	
			地球環境と生物事件史	1・2前	2							兼1	
		健康科学領域	身近な気象学	1・2後	2							兼1	
肥満の科学	1・2後		2							兼1			
健康管理学概論	1・2後		2							兼1			
健康のためなら死んでもいい!?	1・2前		2							兼1			
生活習慣と健康	1・2前		2							兼1			
バレーボールの科学	バレーボールの科学	1・2後	2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
	スポーツトレーニング論	1・2後	2							兼1			
自然総合領域	人間の感覚を測る	1・2前	2							兼1	※講義 集中 共同・集中 共同 カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
	生物の多様性とは何か	1・2後	2							兼1			
	雑草と人の暮らし	1・2後	2							兼1			
	雑草観察入門	1・2前	2							兼1			
	雑草と里山のフィールド演習 I	1・2前	1							兼1			
	雑草と里山のフィールド演習 II	1・2後	1							兼2			
	創造ものづくり入門	1・2後	2							兼2			
初習外国語系科目	ドイツ語基礎 I	1・2前	1							兼1			
	ドイツ語基礎 II	1・2後	1							兼1			
	ドイツ語基礎 III	1・2前	1							兼1			
	ドイツ語基礎 IV	1・2後	1							兼1			
	ドイツ語応用 I	1・2前	1							兼1			
	ドイツ語応用 II	1・2後	1							兼1			
	フランス語基礎 I	1・2前	1							兼2			
	フランス語基礎 II	1・2後	1							兼2			
	フランス語基礎 III	1・2前	1							兼1			
	フランス語基礎 IV	1・2後	1							兼1			
	フランス語応用 I	1・2前	1							兼1			
	フランス語応用 II	1・2後	1							兼1			
	スペイン語基礎 I	1・2前	1							兼1			
	スペイン語基礎 II	1・2後	1							兼1			
	スペイン語基礎 III	1・2前	1							兼1			
	スペイン語基礎 IV	1・2後	1							兼1			
	スペイン語応用 I	1・2前	1							兼1			
	スペイン語応用 II	1・2後	1							兼1			
	中国語基礎 I	1・2前	1							兼2			
	中国語基礎 II	1・2後	1							兼2			
	中国語基礎 III	1・2前	1							兼1			
	中国語基礎 IV	1・2後	1							兼1			
	中国語応用 I	1・2前	1							兼1			
	中国語応用 II	1・2後	1							兼1			
	タイ語基礎 I	1・2前	1							兼1			
	タイ語基礎 II	1・2後	1							兼1			
	タイ語基礎 III	1・2前	1							兼1			
	タイ語基礎 IV	1・2後	1							兼1			
	タイ語応用 I	1・2前	1							兼1			
	タイ語応用 II	1・2後	1							兼1			
朝鮮語基礎 I	1・2前	1							兼2				
朝鮮語基礎 II	1・2後	1							兼1				

初 習 系 外 国 語	朝鮮語基礎Ⅲ	1・2前	1						兼1			
	朝鮮語基礎Ⅳ	1・2後	1						兼1			
	朝鮮語応用Ⅰ	1・2前	1						兼1			
	朝鮮語応用Ⅱ	1・2後	1						兼1			
	総 合 系 科 目	野外調査論	1・2前	2						兼3	共同・※講義	
		里山のサステナビリティを考える	1・2前	2						兼3	共同・集中・※講義	
		人と自然をつなぐ・人と人をつなぐA	1・2前	1						兼2	共同・集中	
		人と自然をつなぐ・人と人をつなぐB	1・2前	1						兼1	集中・※講義	
		実践・宇都宮のまちづくり	1・2前	2						兼1		
		一地方銀行の歴史に学ぶ“金融経済の仕組み”と“地域金融機関の役割”	1・2後	2						兼1		
		地域金融機関とともに「地方創生」を考える	1・2後	2						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)	
		危機を見つめる力	1・2前	2						兼1		
		3.11と学問の不確かさ	1・2前	2						兼8	オムニバス・共同	
		食と生命のフィールド実践演習	1・2前	4						兼5 兼6	共同 担当教員退職のため担当教員数の変更 (28)	
		男女共同参画社会を生きる 宇大を学ぶ	1・2後 1・2後	2 2						兼2 兼1	共同・集中・※演習 担当教員が退職したため担当教員数の変更 (28)	
		栃木の里山に学ぶ (春夏編)	1・2前	1						兼1	集中	
		栃木の里山に学ぶ (秋冬編)	1・2後	1						兼1	集中	
		ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」	1・2前	2						兼1		
		ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」	1・2後	2						兼1		
		生きるということ	1・2前	2						兼1	担当教員が退職したため廃止 (28)	
「ぶるじえくと」をやってみる		1・2前	1						兼1	担当教員が退職したため廃止 (28)		
体験！ぶるじえくと		1・2前	2						兼1	担当教員が退職したため廃止 (28)		
感じる・考える・話す		1・2後	2						兼1	担当教員が退職したため廃止 (28)		
アクティブにとらえる現代社会		1・2後	2						兼1	担当教員が退職したため廃止 (28)		
サイエンスコミュニケーション入門～理系と文系の壁を超えよう	1・2前	2						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)			
地域メディア演習	1・2後	2						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)			
とちぎ終章学特講	1・2後	1						兼1	※講義			
とちぎ終章学演習Ⅰ	1・2前	2						兼3	共同・※講義			
とちぎ終章学演習Ⅱ	1・2前	2						兼1	※講義			
基 盤 教 育 科 目	キ ャ リ ア 創 造 科 目	キャリアデザイン	1・2・3・4後	2					兼2	共同		
		働くことの意味と実際	1・2・3・4前	2					兼1			
		実践企業人材論	1・2・3・4前	2					兼1			
		起業の実際と理論	1・2・3・4後	2					兼1			
		先輩に学ぶ	1・2・3・4前	2					兼1			
		企業のグローバル戦略とキャリア形成	1・2・3・4後	2					兼1			
		グローバル時代の企業経営	1・2・3・4前	2					兼1	集中		
		基 盤 キ ャ リ ア 教 育 科 目	自 由 科 目	課題発見・解決型インターンシップ	1・2・3・4前	1					兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を追加 (28)
				課題発見・解決型インターンシップ	1・2・3・4前	2					兼1	
				課題発見・解決型インターンシップ	1・2・3・4前	3					兼1	
課題発見・解決型インターンシップ	1・2・3・4前			4					兼1			
キャリア形成に資する活動	1・2・3・4前			1					兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
キャリア形成に資する活動	1・2・3・4前			2					兼1			
キャリア形成に資する活動	1・2・3・4前			3					兼1			
キャリア形成に資する活動	1・2・3・4前			4					兼1			
社会奉仕活動	1・2・3・4前			1					兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止 (28)		
社会奉仕活動	1・2・3・4前			2					兼1			
社会奉仕活動	1・2・3・4前			3					兼1			
社会奉仕活動	1・2・3・4前			4					兼1			
国際協力活動	1・2・3・4前			1					兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止 (28)		
国際協力活動	1・2・3・4前			2					兼1			
国際協力活動	1・2・3・4前			3					兼1			
国際協力活動	1・2・3・4前			4					兼1			
実務体験活動	1・2・3・4前			1					兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止 (28)		
実務体験活動	1・2・3・4前			2					兼1			
実務体験活動	1・2・3・4前	3					兼1					
実務体験活動	1・2・3・4前	4					兼1					
特別体験活動	1・2・3・4前	1					兼1	活動期間により単位認定カリキュラムの整備により科目を廃止 (28)				
特別体験活動	1・2・3・4前	2					兼1					
特別体験活動	1・2・3・4前	3					兼1					
特別体験活動	1・2・3・4前	4					兼1					
留 学 生 日 本 語 科 目	アカデミック・ジャパニーズ	1前	1						兼1			
	日本語アカデミック・リーディングⅠ	1前	1						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		
	日本語アカデミック・ライティング	1後	1						兼1			
	日本語アカデミック・リーディングⅡ	1・2・3・4後	1						兼1	カリキュラムの整備により科目を追加 (28)		

基盤教育科目	留学生日本語科目 日本語アカデミック・プレゼンテーション 科学技術のための専門日本語 人文社会系のための専門日本語 日本事情	1・2・3・4後	1									兼1
		1・2・3・4前	1									兼1
		1・2・3・4前	1									兼1
		1・2・3・4前	2									兼1
専門導入科目	地域デザイン学序論A 地域デザイン学序論B 地域デザイン学序論C	1前	2									兼13 オムニバス
		1後	2									兼12 オムニバス
		1後	2			5	4		1			オムニバス
専門教育科目	社会基盤デザイン学科専門科目 必修科目 社会福祉学概論 生物多様性論 農村マネジメント 文化マネジメント 地域史 地方自治論 環境・資源経済学 選択科目	公共経済学	2前	2								兼1 コミュニティデザイン学科の留意事項に対応するため内容を変更(28)
		社会福祉学概論	1前	2								兼1
		生物多様性論	1後	2								兼1
		農村マネジメント	2前	2								兼1 ※演習
		文化マネジメント	2後	2								兼1 ※演習
		地域史	2後	2								兼1
		地方自治論	3前	2								兼1
環境・資源経済学	3後	2								兼1		

- (注)・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任, 兼担の教員が担当する授業科目については, 備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合, 専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には, 「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について, 設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても, 設置時の状況を黒字で記入してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
11	262	0	273	11 [0]	280 [18]	0 [0]	291 [18]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに, []内に, 設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)
- ・ 資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	器楽合奏概論	2	1・2後	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
2	生きるということ	2	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
3	「ぶろじえくと」をやってみる	1	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
4	体験！ぶろじえくと	2	1・2前	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
5	感じる・考える・話す	2	1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
6	アクティブにとらえる現代社会	2	1・2後	一般	選択	担当教員が退職したため廃止
7	社会奉仕活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
8	国際協力活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
9	実務体験活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止
10	特別体験活動	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの見直しにより廃止

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止となった科目のうち番号7～10の科目については、現状に見合った活動である「課題発見・解決型インターンシップ」及び「キャリア形成に資する活動」として科目を新設したため、教育の質の確保はできており、それ以外の科目については、一般教養科目に位置づけられている科目であり履修上の影響はないと考える。
 なお、学生に対しては、履修案内・シラバス等において、開講科目を周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.03}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

陽東キャンパス

<地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
基盤教育科目	入初期 目導	新入生セミナー	1前	2			5	4					オムニバス・※演習	
	シ リ テ ラ	情報処理基礎	1前	2			1	1		2			オムニバス	
	人 文 科 学 系	人文総合 社会言語学概論－日本語の変遷－	1・2前		2								兼1	
	自 然 科 学 系	数学領域 電気電子数学入門	1・2前		2								兼1	※講義
	信 息 科 学 系	情報科学 グラフィックス入門	1・2後		2								兼1	
	総 合 系 科 目	ものづくり体験	1・2後		2								兼2	共同
	基 盤 キ ャ リ ア 教 育 科 目	キャリア創造 人間と社会	1・2・3・4前		2								兼1	
	キャリア創造 より良く生きる	1・2・3・4前		2								兼3	オムニバス	
共通専門科目	必 修 科 目	地域デザイン訪問	1通	2			3					兼6	オムニバス・共同	
		地域の姿と課題Ⅰ	1前	1				1				兼3	オムニバス・共同	
		地域コミュニケーション演習	1前	1					2			兼10	共同	
		地域プロジェクト演習	3通	2			5	4		2			共同	
		地域デザイン倫理	3後	2			4						オムニバス	
	選 択 科 目	G I S演習	2後		1					1		兼2	オムニバス	
		地域の姿と課題Ⅱ	3前		1		1	2				オムニバス		
		ワークショップ演習	3前		1						兼6	共同		
専門教育科目	社 会 基 盤 デ ザ イ ン 学 科 専 門 科 目	社会基盤解析法Ⅰ	1前	2			1						※講義	
		社会基盤解析法Ⅱ	1後	2				1					※講義	
		応用力学序論	1後	2				1						
		構造力学Ⅰ	2前	2			1							
		水理学Ⅰ	2前	2			1							
		土質力学Ⅰ	2前	2				1						
		土木計画学	2前	2						1				
		コンクリート工学Ⅰ	2前	2			1							
		測量学	2前	2					1					
		社会調査法	2後	2			1						※演習	
		構造力学Ⅱ	2後	2			1							
		水理学Ⅱ	2後	2			1							
土質力学Ⅱ	2後	2				1								
鉄筋コンクリート工学	2後	2				1								

専門教育科目	社会基盤デザイン学科専門科目	必修科目	防災マネジメントⅠ	2後	2						1															
		海外プロジェクトⅠ	2後	2						1																
			測量学実習	2通	3								1													
			海外プロジェクト演習	3前	1				1																	
			社会基盤設計演習	3後	1				1	2		1										オムニバス				
			防災マネジメント演習	3後	1						1															
			社会基盤インターンシップ	3通	1						1											共同				
			土木工学実験	3通	2				1	2		1														
			卒業研究	4通	8				5	4												2				
専門教育科目	社会基盤デザイン学科専門科目	選択科目	公共政策入門	1前					2														兼1			
			地域資源論	1後					2																兼1	
			まちづくり論	1後					2																兼1	
			高齢社会学	1後				2																	兼1	
			まちづくり特講	2後				2																	兼7 オムニバス・※演習	
			観光地理学	3前				2																	兼1	
			構造工学Ⅰ	3前				2			1															
			流域環境学Ⅰ	3前				2			1															
			衛生工学	3前				2			1														オムニバス	
			交通計画	3前				2			1															
			都市計画	3前				2			1														兼1	
			防災マネジメントⅡ	3前				2						1												
			土木工学通論	3前				2						1											兼4	
			公共マネジメント	3前				2																	兼1	
			地域生態学	3前				2																	兼1	
			NPO論	3前				2																		兼1
			流域環境学Ⅱ	3後				2			1															
			土質基礎工学	3後				2						1												
			地質工学	3後				2																	兼2	
			地区計画	3後				2							1										兼1	
			コンクリート工学Ⅱ	3後				2			1															
			海外プロジェクトⅡ	3後				2						1												
			プロジェクト評価論	3後				2																		兼1
			高齢者防災論	3後				2																		兼1
			地域環境エネルギー計画	3後				2																		兼1
			財政学	3後				2																		兼1
			景観解析	3後				2																		兼1
			社会統計学	4前				2																		兼1
構造工学Ⅱ	4前				2			1															兼1			
専門教育科目	社会基盤デザイン学科専門科目	選択科目	国土計画	4前				2															兼2			
			工業日本語基礎Ⅰ	3前				1																兼1		
			工業日本語基礎Ⅱ	3後				1																兼1		
			工業日本語応用	4通				2																兼1		

(注)・設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- ・なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
- ・授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合)

には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)

- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度設置以前）についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
30	42	0	72	30	42	0	72	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体		
	校舎敷地	217,267㎡	㎡	㎡	217,267㎡			
	運動場用地	125,768㎡	㎡	㎡	125,768㎡			
	小 計	343,035㎡	㎡	㎡	343,035㎡			
	そ の 他	8,576,487㎡	㎡	㎡	8,576,487㎡			
	合 計	8,919,522㎡	㎡	㎡	8,919,522㎡			
(2) 校 舎	専 用	114,764㎡	0㎡	0㎡	114,764㎡	大学全体		
	(113,120㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(113,120㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	75室	74室	284室	15室 (補助職員 8人)	7室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	地域デザイン科学部			41 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	学部単位での特定不 能なため、大学全体の 数
		地域デザイン科学部	642,695 [148,532] (642,695 [148,532])	10,574 [2,676] (10,574 [2,676])	6,841 [6,218] (6,841 [6,218])	5,263 (5,263)	15,529 (15,529)	
	計	642,695 [148,532] (642,695 [148,532])	10,574 [2,676] (10,574 [2,676])	6,841 [6,218] (6,841 [6,218])	5,263 (5,263)	15,529 (15,529)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	8,518㎡		743		631,721			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体
	3,366㎡		武道館(870㎡)		陸上競技場1面			
			野球場2面		サッカー・ラグビー場1面			
			テニスコート9面		プール(25m用)			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(A/C対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	宇都宮大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 学 員	収 容 員	学位又 は 称 号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科 建築都市デザイン学科 社会基盤デザイン学科	4 4 4	50 50 40	3年次 0 3 3	200 206 166	学士(コミュニティデザイン学) 学士(工学) 学士(工学)	1.10 1.06 1.07	平28	栃木県宇都宮市 陽東7-1-2	
国際学部 国際社会学科 国際文化学科	4 4	45 45	3年次 5 5	190 190	学士(国際学)	1.06 1.11	平6	栃木県宇都宮市 峰町350	
教育学部 学校教育教員養成課程 総合人間形成課程	4 4	170 —		680 —	学士(教育学)	1.03 —	昭24	栃木県宇都宮市 峰町350	平成28年度より学生募集停止
工学部 機械システム工学科 電気電子工学科 応用化学科 情報工学科 建設学科	4 4 4 4 4	79 79 83 74 —	3年次 26	316 316 332 296 —	学士(工学)	1.04 1.05 1.04 1.04 —	昭39	栃木県宇都宮市 陽東7-1-2	平成28年度より学生募集停止
農学部 生物資源科学科 応用生命化学科 農業環境工学科 農業経済学科 森林科学科 生物生産科学科	4 4 4 4 4 4	63 32 32 36 32 —	3年次 18	252 128 128 144 128 —	学士(農学)	1.02 1.04 1.05 1.05 1.06 —	昭24	栃木県宇都宮市 峰町350	平成25年度より学生募集開始 平成25年度より学生募集開始 平成25年度より学生募集停止

大学の名称	宇都宮大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は 称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
国際学研究科 博士課程前期 国際社会研究専攻 国際文化研究専攻 国際交流研究専攻 博士後期課程 国際学研究専攻					修士(国際学) 博士(国際学)		平11	栃木県宇都宮市 峰町350	
	2	10		20		0.60			
	2	10		20		0.80			
	2	10		20		1.50			
	3	3		9		1.55			
教育学研究科 修士課程 学校教育専攻 特別支援教育専攻 カリキュラム開発専攻 教科教育専攻 専門職学位課程 教育実践高度化専攻					修士(教育学) 教職修士(専門職)		昭59	栃木県宇都宮市 峰町350	平成27年度より学生募集停止 平成27年度より学生募集停止 平成27年度より学生募集停止 平成27年度より学生募集開始
	2	25		50		0.78			
	2	—		—		—			
	2	—		—		—			
	2	—		—		—			
	2	15		30		1.06			
工学研究科 博士前期課程 機械知能工学専攻 電気電子システム工学専攻 物質環境化学専攻 地球環境デザイン学専攻 情報システム科学専攻 先端光学工学専攻 学際先端システム学専攻 博士後期課程 システム創成工学専攻 情報システム科学専攻					修士(工学) 博士(工学)		昭48	栃木県宇都宮市 陽東7-1-2	平成27年度より学生募集開始 平成27年度より学生募集停止 平成20年度より学生募集停止
	2	37		74		1.37			
	2	37		74		1.34			
	2	42		84		1.24			
	2	33		66		1.14			
	2	38		76		1.33			
	2	25		50		1.02			
	2	—		—		—			
	3	30		90		0.59			
	3	—		—		—			
農学研究科 修士課程 生物生産科学専攻 農業環境工学専攻 農業経済学専攻 森林科学専攻					修士(農学) 		昭41	栃木県宇都宮市 峰町350	
	2	41		82		0.94			
	2	12		24		0.79			
	2	8		16		0.49			
	2	10		20		0.55			

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部、学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専	教授	塚本 純	平成28年4月	地域プロジェクト演習 地域社会総論※ 経済学概論 経済政策論 コミュニティデザイン演習(経済政策分野) 卒業研究準備演習 卒業研究 リフレクション 経済分析入門 地域デザイン学序論A※					地域プロジェクト演習 地域社会総論※ 経済学概論 経済政策論 コミュニティデザイン演習(経済政策分野) 卒業研究準備演習 卒業研究 リフレクション 経済分析入門 地域デザイン学序論A※ マクロ経済学	留意事項に対応するため配当年次及び内容を変更(28) 担当 塚本 純(教授) 平成28年2月 教員審査済 判定 可 留意事項に対応するため科目を追加(28) 担当 塚本 純(教授) 平成28年2月 教員審査済 判定 可	
専	教授	中島 望	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域プロジェクト演習 地域社会総論※ 文化マネジメント 文化マネジメント演習 コミュニティデザイン演習(文化マネジメント分野) 卒業研究準備演習 卒業研究 リフレクション 生活美学 地域デザイン学序論A※							
専	教授	中村 祐司	平成28年4月	地域の姿と課題Ⅰ※ 地域の姿と課題Ⅱ※ 地域プロジェクト演習 地域社会総論※ まちづくり特講※ 行政学 地方自治論 スポーツ・余暇政策 コミュニティデザイン演習(地方自治分野) 外国語文献講読 卒業研究準備演習 卒業研究 リフレクション 現代政治の理論と実際 地域デザイン学序論A※							
専	教授	原田 淳	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 地域プロジェクト演習 地域社会総論※ まちづくり特講※ 農村マネジメント 農村起業論 コミュニティデザイン演習(農村マネジメント分野) 卒業研究準備演習 卒業研究 リフレクション 情報処理基礎 農業経営入門 地域デザイン学序論A※							
専	教授	高橋 俊守	平成28年4月	G I S 演習※ 地域プロジェクト演習 地域社会総論※ まちづくり特講※ 地域資源論 地域生態学 コミュニティデザイン演習(地域生態学分野) 卒業研究準備演習 卒業研究 リフレクション 新入生セミナー 地域デザイン学序論A※							
専	教授	大森 玲子	平成28年4月	地域プロジェクト演習 地域社会総論※ まちづくり特講※ 地域食育論 食文化論 食資源活用実習 コミュニティデザイン演習(食生活学分野) 卒業研究準備演習 卒業研究 リフレクション 新入生セミナー 地域デザイン学序論A※							

専	准教授	阪田 和哉	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域プロジェクト演習 地域社会総論※ まちづくり特講※ 社会統計学 公共経済学 公共マネジメント プロジェクト評価論 コミュニティデザイン演習（公共マ ネジメント分野） 卒業研究準備演習 卒業研究 リフレクション 応用経済学入門 地域デザイン学序論A※				地域デザイン訪問※ 地域プロジェクト演習 地域社会総論※ まちづくり特講※ 社会統計学 公共経済学 公共マネジメント プロジェクト評価論 コミュニティデザイン演習（公共マ ネジメント分野） 卒業研究準備演習 卒業研究 リフレクション 応用経済学入門 地域デザイン学序論A※ 統計学基礎※	留意事項に対応するため内 容を変更（28） 担当 阪田 和哉（准教 授） 平成28年6月 提出予定 留意事項に対応するため内 容を変更（28） 担当 阪田 和哉（准教 授） 平成28年2月 教員審査済 判定 可 留意事項に対応するため内 容を変更、担当教員の追加 （28） 担当 阪田 和哉（准教 授） 平成28年6月 提出予定
専	准教授	石井 大一郎	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 ワークショップ演習 地域プロジェクト演習 地域社会総論※ まちづくり論 まちづくり特講※ 社会調査実習Ⅰ 社会調査実習Ⅱ NPO論 コミュニティデザイン演習（まちづ くり分野） 卒業研究準備演習 卒業研究 リフレクション 地域デザイン学序論A※					
専	准教授	三田 紀路佳	平成28年4月	地域の姿と課題Ⅰ※ 地域プロジェクト演習 地域社会総論※ 公共政策入門 政治学概論 政策過程論 コミュニティデザイン演習（公共政 策分野） 外国語文献講読 卒業研究準備演習 卒業研究 リフレクション 地域デザイン学序論A※					
専	准教授	若園 雄志郎	平成28年4月	ワークショップ演習 地域プロジェクト演習 地域社会総論※ ソーシャルスキル演習 社会調査と地域 生涯学習社会論 多文化理解論 コミュニティデザイン演習（社会教 育分野） 卒業研究準備演習 卒業研究 リフレクション 教育の裏側に光を当てる ものと文化と社会 地域デザイン学序論A※					
専	准教授	中川 教	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 ワークショップ演習 地域プロジェクト演習 地域社会総論※ 高齢社会学 福祉社会学 会話分析入門 コミュニティデザイン演習（福祉社 会学分野） 卒業研究準備演習 卒業研究 リフレクション とちぎ終章学総論 とちぎ終章学特講 地域デザイン学序論A※				地域コミュニケーション演習 ワークショップ演習 地域プロジェクト演習 地域社会総論※ 高齢社会学 福祉社会学 会話分析入門 コミュニティデザイン演習（福祉社 会学分野） 卒業研究準備演習 卒業研究 リフレクション とちぎ終章学総論 とちぎ終章学特講 地域デザイン学序論A※ 応用社会学	カリキュラムの整備により 科目を追加（28） 担当 中川 教（准教授） 平成28年6月 提出予定
専	准教授	白石 智子	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 地域プロジェクト演習 地域社会総論※ ソーシャルスキル演習 地域実践心理学 ストレスマネジメント コミュニティデザイン演習（心理学 分野） 卒業研究準備演習 卒業研究 リフレクション パーソナリティ心理学概論 地域デザイン学序論A※					

専	講師	鈴木 富之	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域プロジェクト演習 地域社会総論※ まちづくり特講※ 社会調査実習Ⅰ 社会調査実習Ⅱ 観光概論 観光地理学 観光学実習 コミュニティデザイン演習（観光地理学分野） 卒業研究準備演習 卒業研究 リフレクション 新入生セミナー 地域デザイン学序論A※				地域デザイン訪問※ 地域プロジェクト演習 地域社会総論※ まちづくり特講※ 社会調査実習Ⅰ 社会調査実習Ⅱ 観光概論 観光地理学 観光学実習 コミュニティデザイン演習（観光地理学分野） 卒業研究準備演習 卒業研究 リフレクション 新入生セミナー 地域デザイン学序論A※ 地誌学	カリキュラムの整備により科目を追加（28） 担当 鈴木 富之（講師） 平成28年6月 提出予定
兼担	教授	三橋 伸夫 (高)	平成28年10月	希望の地域社会論※ 地域デザイン学序論B※					
兼担	教授	中島 章典	平成28年10月	地域デザイン倫理※ 地域デザイン学序論C※					
兼担	教授	郡 公子	平成28年10月	地域デザイン学序論B※					
兼担	教授	安藤 益夫	平成29年4月	地域社会学			地域社会学 世界の農業	カリキュラムの整備により科目を追加（28）	
兼担	教授	田巻 松雄	平成28年10月	現代日本社会論 社会学入門 グローバル化と外国人児童生徒教育※					
兼担	教授	山岡 暁	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域デザイン学序論C※ 地域の姿と課題Ⅱ※					
兼担	教授	藤原 浩巳	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域デザイン倫理※ 地域デザイン学序論C※					
兼担	教授	池田 裕一	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域デザイン倫理※ 流域環境学Ⅰ 地域デザイン学序論C※					
兼担	教授	長谷川 万由美	平成28年4月	社会福祉学概論 地域福祉論【兩年】 社会福祉入門 災害復興学入門 3.11と学問の不確かさ※					
兼担	教授	増田 浩志	平成28年10月	地域デザイン学序論B※ 地域の姿と課題Ⅱ※					
兼担	教授	中島 史郎	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 地域デザイン学序論B※					
兼担	教授	杉山 央	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域コミュニケーション演習 地域デザイン学序論B※					
兼担	教授	大森 宣暁	平成28年10月	地域デザイン倫理※ 都市計画※ 希望の地域社会論※ 地域デザイン学序論C※					
兼担	准教授	佐々木 英和	平成28年4月	生涯学習概論 社会教育計画Ⅱ					
兼担	准教授	清木 隆文	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 地域デザイン学序論C※					
兼担	准教授	古賀 蒼章	平成28年10月	ワークショップ演習 高齢者防災論 地域デザイン学序論B※					
兼担	准教授	丸岡 正知	平成28年10月	地域デザイン学序論C※					
兼担	准教授	加藤 弘二	平成28年4月	ミクロ経済学 環境・資源経済学 数理経済学入門					
兼担	准教授	西尾 孝佳	平成28年4月	生物多様性論 人と自然の共生を考える 生物の多様性とは何か 雑草観察入門 野外調査論 雑草と里山のフィールド演習Ⅱ					
兼担	准教授	小原 一馬	平成28年10月	社会調査法 社会学概論 遊びの理論とゲーム開発 グローバル化と外国人児童生徒教育※					
兼担	准教授	横尾 昇剛	平成28年10月	ワークショップ演習 地域デザイン学序論B※					
兼担	准教授	安森 亮雄	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域コミュニケーション演習 ワークショップ演習 希望の地域社会論※ 地域デザイン学序論B※					
兼担	准教授	高山 慶子	平成28年10月	地域史 歴史と文化					
兼担	准教授	中野 達也	平成28年4月	地域の姿と課題Ⅰ※ 地域の姿と課題Ⅱ※ 教養物理※ 地域デザイン学序論B※					
兼担	准教授	佐藤 栄治	平成28年10月	G I S 演習※ 都市計画※ 希望の地域社会論※ 地域デザイン学序論B※					
兼担	准教授	近藤 伸也	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 防災マネジメントⅠ 地域デザイン学序論C※ 地域の姿と課題Ⅱ※					
兼担	准教授	海野 寿康	平成28年4月	地域の姿と課題Ⅰ※ 地域の姿と課題Ⅱ※ 地域デザイン学序論C※					
兼担	准教授	藤本 郷史	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 地域デザイン訪問※ 地域デザイン学序論B※					
兼担	講師	黒川 亨子	平成28年4月	日本国憲法 法学概論					
兼担	助教	長田 哲平	平成28年10月	G I S 演習※ 地区計画 希望の地域社会論※					
兼担	助教	糸井川 高穂	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 地域デザイン学序論B※					
兼担	助教	飯村 耕介	平成28年10月	地域デザイン学序論C※					

兼任	助教	中島 昌一	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 地域デザイン学序論B※					
兼任	講師	吉村 均	平成30年4月	倫理学概論					
兼任	講師	渡部 勇	平成29年10月	統計学基礎				統計学基礎※	留意事項に対応するため内容を変更、担当教員の追加(28)
兼任	講師	石川 裕一郎	平成28年4月	憲法 日本国憲法					
兼任	講師	高山 範理	平成30年10月	景観解析					
兼任	講師	永島 徹	平成28年4月	地域福祉の実際 地域デザイン学序論A※					
兼任	講師	上田 孝典	平成30年4月	社会教育計画Ⅰ					
兼任	講師	杉田 明子	平成29年10月	民法					
兼任	講師	岡田 順太	平成30年10月	都市計画法					
兼任	講師	高橋 信行	平成30年4月	行政法					
兼任	講師	坂本 直樹	平成30年10月	財政学					

(注)・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
6	6	1	0	13	6	6	1	0	13	6	6	2	0	14
(6)	(6)	(1)	(0)	(13)						[0]	[0]	[1]	[0]	[1]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1		該当なし					
2							
合計 (A)			後任補充状況の集計 (B)				
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1		該当なし					
2							
合計 (C)			後任補充状況の集計 (D)				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)			後任補充状況の集計 (B) + (D)				
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

5 教員組織の状況

<地域デザイン科学部 建築都市デザイン学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	三橋 伸夫 (高)	平成28年4月	新入生セミナー※ 希望の地域社会論※ 地域デザイン学序論B※						
専	教授	郡 公子	平成28年4月	地域プロジェクト演習 設備工学Ⅰ 建築地域設計製図 建築環境実験※ 卒業研究 卒業設計 学外実習Ⅰ 学外実習Ⅱ 設備工学Ⅱ 設備工学Ⅲ 建築インターンシップ 建築学外実習 新入生セミナー※ 地域デザイン学序論B※						
専	教授	中島 史郎	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 地域プロジェクト演習 建築コンパージョン論 建築地域設計製図 卒業研究 卒業設計 建築リサイクル学 新入生セミナー※ 情報処理基礎 地域デザイン学序論B※						
専	教授	増田 浩志	平成28年4月	地域プロジェクト演習 地域の姿と課題Ⅱ※ 建築構造力学Ⅰ 建築地域設計製図 卒業研究 卒業設計 建築構造力学Ⅲ 鉄骨構造 新入生セミナー※ 地域デザイン学序論B※						
専	教授	杉山 央	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域コミュニケーション演習 地域プロジェクト演習 建築材料Ⅰ 建築材料実験 建築地域設計製図 卒業研究 卒業設計 建築材料Ⅱ 新入生セミナー※ 地域デザイン学序論B※						
専	准教授	古賀 誉章	平成28年4月	社会調査法※ 地域プロジェクト演習 ワークショップ演習 建築計画Ⅰ 建築設計製図Ⅰ パリアフリー建築論 建築設計製図Ⅱ 建築設計製図Ⅲ 建築地域設計製図 卒業研究 卒業設計 高齢者防災論 新入生セミナー※ 地域デザイン学序論B※						
専	准教授	横尾 昇剛	平成28年4月	地域プロジェクト演習 ワークショップ演習 環境工学Ⅰ 建築地域設計製図 建築環境実験※ 卒業研究 卒業設計 環境工学Ⅱ 地域環境エネルギー計画 新入生セミナー※ 地域デザイン学序論B※						
専	准教授	安森 亮雄	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域コミュニケーション演習 地域プロジェクト演習 ワークショップ演習 建築設計基礎 建築設計製図Ⅰ 建築設計製図Ⅱ 建築設計製図Ⅲ 建築地域設計製図 卒業研究 卒業設計 建築デザイン 新入生セミナー※ 希望の地域社会論※ 地域デザイン学序論B※						
専	准教授	中野 達也	平成28年4月	地域の姿と課題Ⅰ※ 地域プロジェクト演習 地域の姿と課題Ⅱ※ 建築構造力学Ⅱ 建築設計製図Ⅰ 建築地域設計製図 卒業研究 卒業設計 建築構造力学Ⅳ 鉄筋コンクリート構造 新入生セミナー※ 教養物理※ 地域デザイン学序論B※						

専	准教授	佐藤 栄治	平成28年4月	社会調査法※ 地域プロジェクト演習 GIS演習※ 建築設計製図Ⅰ 建築計画学Ⅱ 建築設計製図Ⅱ 建築設計製図Ⅲ 建築地域設計製図 地区計画※ 卒業研究 卒業設計 建築計画学Ⅲ 都市計画※ 建築計画学Ⅳ 新入生セミナー※ 希望の地域社会論※ 地域デザイン学序論B※						
専	准教授	藤本 郷史	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域コミュニケーション演習 地域プロジェクト演習 建築図学※ 建築構法 建築材料実験 建築地域設計製図 卒業研究 卒業設計 新入生セミナー※ 地域デザイン学序論B※						
専	助教	糸井川 高穂	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 社会調査法※ 地域プロジェクト演習 建築図学※ 建築設計製図Ⅰ 建築地域設計製図 建築環境実験※ 卒業研究 卒業設計 新入生セミナー※ 地域デザイン学序論B※						
専	助教	中島 昌一	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 地域プロジェクト演習 建築構造力学演習Ⅰ 建築構造力学演習Ⅱ 建築設計製図Ⅰ 建築地域設計製図 卒業研究 卒業設計 新入生セミナー※ 地域デザイン学序論B※						
兼任	教授	中島 章典	平成28年10月	地域デザイン倫理※ 地域デザイン学序論C※						
兼任	教授	田巻 松雄	平成28年10月	社会学入門 グローバル化と外国人児童生徒教育※						
兼任	教授	塚本 純	平成28年4月	経済分析入門 地域デザイン学序論A※						
兼任	教授	山岡 暁	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域デザイン学序論C※ 地域の姿と課題Ⅱ※						
兼任	教授	藤原 浩巳	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域デザイン倫理※ 地域デザイン学序論C※						
兼任	教授	中島 望	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 生活美学 地域デザイン学序論A※						
兼任	教授	中村 祐司	平成28年4月	地域の姿と課題Ⅰ※ 地域の姿と課題Ⅱ※ まちづくり特講※ 現代政治の理論と実際 地域デザイン学序論A※						
兼任	教授	池田 裕一	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域デザイン倫理※ 地域デザイン学序論C※						
兼任	教授	長谷川 万由美	平成28年4月	社会福祉入門 災害復興学入門 3.11と学問の不確かさ※						
兼任	教授	矢嶋 徹	平成28年4月	微積分学及演習						
兼任	教授	原田 淳	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 まちづくり特講※ 農業経営入門 地域デザイン学序論A※						
兼任	教授	高橋 俊守	平成28年4月	GIS演習※ まちづくり特講※ 地域デザイン学序論A※						
兼任	教授	大森 宣暁	平成28年10月	地域デザイン倫理※ 都市計画※ 希望の地域社会論※ 地域デザイン学序論C※						
兼任	教授	大森 玲子	平成28年4月	まちづくり特講※ 地域デザイン学序論A※						
					兼任	教授	安藤 益夫	平成28年4月	世界の農業	カリキュラムの整備により科目を追加(28)
兼任	准教授	佐々木 英和	平成28年4月	生涯学習概論						
兼任	准教授	清水 隆文	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 地域デザイン学序論C※						
兼任	准教授	丸岡 正知	平成28年10月	地域デザイン学序論C※						
兼任	准教授	加藤 弘二	平成28年4月	数理経済学入門						
兼任	准教授	西尾 孝佳	平成28年4月	生物多様性論 人と自然の共生を考える 生物の多様性とは何か 雑草観察入門 野外調査論 雑草と里山のフィールド演習Ⅱ						
兼任	准教授	小原 一馬	平成28年10月	遊びの理論とゲーム開発 グローバル化と外国人児童生徒教育※						
兼任	准教授	阪田 和哉	平成28年4月	地域デザイン訪問※ まちづくり特講※ 社会統計学 応用経済学入門 地域デザイン学序論A※					地域デザイン訪問※ まちづくり特講※ 社会統計学 応用経済学入門 地域デザイン学序論A※	コミュニティデザイン学科の留意事項に対応するため内容の変更(28)

兼担	准教授	石井 大一郎	平成28年4月	まちづくり論 まちづくり特講※ 地域コミュニケーション演習 ワークショップ演習 地域デザイン学序論A※					
兼担	准教授	三田 紀路佳	平成28年4月	地域の姿と課題I※ 地域デザイン学序論A※					
兼担	准教授	高山 慶子	平成28年10月	歴史と文化					
兼担	准教授	若園 雄志郎	平成28年4月	ワークショップ演習 教育の裏側に光を当てる ものと文化と社会 地域デザイン学序論A※					
兼担	准教授	中川 敦	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 ワークショップ演習 ワークショップ演習 高齢社会学 とちぎ終章学総論 とちぎ終章学特講 地域デザイン学序論A※				地域コミュニケーション演習 ワークショップ演習 高齢社会学 とちぎ終章学総論 とちぎ終章学特講 地域デザイン学序論A※ 応用社会学	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
兼担	准教授	近藤 伸也	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 防災マネジメントI 地域デザイン学序論C※ 地域の姿と課題II※					
兼担	准教授	白石 智子	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 パーソナリティ心理学概論 地域デザイン学序論A※					
兼担	准教授	海野 寿康	平成28年4月	地域の姿と課題I※ 地域の姿と課題II※ 地域デザイン学序論C※					
兼担	講師	黒川 亨子	平成28年4月	日本国憲法 法学概論					
兼担	講師	鈴木 富之	平成28年4月	地域デザイン訪問※ まちづくり特講※ 地域デザイン学序論A※				地域デザイン訪問※ まちづくり特講※ 地域デザイン学序論A※ 地誌学	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
兼担	助教	長田 哲平	平成28年10月	G I S 演習※ 地区計画※ 希望の地域社会論※					
兼担	助教	飯村 耕介	平成28年10月	地域デザイン学序論C※					
兼任	講師	富田 満	平成30年10月	建築法規					
兼任	講師	細澤 治	平成30年10月	構造設計論					
兼任	講師	竹部 友久	平成30年4月	設備設計論【隔年】					
兼任	講師	川上 征雄	平成31年4月	国土計画※					
兼任	講師	印南 洋之	平成31年4月	国土計画※					
兼任	講師	秋山 学	平成30年10月	建築生産					
兼任	講師	更田 邦彦	平成30年10月	建築地域設計製図					
兼任	講師	若松 均	平成29年10月	建築設計製図II					
兼任	講師	海老原 亨	平成28年4月	微積分学及演習					
兼任	講師	渡邊 美樹	平成29年10月	建築史I【隔年】 建築史II【隔年】					
兼任	講師	山崎 鯛介	平成30年10月	建築史III【隔年】					
兼任	講師	實松 俊明	平成30年10月	土質基礎工学					
兼任	講師	石川 裕一郎	平成28年4月	日本国憲法					
兼任	講師	津田 求	平成28年4月	微積分学及演習					
兼任	講師	永島 徹	平成28年4月	地域デザイン学序論A※					
兼任	講師	齋藤(小池) 雅子	平成29年4月	線形代数及演習					

(注)・設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。

・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。

・年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。

・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

・**意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**

・「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。

なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
4	6	0	2	12	5	6	0	2	13	4	6	0	3	13
(5)	(6)	(0)	(2)	(13)						[0]	[0]	[0]	[1]	[1]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1		該当なし					
2							
合計 (A)			後任補充状況の集計 (B)				
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1		該当なし					
2							
合計 (C)			後任補充状況の集計 (D)				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)			後任補充状況の集計 (B) + (D)				
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

5 教員組織の状況

<地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科>

(1) 担当教員表

専任・兼任・兼任の別	設置時の計画				変更状況					備考
	職位	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	職位	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専	教授	中島 章典	平成28年4月	地域デザイン倫理※ 地域プロジェクト演習 構造力学Ⅰ 構造力学Ⅱ 社会基盤設計演習※ 土木工学実験 卒業研究 構造工学Ⅰ 構造工学Ⅱ 新入生セミナー※ 地域デザイン学序論C※						
専	教授	山岡 暁	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域プロジェクト演習 地域の姿と課題Ⅱ※ 海外プロジェクトⅠ 海外プロジェクト演習 卒業研究 海外プロジェクトⅡ 新入生セミナー※ 地域デザイン学序論C※						
専	教授	藤原 浩巳	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域デザイン倫理※ 地域プロジェクト演習 コンクリート工学Ⅰ 卒業研究 コンクリート工学Ⅱ 新入生セミナー※ 地域デザイン学序論C※						
専	教授	池田 裕一	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域デザイン倫理※ 地域プロジェクト演習 社会基盤解析法Ⅰ 水理学Ⅰ 水理学Ⅱ 卒業研究 流域環境学Ⅰ 流域環境学Ⅱ 衛生工学 新入生セミナー※ 情報処理基礎※ 地域デザイン学序論C※						
専	教授	大森 宣暁	平成28年4月	社会調査法 地域デザイン倫理※ 地域プロジェクト演習 卒業研究 交通計画 都市計画※ 新入生セミナー※ 希望の地域社会論※ 地域デザイン学序論C※						
専	准教授	清木 隆文	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 地域プロジェクト演習 応用力学序論 土質力学Ⅰ 社会基盤インターンシップ 卒業研究 土木工学通論※ 新入生セミナー※ 地域デザイン学序論C※						
専	准教授	丸岡 正知	平成28年4月	地域プロジェクト演習 測量学 鉄筋コンクリート工学 社会基盤設計演習※ 土木工学実験 卒業研究 新入生セミナー※ 地域デザイン学序論C※						
専	准教授	近藤 伸也	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 地域プロジェクト演習 地域の姿と課題Ⅱ※ 社会基盤解析法Ⅱ 防災マネジメントⅠ 防災マネジメント演習 卒業研究 防災マネジメントⅡ 新入生セミナー※ 情報処理基礎※ 地域デザイン学序論C※						
専	准教授	海野 寿康	平成28年4月	地域の姿と課題Ⅰ※ 地域の姿と課題Ⅱ※ 地域プロジェクト演習 土質力学Ⅱ 社会基盤設計演習※ 土木工学実験 卒業研究 土質基礎工学 新入生セミナー※ 地域デザイン学序論C※						
専	助教	長田 哲平	平成28年4月	GIS演習※ 地域プロジェクト演習 土木計画学 測量学実習 卒業研究 地区計画※ 情報処理基礎※ 希望の地域社会論※						
専	助教	飯村 耕介	平成28年4月	地域プロジェクト演習 社会基盤設計演習※ 土木工学実験 卒業研究 情報処理基礎※ 地域デザイン学序論C※						
兼任	教授	三橋 伸夫 (高)	平成28年10月	希望の地域社会論※ 地域デザイン学序論B※						

兼担	教授	郡 公子	平成28年10月	地域デザイン学序論B※						
兼担	教授	田巻 松雄	平成28年10月	社会学入門 グローバル化と外国人児童生徒教育※						
兼担	教授	塚本 純	平成28年4月	経済分析入門 地域デザイン学序論A※						
兼担	教授	中島 望	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 文化マネジメント 生活美学 地域デザイン学序論A※						
兼担	教授	中村 祐司	平成28年4月	地域の姿と課題Ⅰ※ 地域の姿と課題Ⅱ※ 地方自治論 まちづくり特講※ 現代政治の理論と実際 地域デザイン学序論A※						
兼担	教授	増田 浩志	平成28年10月	地域デザイン学序論B※ 地域の姿と課題Ⅱ※						
兼担	教授	長谷川 万由美	平成28年4月	社会福祉入門 災害復興学入門 3.11と学問の不確かさ※ 社会福祉学概論						
兼担	教授	中島 史郎	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 地域デザイン学序論B※						
兼担	教授	原田 淳	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 農村マネジメント まちづくり特講※ 農業経営入門 地域デザイン学序論A※						
兼担	教授	杉山 央	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域コミュニケーション演習 地域デザイン学序論B※						
兼担	教授	高橋 俊守	平成28年4月	G I S 演習※ まちづくり特講※ 地域生態学 地域資源論 地域デザイン学序論A※						
兼担	教授	大森 玲子	平成28年4月	まちづくり特講※ 地域デザイン学序論A※						
					兼担	教授	安藤 益夫	平成28年4月	世界の農業	カリキュラムの整備により科目を追加(28)
兼担	准教授	佐々木 英和	平成28年4月	生涯学習概論						
兼担	准教授	古賀 誉章	平成28年10月	ワークショップ演習 高齢者防災論 地域デザイン学序論B※						
兼担	准教授	加藤 弘二	平成28年4月	環境・資源経済学 数理経済学入門						
兼担	准教授	小原 一馬	平成28年10月	遊びの理論とゲーム開発 グローバル化と外国人児童生徒教育※						
兼担	准教授	西尾 孝佳	平成28年4月	生物多様性論 人と自然の共生を考える 生物の多様性とは何か 雑草観察入門 野外調査論 雑草と里山のフィールド演習Ⅱ						
兼担	准教授	横尾 昇剛	平成28年10月	ワークショップ演習 地域環境エネルギー計画 地域デザイン学序論B※						
兼担	准教授	阪田 和哉	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 公共経済学 まちづくり特講※ 社会統計学 公共マネジメント プロジェクト評価論 応用経済学入門 地域デザイン学序論A※				地域デザイン訪問※ 公共経済学 まちづくり特講※ 社会統計学 公共マネジメント プロジェクト評価論 応用経済学入門 地域デザイン学序論A※	コミュニティデザイン学科の留意事項に対応するため内容を変更(28) コミュニティデザイン学科の留意事項に対応するため内容を変更(28)	
兼担	准教授	石井 大一朗	平成28年4月	まちづくり論 N P O 論 まちづくり特講※ 地域コミュニケーション演習 ワークショップ演習 地域デザイン学序論A※						
兼担	准教授	安森 亮雄	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 地域コミュニケーション演習 ワークショップ演習 希望の地域社会論※ 地域デザイン学序論B※						
兼担	准教授	高山 慶子	平成28年10月	歴史と文化 地域史						
兼担	准教授	三田 紀路佳	平成28年4月	地域の姿と課題Ⅰ※ 地域デザイン学序論A※ 公共政策入門						
兼担	准教授	若園 雄志郎	平成28年4月	ワークショップ演習 教育の裏側に光を当てる ものと文化と社会 地域デザイン学序論A※						
兼担	准教授	佐藤 栄治	平成28年10月	G I S 演習※ 都市計画※ 地区計画※ 希望の地域社会論※ 地域デザイン学序論B※						
兼担	准教授	中野 達也	平成28年4月	地域の姿と課題Ⅰ※ 地域の姿と課題Ⅱ※ 教養物理※ 地域デザイン学序論B※						
兼担	准教授	中川 敦	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 ワークショップ演習 高齢社会学 とちぎ終章学総論 とちぎ終章学特講 地域デザイン学序論A※				地域コミュニケーション演習 ワークショップ演習 高齢社会学 とちぎ終章学総論 とちぎ終章学特講 地域デザイン学序論A※ 応用社会学	カリキュラムの整備により科目を追加(28)	
兼担	准教授	白石 智子	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 パーソナリティ心理学概論 地域デザイン学序論A※						
兼担	准教授	藤本 郷史	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 地域デザイン訪問※ 地域デザイン学序論B※						
兼担	講師	黒川 亨子	平成28年4月	日本国憲法 法学概論						

兼任	講師	鈴木 富之	平成28年4月	地域デザイン訪問※ 観光地理学 まちづくり特講※ 地域デザイン学序論A※					地域デザイン訪問※ 観光地理学 まちづくり特講※ 地域デザイン学序論A※ 地誌学	カリキュラムの整備により 科目を追加 (28)
兼任	助教	糸井川 高穂	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 地域デザイン学序論B※						
兼任	助教	中島 昌一	平成28年4月	地域コミュニケーション演習 地域デザイン学序論B※						
兼任	講師	川上 征雄	平成31年4月	国土計画※						
兼任	講師	岡 信彦	平成30年10月	地質工学※						
兼任	講師	印南 洋之	平成31年4月	国土計画※						
兼任	講師	小林 隆志	平成30年10月	地質工学※						
兼任	講師	磯 光夫	平成30年4月	土木工学通論※						
兼任	講師	為国 孝敬	平成30年4月	土木工学通論※						
兼任	講師	阿久津 富弘	平成30年4月	土木工学通論※						
兼任	講師	柴崎 宏一郎	平成30年4月	土木工学通論※						
兼任	講師	石川 裕一郎	平成28年4月	日本国憲法						
兼任	講師	高山 範理	平成31年10月	景観解析						
兼任	講師	永島 徹	平成28年4月	地域デザイン学序論A※						
兼任	講師	坂本 直樹	平成30年10月	財政学						

(注)・設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・**意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
- ・「**事前伺い**」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
5	4	0	2	11	5	4	0	2	11	5	5	0	4	14
(5)	(4)	(0)	(2)	(11)						[0]	[1]	[0]	[2]	[3]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1		該当なし					
2							
合計 (A)			後任補充状況の集計 (B)				
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1		該当なし					
2							
合計 (C)			後任補充状況の集計 (D)				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)			後任補充状況の集計 (B) + (D)				
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

5 教員組織の状況

<共通>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	(学長)	石田 朋靖	平成28年4月	先輩に学ぶ						
兼任	(副学長)	池田 幸	平成28年4月	環境と生物化学						
兼任	(副学長)	藤井 佐知子	平成28年10月	男女共同参画社会を生きる						
兼任	教授	佐々木 史郎 (高)	平成28年4月	人文地理学入門Ⅰ 人文地理学入門Ⅱ 野外調査論						
兼任	教授	橘川 眞彦 (高)	平成28年4月	心理学と人権						
兼任	教授	渡邊 直樹 (高)	平成28年4月	ドイツ語基礎Ⅲ ドイツ語基礎Ⅳ ドイツ語応用Ⅰ ドイツ語応用Ⅱ ドイツ語応用Ⅲ					ドイツ語基礎Ⅲ ドイツ語基礎Ⅳ ドイツ語応用Ⅰ ドイツ語応用Ⅱ ドイツ語文学	カリキュラムの整備により科目を追加(28)
兼任	教授	市川 裕見子 (高)	平成29年4月	Advanced English I (Intensive Reading)						
兼任	教授	渡辺 浩行 (高)	平成29年4月	Advanced English I (Presentation)						
兼任	教授	上田 高嘉 (高)	平成28年4月	基礎生物学						
兼任	教授	茅野 理子 (高)	平成28年10月	ボディ・ランゲージ						
兼任	教授	伊藤 直次 (高)	平成28年10月	水素とエネルギー						
兼任	教授	木村 隆夫 (高)	平成28年4月	地球環境と化学						
兼任	教授	杉山 均 (高)	平成28年4月	教養物理※						
兼任	教授	末廣 啓子 (高)	平成28年4月	人間と社会 キャリアデザイン 社会奉仕活動 国際協力活動 実務体験活動 特別体験活動					人間と社会 キャリアデザイン 社会奉仕活動 国際協力活動 実務体験活動 特別体験活動 課題発見・解決型インターンシップ キャリア形成に資する活動	カリキュラムの整備により科目を廃止(28) カリキュラムの整備により科目を廃止(28) カリキュラムの整備により科目を廃止(28) カリキュラムの整備により科目を廃止(28) カリキュラムの整備により科目を追加(28) カリキュラムの整備により科目を追加(28)
兼任	教授	江川 美知子 (高)	平成28年4月	Overseas Study A Overseas Study B Overseas Study C Overseas Study D						
兼任	教授	幡山 秀明 (高)	平成29年4月	Advanced English I (Intensive Reading)						
兼任	教授	今井 直 (高)	平成28年4月	国際化と人権						
兼任	教授	堀田 直巳 (高)	平成28年4月	物理学入門						
兼任	教授	松居 誠一郎 (高)	平成28年4月	里山のサステイナビリティを考える					里山のサステイナビリティを考える 環境教育	カリキュラムの整備により科目を追加(28)
兼任	教授	東海林 健二 (高)	平成28年10月	グラフィックス入門						
兼任	教授	居城 幸夫 (高)	平成28年4月	食と生命のフィールド実践演習					食と生命のフィールド実践演習	蜂屋大八准教授退職のため担当教員数の変更(28)
兼任	教授	池本 喜代正	平成28年4月	障害者問題入門【隔年】						
兼任	教授	柄木田 康之	平成28年4月	オセアニア民族誌 文化人類学入門 野外調査論						
兼任	教授	陣内 雄次	平成28年4月	住まいづくり・まちづくり入門						
兼任	教授	江川 千佳司	平成28年10月	不思議な化学						
兼任	教授	相田 吉昭	平成28年4月	地球環境と生物事件史						
兼任	教授	小笠原 勝	平成28年4月	雑草と人の暮らし 雑草と里山のフィールド演習Ⅰ 雑草と里山のフィールド演習Ⅱ					雑草と人の暮らし 雑草と里山のフィールド演習Ⅰ 雑草と里山のフィールド演習Ⅱ 地域振興と大学の役割	カリキュラムの整備により科目を追加(28)
兼任	教授	重田 康博	平成28年4月	国際協力論入門						
兼任	教授	佐々木 一隆	平成29年4月	Advanced English I (Communicative Grammar)						
兼任	教授	小宮 秀明	平成28年10月	肥満の科学						
兼任	教授	松本 敏	平成28年4月	仏教における人間形成論						
兼任	教授	山田 洋一	平成28年4月	リメディアル化学						
兼任	教授	和田 義春	平成28年10月	食料生産の生物学						

兼担	教授	大栗 行昭	平成28年4月	栃木県の歴史と文化							
兼担	教授	赤塚 朋子	平成28年4月	オイコス入門							
兼担	教授	飯塚 和也	平成28年4月	3.11と学問の不確かさ※							
兼担	教授	大久保 達弘	平成28年4月	3.11と学問の不確かさ※							
兼担	教授	永井 明	平成28年10月	Webのしくみ							
兼担	教授	梶原 良成	平成28年10月	近現代美術論※							
兼担	教授	守安 敏久	平成28年4月	日本近代文学講読							
兼担	教授	磯谷 玲	平成28年4月	経済学 I							
兼担	教授	丁 貴連	平成28年4月	韓国文学 比較文学 朝鮮語基礎Ⅲ 朝鮮語基礎Ⅳ							
兼担	教授	倪 永茂	平成28年4月	C言語・プログラミング入門							
兼担	教授	下田 淳	平成28年4月	歴史学入門 歴史と民族							
兼担	教授	湯上 登	平成28年4月	物理学最前線							
兼担	教授	横田 隆史	平成28年4月	プログラミング応用							
兼担	教授	長尾 慶和	平成28年4月	食と生命のフィールド実践演習				食と生命のフィールド実践演習		絳屋大八准教授退職のため担当教員数の変更(28)	
兼担	教授	横田 信三	平成28年10月	ノーベル化学賞周辺の化学							
兼担	教授	吉田 一彦	平成28年4月	多言語コミュニケーション学A 多言語コミュニケーション学B							
兼担	教授	MALEE KAEWMANOTHAM	平成28年4月	現代日本の社会 タイ語基礎Ⅲ タイ語基礎Ⅳ							
兼担	教授	日野 圭子	平成28年10月	数や図形の絵本づくり							
兼担	教授	齋藤 高弘	平成28年10月	美味しさを科学するーミシュランガイド字都宮をつくらうー							
兼担	教授	中村 真	平成28年10月	認知心理学入門							
兼担	教授	湯澤 伸夫	平成29年4月	Advanced English I (Speech Clinic)							
兼担	教授	天沼 実	平成28年10月	ことばから見た人間 Advanced English I (Communicative Grammar)							
兼担	教授	小原 伸一	平成28年10月	声楽の魅力							
兼担	教授	松井 貴子	平成28年4月	日本文化A 日本文化B							
兼担	教授	伊藤 聡志	平成28年4月	医用画像工学入門							
兼担	教授	入江 晃亘	平成28年10月	エレクトロニクス科学史							
兼担	教授	古神 義則	平成28年10月	ワイヤレス通信のしくみ							
兼担	教授	飯郷 雅之	平成28年4月	3.11と学問の不確かさ※				3.11と学問の不確かさ※ サイエンスコミュニケーション入門～理系と文系の壁を超えよう		カリキュラムの整備により科目を追加(28)	
兼担	教授	黒後 洋	平成28年10月	バレーボールの科学							
兼担	教授	松島 さくら子	平成28年4月	美術表現基礎※							
兼担	教授	山根 健治	平成28年10月	人間生活と植物							
兼担	教授	山本 美穂	平成28年4月	3.11と学問の不確かさ※							
兼担	教授	松金 公正	平成28年4月	東アジアの宗教と文化 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ 中国語基礎Ⅲ 中国語基礎Ⅳ 中国語応用Ⅰ 中国語応用Ⅱ							
兼担	教授	尾崎 功一	平成28年4月	3.11と学問の不確かさ※							
					兼担	教授	石野 健二 (高)	平成28年10月	声のトレーニング		カリキュラムの整備により科目を追加(28)
					兼担	教授	上田 俊策 (高)	平成28年10月	微生物の化学		カリキュラムの整備により科目を追加(28)
					兼担	教授	杉田 昭崇 (高)	平成28年10月	人体の中の小宇宙		カリキュラムの整備により科目を追加(28)
					兼担	教授	戸田 富士夫 (高)	平成28年10月	創造ものづくり入門		カリキュラムの整備により科目を追加(28)
					兼担	教授	北川 義久	平成28年10月	数学の世界※		カリキュラムの整備により科目を追加(28)
					兼担	教授	秋山 満	平成28年4月	資本論を読む		カリキュラムの整備により科目を追加(28)
					兼担	教授	酒井 一博	平成28年10月	数学の世界※		カリキュラムの整備により科目を追加(28)
					兼担	教授	加藤 謙一	平成28年10月	スポーツトレーニング論		カリキュラムの整備により科目を追加(28)
					兼担	教授	齋藤 潔	平成28年10月	農業と文明		カリキュラムの整備により科目を追加(28)
					兼担	教授	鈴木 啓子	平成28年4月	日本の小説		カリキュラムの整備により科目を追加(28)
					兼担	教授	松原 真理	平成28年10月	創造ものづくり入門		カリキュラムの整備により科目を追加(28)
					兼担	教授	吉澤 史昭	平成28年4月	健康のためなら死んでもいい！?		カリキュラムの整備により科目を追加(28)
兼担	准教授	BENNER BYRON GRANT (高)	平成28年4月	Advanced English I (EAP) Honors English A Honors English B Honors English C Honors English D Honors English E Honors English F Honors English G Honors English H Honors Camp A Honors Camp B Honors Camp C Honors Camp D							

兼担	准教授	野本 義弘	平成30年10月	知的財産権概論							
兼担	准教授	高橋 行継	平成28年4月	食と生命のフィールド実践演習 身近な気象学				食と生命のフィールド実践演習 身近な気象学		絳屋大八准教授退職のため担当教員数の変更(28)	
兼担	准教授	威 傑	平成28年10月	Japanese Communication Arts グローバル化と外国人児童生徒教育※							
兼担	准教授	湯本 浩之	平成28年4月	ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」 ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」							
兼担	准教授	永井 真由美	平成28年10月	健康管理学概論							
兼担	准教授	福井 権	平成28年10月	21世紀を支える熱帯植物							
兼担	准教授	上原 伸夫	平成28年4月	より良く生きる※							
兼担	准教授	柏崎 勝	平成28年4月	食と生命のフィールド実践演習				食と生命のフィールド実践演習		絳屋大八准教授退職のため担当教員数の変更(28)	
兼担	准教授	木下 大輔	平成28年10月	音楽通論							
兼担	准教授	佐々木 和也	平成28年10月	伝統染織と感性							
兼担	准教授	柏倉 隆之	平成28年4月	教養物理※							
兼担	准教授	松村 啓子	平成28年4月	農村空間論 里山のサステイナビリティを考える							
兼担	准教授	大庭 亨	平成28年4月	より良く生きる※							
兼担	准教授	鎌田 美千子	平成28年4月	言語習得論 アカデミック・ジャパニーズ 日本語アカデミック・ライティング 日本語アカデミック・プレゼンテーション グローバル化と外国人児童生徒教育※							
兼担	准教授	米山 正文	平成28年4月	米文学入門 Advanced English I (Intensive Reading)							
兼担	准教授	阪本 公美子	平成28年4月	社会開発入門				社会開発入門 アフリカ学入門		カリキュラムの整備により科目を追加(28)	
兼担	准教授	上原 秀一	平成28年4月	3.11と学問の不確かさ※							
兼担	准教授	Andrew Neal Reimann	平成29年4月	Advanced English I (Speech Clinic)							
兼担	准教授	松本 太輝	平成28年4月	物質・材料の機器分析入門							
兼担	准教授	谷 光生	平成28年4月	Advanced English I (Communicative Grammar) 科学技術のための専門日本語 人文社会系のための専門日本語							
兼担	准教授	丸山 剛史	平成28年4月	遊び論と遊び指導 グローバル化と外国人児童生徒教育※ 科学・技術・教育・社会を考える							
兼担	准教授	渡邊 信一	平成28年4月	人間の感覚を測るものづくり体験							
兼担	准教授	松尾 昌樹	平成28年4月	中東の社会と文化							
兼担	准教授	高橋 若菜	平成28年4月	環境と国際社会							
兼担	准教授	東 剛人	平成28年4月	電気電子数学入門							
兼担	准教授	児玉 剛史	平成28年10月	ゲーム理論入門							
兼担	准教授	高山 道代	平成28年4月	日本文学(古典) 日本語の表記							
兼担	准教授	森田 香緒里	平成28年10月	論理表現の技術							
兼担	准教授	田口 卓臣	平成28年4月	フランス語応用 I フランス語応用 II							
兼担	准教授	石川 隆行	平成28年10月	発達と学習の心理学							
兼担	准教授	熊田 禎介	平成28年10月	教科書に見る歴史と社会							
兼担	准教授	高島 章悟	平成28年10月	器楽合奏概論 管打合奏演習				器楽合奏概論 管打合奏演習		カリキュラムの整備により科目を廃止(28)	
兼担	准教授	本田 悟郎	平成28年10月	近現代美術論※							
兼担	准教授	東口 武史	平成28年4月	振動の科学 放射線科学入門							
兼担	准教授	岩永 将司	平成28年4月	ウイルスの世界と生物の世界							
兼担	准教授	山田 有希子	平成28年4月	西洋思想							
兼担	准教授	佐々木 明子	平成28年4月	Integrated English IA Integrated English IIA							
兼担	准教授	清水 奈名子	平成28年4月	戦争と平和をめぐる諸問題 3.11と学問の不確かさ※							
兼担	准教授	良 香織	平成28年10月	セクソロジー入門 男女共同参画社会を生きる							
兼担	准教授	新井 恵美	平成28年10月	著作権法入門							
兼担	准教授	株田 昌彦	平成28年4月	美術表現基礎※							
兼担	准教授	岡澤 慎一	平成28年4月	障害者心理学 子どもの言語とコミュニケーション入門							
兼担	准教授	谷島 尚宏	平成28年10月	現代数学入門							
					兼担	准教授	三橋 秀生	平成28年10月	数学の世界※		カリキュラムの整備により科目を追加(28)
					兼担	准教授	川原 誠司	平成28年10月	学校臨床心理学		カリキュラムの整備により科目を追加(28)
					兼担	准教授	牧野 智彦	平成28年10月	数学の世界※		カリキュラムの整備により科目を追加(28)
兼担	講師	MORRISON BARBARA	平成28年4月	Advanced English I (Speech Clinic) 日本事情							
兼担	講師	Sueyoshi Ana	平成28年4月	スペイン語応用 I スペイン語応用 II							
兼担	講師	山野 有紀	平成29年4月	Advanced English I (Communicative Grammar)							

兼任	講師	栗原 俊輔	平成28年4月	グローバル・ガバナンス論入門								
兼任	講師	小寺 祐二	平成28年4月	野外における鳥獣識別テクニックの基礎					野外における野生動物識別テクニックの基礎		カリキュラムの整備により科目名称を変更(28)	
兼任	講師	立花 有希	平成28年4月	多文化共生論入門								
兼任	講師	大野 斉子	平成28年4月	ロシア文学 フランス語基礎Ⅲ フランス語基礎Ⅳ								
兼任	講師	堀尾 佳以	平成28年4月	社会言語学概論－日本語の変遷－								
兼任	講師	出羽 尚	平成28年4月	ヨーロッパ地域文化論 芸術と自然 Advanced English I (Intensive Reading)								
兼任	講師	松村 史紀	平成28年4月	国際政治史								
					兼任	講師	久保 元芳	平成28年4月	生活習慣と健康 スポーツと健康(卓球)		カリキュラムの整備により科目を追加(28) カリキュラム充実のため担当教員を追加(28)	
					兼任	講師	関 美芳	平成28年10月	地域環境社会学		カリキュラムの整備により科目を追加(28)	
					兼任	講師	澤崎 文	平成28年10月	日本の古典		カリキュラムの整備により科目を追加(28)	
兼任	助教	原 紳	平成28年10月	ものづくり体験								
兼任	助教	三原 義樹	平成28年10月	インターネットのしくみ								
兼任	助教	中林 正隆	平成28年10月	バイオメテックス入門								
兼任	助教	福森 理加	平成28年4月	食と生命のフィールド実践演習					食と生命のフィールド実践演習		蜂屋大八准教授退職のため担当教員数の変更(28)	
兼任	助教	蜂須賀 美帆	平成28年4月	Integrated English I A Integrated English II A								
					兼任	助教	阿部 容子	平成28年4月	Integrated English I A Integrated English II A		カリキュラム充実のため担当教員を追加(28)	
					兼任	助教	川田 敦人	平成29年4月	Advanced English I (Cinema English)		カリキュラム充実のため担当教員を追加(28)	
					兼任	助教	青野 香央里	平成28年4月	Integrated English I A Integrated English II A		カリキュラム充実のため担当教員を追加(28)	
					兼任	助教	柿谷 命	平成28年4月	Integrated English I A Integrated English II A		カリキュラム充実のため担当教員を追加(28)	
					兼任	助教	佐藤 研仁	平成28年4月	Integrated English I A Integrated English II A		カリキュラム充実のため担当教員を追加(28)	
兼任	講師	松岡 猛	平成28年4月	危機を見つめる力								
兼任	講師	西田 治子	平成28年4月	より良く生きる※								
兼任	講師	佐藤 禎宏	平成28年4月	Mathematicalによる微積分入門 Mathematica入門 Mathematicaによるデータ解析入門								
兼任	講師	池田 勇介	平成28年10月	身のまわりのICT								
兼任	講師	村上 修	平成28年4月	スポーツと健康(サッカー)								
兼任	講師	泉田 スジダ	平成28年4月	タイ語基礎 I タイ語基礎 II タイ語応用 I タイ語応用 II								
兼任	講師	石川 栄壽	平成28年4月	スポーツと健康(サッカー)								
兼任	講師	小林 とし子	平成28年4月	日本文学(古典)								
兼任	講師	池澤 實芳	平成28年4月	中国文学								
兼任	講師	景 慧	平成28年4月	中国語基礎 I 中国語基礎 II								
兼任	講師	Peter Forrest Smith	平成28年4月	Integrated English I B Integrated English II B Advanced English I (TOEIC) Advanced English I (EAP)								
兼任	講師	小川 亮彦	平成28年4月	フランス語基礎 I フランス語基礎 II								
兼任	講師	中村 裕一郎	平成28年4月	グローバル時代の企業経営								
兼任	講師	飯田 敏彦	平成28年4月	スペイン語基礎 I スペイン語基礎 II スペイン語基礎 III スペイン語基礎 IV								
兼任	講師	小野 訓啓	平成28年10月	一地方銀行の歴史に学ぶ“金融経済の仕組み”と“地域金融機関の役割”								
兼任	講師	渡辺 孝雄	平成28年4月	実践企業人材論								
兼任	講師	Markus Franke	平成28年10月	ドイツ語基礎 II								
兼任	講師	佐藤 敬一	平成28年4月	人と人をつなぐ・人と自然をつなぐ B								
兼任	講師	花園 賢一郎	平成28年4月	スポーツと健康(フライングディスク)								
兼任	講師	小川 和彦	平成28年4月	ドイツ語基礎 I								
兼任	講師	若林 正浩	平成28年4月	人と人をつなぐ・人と自然をつなぐ A								
兼任	講師	須賀 晴美	平成29年4月	Advanced English I (Pleasure Reading)								
兼任	講師	酒井 典久	平成28年4月	実践・宇都宮のまちづくり								
兼任	講師	田口 紀男	平成28年4月	とちぎ終章学演習 I								
兼任	講師	Garland Fatsque Rollins Jr.	平成28年4月	Integrated English I B Integrated English II B Advanced English I (EAP) Advanced English I (Media English) Advanced English I (Essay Writing) Advanced English I (TOEIC) Advanced English I (Vocabulary Building) Advanced English I (Presentation)								
兼任	講師	平林 正樹	平成28年4月	働くことの意味と実際 企業のグローバル戦略とキャリア形成								
兼任	准教授	若林 秀樹	平成28年10月	グローバル化と外国人児童生徒教育※								

兼任	講師	Michael Stowe	平成28年4月	Integrated English I B Integrated English II B Advanced English I (Public Speaking) Advanced English I (Presentation) Advanced English I (Vocabulary Building) Advanced English I (Essay Writing) Advanced English I (TOEIC)								
兼任	講師	守永 直幹	平成28年4月	フランス文学 フランス語基礎 I フランス語基礎 II								
兼任	講師	野上 和雄	平成28年10月	資本市場の役割と証券投資								
兼任	講師	齋藤 幸江	平成28年10月	キャリアデザイン								
兼任	講師	上野 剛志	平成28年4月	とちぎ終章学演習 I								
兼任	講師	平井 雅世	平成28年4月	栃木の里山に学ぶ (春夏編) 栃木の里山に学ぶ (秋冬編)								
兼任	講師	大野 直美	平成28年10月	英文学入門								
兼任	講師	谷 (赤堀) 雅人	平成28年4月	里山のサステイナビリティを考える								
兼任	講師	佐藤 淳一	平成28年10月	ことばから見た人間								
兼任	講師	Jack Allen Stowers	平成28年4月	Integrated English I B Integrated English II B Advanced English I (TOEFL) Advanced English I (Public Speaking)								
兼任	講師	吉野 聡	平成28年4月	スポーツと健康 (バレーボール)								
兼任	講師	原田 葉子	平成28年4月	現代美学 芸術学								
兼任	講師	綿貫 (千手) 由実子	平成28年4月	日本国憲法 法学入門								
兼任	講師	平野 哲也	平成28年10月	地域の歴史								
兼任	講師	筒井 真樹子	平成28年4月	朝鮮語基礎 I 朝鮮語応用 I 朝鮮語応用 II								
兼任	講師	名古屋 光彦	平成28年4月	スポーツと健康 (ソフトボール)								
兼任	准教授	蜂屋 大八	平成28年4月	宇大を学ぶ 生きるということ 体験！ぶろじえくと 感じる・考える・話す アクティブにとらえる現代社会 食と生命のフィールド実践演習 「ぶろじえくと」をやってみる	兼任	助教	桑島 英理佳	平成28年10月	宇大を学ぶ	平成28年2月 蜂屋大八准教授退職のため担当教員の変更 (28)		
											生きるということ 体験！ぶろじえくと 感じる・考える・話す アクティブにとらえる現代社会	平成28年2月 蜂屋大八准教授退職のため廃止 (28)
											食と生命のフィールド実践演習	平成28年2月 蜂屋大八准教授退職のため担当教員の変更 (28)
											「ぶろじえくと」をやってみる	平成28年2月 蜂屋大八准教授退職のため廃止 (28)
兼任	准教授	Donal Rory Sean Banwell	平成28年4月	Integrated English I B Integrated English II B Advanced English I (EAP) Advanced English I (Essay Writing) Advanced English I (TOEIC) Honors English A Honors English B Honors English C Honors English D Honors English E Honors English F Honors English G Honors English H								
兼任	講師	Andrew Henderson	平成28年4月	Integrated English I B Integrated English II B Advanced English I (Academic Writing) Advanced English I (Presentation) Advanced English I (Essay Writing)								
兼任	講師	松本 昌宏	平成28年4月	とちぎ終章学演習 II								
兼任	助教	金 英花	平成28年4月	中国事情 グローバル韓国学								
兼任	講師	遠藤 正敬	平成28年4月	政治の世界 現代日本政治論								
兼任	講師	高田 美保	平成28年4月	とちぎ終章学演習 I								
兼任	講師	杉本 隆久	平成28年10月	現代思想 西洋の倫理思想								
兼任	助教	長谷川 詩織	平成28年4月	映像分析の実践 世界のなかの日本文化								
兼任	講師	水野 雄司	平成28年4月	東洋思想								
兼任	講師	西田 (島海) 善行	平成28年10月	マスコミ入門								
兼任	講師	Stephen John Dooley	平成28年4月	Integrated English I B Integrated English II B Advanced English I (Academic Writing) Advanced English I (Media English)								
兼任	講師	小山 悠	平成28年4月	論理学 科学思想史								
兼任	講師	福富 隆史	平成28年10月	起業の実践と理論								
兼任	助教	桑島 英理佳	平成28年10月	成人教育と参加型学習				成人教育と参加型学習 宇大を学ぶ	平成28年2月 蜂屋大八准教授退職のため担当教員の変更 (28)			
兼任	講師	Keith Rodger	平成28年4月	Integrated English I B Integrated English II B Advanced English I (TOEIC) Advanced English I (Discussion&Debate)								
兼任	講師	真壁 大輝	平成29年4月	Advanced English I (Cinema English) Advanced English I (Pleasure Reading)								

兼任	講師	崔 寶允	平成28年4月	朝鮮語基礎Ⅰ 朝鮮語基礎Ⅱ									
兼任	講師	日向野 真知子	平成28年4月	人と人をつなぐ・人と自然をつなぐ A									
兼任	講師	村上 達也	平成28年4月	行動心理学入門 実験心理学入門									
兼任	講師	石井 幹人	平成28年4月	スポーツと健康 (テニス)									
兼任	講師	小倉 圭	平成28年4月	スポーツと健康 (ソフトボール)									
	兼任	講師						兼任	講師	石井 怜子	平成28年10月	日本語アカデミック・リーディングⅠ 日本語アカデミック・リーディングⅡ	カリキュラムの整備により科目 を追加(28) カリキュラムの整備により科目 を追加(28)
								兼任	講師	MCCRUM MICHAEL DAVID	平成29年4月	Advanced English I (Speech Clinic)	カリキュラム充実のため担当教 員を追加(28)
								兼任	講師	内山 勢	平成28年10月	地域メディア演習	カリキュラムの整備により科目 を追加(28)
								兼任	講師	中野 誠	平成28年10月	地域金融機関とともに「地方創生」を考 える	カリキュラムの整備により科目 を追加(28)
								兼任	講師	KIDD JOSHUA ALEXANDR	平成29年4月	Advanced English I (Discussion&Debate)	カリキュラム充実のため担当教 員を追加(28)
								兼任	講師	WARD MICHAEL	平成29年4月	Advanced English I (TOEFL)	カリキュラム充実のため担当教 員を追加(28)
								兼任	講師	村田 宗紀	平成29年4月	スポーツと健康(テニス)	カリキュラム充実のため担当教 員を追加(28)

(注)・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
- ・ 「**事前伺い**」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>設 置 時 (平成27年8月)</p>	<p>「社会統計学」(3年次前期・選択・2単位)は2単位の授業科目のなかで統計学の基礎から多変量解析まで扱う授業計画となっているが、この授業計画では特に後半部分の多変量解析について履修する学生に十分な理解をさせることができるか懸念が大きい。例えば、「社会統計学」の前半部分で学習することとしている内容について、①別に開講予定の「統計学基礎」(2年次後期・選択・2単位)のなかに盛り込むか、あるいは②新たに統計学の入門科目を設けるなどして、「社会統計学」では十分な授業回数をとって多変量解析について体系的に学べるよう配慮することが必要である。統計学分野については、学生が支障なく体系的に学習を進められるよう、開講科目数、配当年次、選択・必修の別にも留意しつつ授業科目の配置の全体的な見直しを行うこと。</p>	<p>留意事項</p> <p>「社会統計学」(3年次前期・選択・2単位)の前半部分で学修することとしている内容を、「統計学基礎」(2年次後期・選択・2単位)の中に盛り込むとともに、「社会統計学」の教育内容を見直し、多変量解析の学修を充実させ、統計学分野での体系的学修を保証する。それに伴い、「統計学基礎」担当教員には当初予定の教員に阪田准教授(「社会統計学」担当)を加え、オムニバスの授業とする。</p> <p>説明資料1 教育課程等の概要(コミュニティデザイン学科専門教育科目) 説明資料2 「社会統計学」授業科目の概要 説明資料3 「社会統計学」シラバス 説明資料4 「統計学基礎」授業科目の概要 説明資料5 「統計学基礎」シラバス</p> <p>(28)</p>	
<p>設 置 時 (平成27年8月)</p>	<p>「公共経済学」(2年次前期・必修・2単位)の授業内容には、ミクロ経済学の基礎的な内容を扱う部分が半分以上含まれ、「公共経済学」で学ぶべき内容全体を十分にカバーする科目内容となっていないため、科目内容を改めて見直すこと。</p> <p>また、必修科目である「公共経済学」を履修する上では、ミクロ経済学の基礎知識は必要不可欠である。ミクロ経済学の基礎的な内容を学ぶ科目として「ミクロ経済学」(1年次後期・選択・2単位)と「経済学概論」(1年次後期・必修・2単位)を置いているが、「ミクロ経済学」は選択科目であり、全ての学生が履修することとはされておらず、一方の「経済学概論」では一部でミクロ経済学を学ぶこととしているものの大半はマクロ経済学に関する内容となっている。例えば、「経済学概論」はマクロ経済学を取り扱う科目として「マクロ経済学」に名称を改め選択科目としたうえで「ミクロ経済学」の方を必修科目とするなど、この分野の体系的な履修が可能となるよう、配当年次や選択・必修の別にも留意しつつ授業科目の内容と配置について見直しを行うこと。</p>	<p>留意事項</p> <p>「公共経済学」(2年次前期・必修・2単位)の授業内容のうち、ミクロ経済学の基礎的な内容は「経済学概論」(1年次前期(後期より変更)・必修・2単位)で扱うこととし、「公共経済学」は地域づくりや社会基盤整備に関連の深い項目を中心に理解する科目、「経済学概論」はミクロ経済学とマクロ経済学の基礎的知識を理解する科目として、それぞれの授業内容を見直す。「経済学概論」は経済学分野の導入的科目として必修科目とし、家計の選好、効用最大化、利潤最大化、需要、供給、完全競争市場などそのミクロ経済学分野の履修を前提に、「公共経済学」を履修する。同科目は、応用経済学を中心となることから必修科目とする。</p> <p>説明資料1 教育課程等の概要(コミュニティデザイン学科:専門教育科目) 説明資料6 「公共経済学」授業科目の概要 説明資料7 「公共経済学」シラバス 説明資料8 「経済学概論」授業科目の概要 説明資料9 「経済学概論」シラバス</p> <p>また、「経済学概論」で取り扱うとしていたマクロ経済学に関わる内容の多くを独立させて、「マクロ経済学」(2年次後期・選択・2単位)を新規に開講する。経済理論の専門的学修のために、導入的科目「経済学概論」の後に、「ミクロ経済学」および「マクロ経済学」を履修できるカリキュラムとする。</p> <p>説明資料10 「マクロ経済学」授業科目の概要 説明資料11 「マクロ経済学」シラバス</p> <p>経済学分野では、このほか「財政学」「経済政策論」を開講することとしているが、「経済政策論」は「マクロ経済学」の後に履修することを想定して、配当年次を3年次前期に変更する。これらのことから、次のような段階的配当年次として、体系的履修を計る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次前期 「経済学概論」(必修) ⇐ 授業内容と配当学期を変更する科目 ・1年次後期 「ミクロ経済学」(選択) ・2年次前期 「公共経済学」(必修) ⇐ 授業内容を変更する科目 ・2年次後期 「マクロ経済学」(選択) ⇐ 追加する科目 ・3年次前期 「経済政策論」(選択) ⇐ 配当年次を変更する科目 ・3年次後期 「財政学」(選択) <p>(28)</p>	

<p>設置時 (平成27年8月)</p>	<p>「社会調査法」のシラバスには量的調査に関する内容は盛り込まれているものの、質的調査に関する内容が盛り込まれていないため、新たに授業科目を追加するなど、「社会調査法」の質的調査に関する充実を図ること。 さらに、本学科の教育課程では、社会調査士資格の認定が取得できないおそれがあることから、資格取得に対応する授業科目の内容や単位数等を十分に確認した上で必要な見直しを行うなど、学生に不利益が生じないよう適切に対応すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>社会調査士資格については、平成28年3月20日に一般社団法人社会調査協会から標準カリキュラムに準拠する授業科目として正式に認定された。 説明資料12 社会調査士科目認定証明書 説明資料13 社会調査士科目意見書 (28)</p>	<p>「社会調査法」において質的調査に関する内容を盛り込むこととし、平成29年度からシラバスを書き換える。 なお、質的調査の内容を含む科目としては、「農村マネジメント」(2年次前期・必修・2単位)、「会話分析入門」(3年次前期・選択・2単位)、「観光学実習」(3年次後期・選択・1単位)を開講することとしており、それらの中で質的調査の教育を充実させることとしている。 (28)</p>
<p>設置時 (平成27年8月)</p>	<p>必修科目として「地域福祉の実際」を追加し、「地域デザイン学序論A」において社会福祉学に関する内容を加えているが、コミュニティデザイン学科において①「地域社会」②「まちづくり」③「社会調査」④「ソーシャルスキル」を学び、「地域対応力」を強化するためには、理系には不足している「人」に着目した社会関係資本や地域ネットワークに関する知見が必要である。そのためには、地域における社会福祉学的観点(高齢者福祉、格差社会、ノーマライゼーション、ワークライフバランス等)や人的資源の活用、雇用の観点について、体系的に学ぶことが重要と考えられることから、上記の対応のみでは不十分である。以下の点に留意し、社会福祉学に関する体系的な教育課程を編成するとともに、開設後の教育課程の見直し等の検討を行うためにも、完成年度までに社会福祉学の専任教員を配置すること。 新たに設けた「地域福祉の実際」は1年次後期の必修科目としているが、「社会福祉学概論」は2年次前期の選択科目、「地域福祉論」は2年次後期の選択科目となっているため、概論を必修科目として履修したうえで各論を学ぶことができるよう、配当年次を含めて改善を図ること。 「地域福祉論」(2年次後期)が隔年開講となっているが、体系的に履修できるよう毎年度開講すること。 地域における福祉を学ぶためには、ソーシャルワークや地域包括ケア等の医療・看護との連携や地域における相談援助技術等に関する内容が重要である。これらの内容を取り扱う科目が配置されていないため、例えば、「地域資源科目群」において地域における福祉や医療のマネジメントについて取り扱う科目を新たに設けるなど、授業科目の充実を図ること。</p>	<p>留意事項</p>		<p>平成28年10月付けで社会福祉学の専任教員を採用する任用計画が認められ、選考委員会を立ち上げ学内選考中である。カリキュラムに関わる対応は、専任教員着任にあわせて平成29年度以降に充実を図る。(28)</p>

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況
 全学委員会及び学部委員会を設置している。

〔全学組織〕教育企画会議及び同教育改善WG（別紙1：「宇都宮大学教育企画会議の運営に関する申合せ」）

基盤教育センター基盤教育企画部門会議（別紙2：「宇都宮大学基盤教育センター規程」）

〔地域デザイン科学部〕学部FD委員会（今後設置予定）

〔各学科〕カリキュラム検討委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

〔全学組織〕教育企画会議及び同教育改善WG（毎月開催予定、地域デザイン科学部委員それぞれ2名と1名）

基盤教育センター基盤教育企画部門会議（月一回程度開催、地域デザイン科学部委員1名）

〔地域デザイン科学部〕学部FD委員会（年数回開催、7名）

〔各学科〕カリキュラム検討委員会

c 委員会の審議事項等

〔全学組織〕教育企画会議・・・全学FDの審議

同教育改善WG・・・全学FDの企画・運営

基盤教育センター・・・アクティブ・ラーニングに関する優良事例のティップス集やアクティブ・ラーニング・マニュアルの作成

〔地域デザイン科学部〕学部FD委員会・・・学部FDの企画・運営

〔各学科〕カリキュラム検討委員会・・・学科FDの企画・運営

② 実施状況

a 実施内容

〔全学組織〕

- ・ アクティブラーニング指導法の研修
- ・ 新任教員のための研修会
- ・ 講演会

〔地域デザイン科学部〕

- ・ 授業方法についての研究会

〔各学科〕

- ・ 教員相互の授業参観

b 実施方法

〔全学組織〕

- ・ アクティブラーニングに関する優良事例のチップス集やアクティブラーニングマニュアルを用いたアクティブラーニング指導法の研修の実施
- ・ 新任教員のための研修会における教育・学生支援のあり方等について講義及び基盤教育センターにおける教育セミナーの開催
- ・ 講演会（主催：教育企画会議教育改善WG）

〔地域デザイン科学部〕

- ・ 授業方法についての学習会（主催：学部FD委員会）

〔各学科〕

- ・ 教員相互の授業参観（主催：各学科カリキュラム検討委員会）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

今後実施予定

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

該当なし

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前後期それぞれで、授業評価期末アンケートを各1回（7月と1月）他、中間アンケートを各1回実施する予定

b 教員や学生への公開状況，方法等

報告書を作成し、教員に対して評価結果を周知するとともに、学生に対しては閲覧の方法により公開している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

地域デザイン科学部は、地域の持続的な発展に関する教育・研究・地域貢献を推進することによって、豊かな生活の実現に貢献することを基本理念とし、コミュニティデザイン学科、建築都市デザイン学科、社会基盤デザイン学科の3学科構成で、地域の課題を理解し、各地域の強み（地域資源・地域特性）を活かしたまちづくりを支える専門職業人を養成することを目指して、平成28年4月から設置計画に基づく教育課程を実現している。

教員配置、施設、設備、授業科目、学部附属の地域デザインセンター等、計画通りに開設できたことにより、満足な状況にある。入学者も定員を充足しており、宇都宮大学の他学部比べて合格者の辞退率が低いなど、受験生からの評価も高いと判断する。

当学部の開設を核とする重点戦略「地域の地の拠点形成」等が高い評価を受け、平成28年度機能強化経費の増額につながり、また、新校舎建設の建設費が、文部科学省施設整備補助金により28、29年度当初予算で措置され、平成29年度中の施設整備の目処がつくなど、計画遂行に向けて順調に進んでいる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

未定

b 公表方法

- ・ 毎年「年次報告書」を作成の予定
- ・ 今後地域の自治体・企業等との協力で設置する「地域デザインネットワーク会議」において報告するとともに、大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 平成27年度に機関別認証評価を実施しており、その後の評価については学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有) ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成28年5月31日)

7 その他全般的事項

<地域デザイン科学部 建築都市デザイン学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。**

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学委員会及び学部委員会を設置している。

〔全学組織〕教育企画会議及び同教育改善WG（別紙1：「宇都宮大学教育企画会議の運営に関する申合せ」はコミュニティデザイン学科に添付のため省略）

基盤教育センター基盤教育企画部門会議（別紙2：「宇都宮大学基盤教育センター規程」はコミュニティデザイン学科に添付のため省略）

〔地域デザイン科学部〕学部FD委員会（今後設置予定）

〔各学科〕カリキュラム検討委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

〔全学組織〕教育企画会議及び同教育改善WG（毎月開催予定、地域デザイン科学部委員それぞれ2名と1名）

基盤教育センター基盤教育企画部門会議（月一回程度開催、地域デザイン科学部委員1名）

〔地域デザイン科学部〕学部FD委員会（年数回開催、7名）

〔各学科〕カリキュラム検討委員会

c 委員会の審議事項等

〔全学組織〕教育企画会議・・・全学FDの審議

同教育改善WG・・・全学FDの企画・運営

基盤教育センター・・・アクティブ・ラーニングに関する優良事例のティップス集やアクティブ・ラーニング・マニュアルの作成

〔地域デザイン科学部〕学部FD委員会・・・学部FDの企画・運営

〔各学科〕カリキュラム検討委員会・・・学科FDの企画・運営

② 実施状況

a 実施内容

〔全学組織〕

- ・ アクティブラーニング指導法の研修
- ・ 新任教員のための研修会
- ・ 講演会

〔地域デザイン科学部〕

- ・ 授業方法についての研究会

〔各学科〕

- ・ 教員相互の授業参観

b 実施方法

〔全学組織〕

- ・ アクティブラーニングに関する優良事例のチップス集やアクティブラーニングマニュアルを用いたアクティブラーニング指導法の研修の実施
- ・ 新任教員のための研修会における教育・学生支援のあり方等について講義及び基盤教育センターにおける教育セミナーの開催
- ・ 講演会（主催：教育企画会議教育改善WG）

〔地域デザイン科学部〕

- ・ 授業方法についての学習会（主催：学部FD委員会）

〔各学科〕

- ・ 教員相互の授業参観（主催：各学科カリキュラム検討委員会）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

今後実施予定

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

該当なし

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前後期それぞれで、授業評価期末アンケートを各1回（7月と1月）他、中間アンケートを各1回実施する予定

b 教員や学生への公開状況，方法等

報告書を作成し、教員に対して評価結果を周知するとともに、学生に対しては閲覧の方法により公開している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

地域デザイン科学部は、地域の持続的な発展に関する教育・研究・地域貢献を推進することによって、豊かな生活の実現に貢献することを基本理念とし、コミュニティデザイン学科、建築都市デザイン学科、社会基盤デザイン学科の3学科構成で、地域の課題を理解し、各地域の強み（地域資源・地域特性）を活かしたまちづくりを支える専門職業人を養成することを目指して、平成28年4月から設置計画に基づく教育課程を実現している。

教員配置、施設、設備、授業科目、学部附属の地域デザインセンター等、計画通りに開設できたことにより、満足な状況にある。入学者も定員を充足しており、宇都宮大学の他学部比べて合格者の辞退率が低いなど、受験生からの評価も高いと判断する。

当学部の開設を核とする重点戦略「地域の地の拠点形成」等が高い評価を受け、平成28年度機能強化経費の増額につながり、また、新校舎建設の建設費が、文部科学省施設整備補助金により28、29年度当初予算で措置され、平成29年度中の施設整備の目処がつくなど、計画遂行に向けて順調に進んでいる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

未定

b 公表方法

- ・ 毎年「年次報告書」を作成の予定
- ・ 今後地域の自治体・企業等との協力で設置する「地域デザインネットワーク会議」において報告するとともに、大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 平成27年度に機関別認証評価を実施しており、その後の評価については学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有) ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成28年5月31日)

7 その他全般的事項

<地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。**

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学委員会及び学部委員会を設置している。

〔全学組織〕教育企画会議及び同教育改善WG（別紙1：「宇都宮大学教育企画会議の運営に関する申合せ」はコミュニティデザイン学科に添付のため省略）

基盤教育センター基盤教育企画部門会議（別紙2：「宇都宮大学基盤教育センター規程」はコミュニティデザイン学科に添付のため省略）

〔地域デザイン科学部〕学部FD委員会（今後設置予定）

〔各学科〕カリキュラム検討委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

〔全学組織〕教育企画会議及び同教育改善WG（毎月開催予定、地域デザイン科学部委員それぞれ2名と1名）

基盤教育センター基盤教育企画部門会議（月一回程度開催、地域デザイン科学部委員1名）

〔地域デザイン科学部〕学部FD委員会（年数回開催、7名）

〔各学科〕カリキュラム検討委員会

c 委員会の審議事項等

〔全学組織〕教育企画会議・・・全学FDの審議

同教育改善WG・・・全学FDの企画・運営

基盤教育センター・・・アクティブ・ラーニングに関する優良事例のティップス集やアクティブ・ラーニング・マニュアルの作成

〔地域デザイン科学部〕学部FD委員会・・・学部FDの企画・運営

〔各学科〕カリキュラム検討委員会・・・学科FDの企画・運営

② 実施状況

a 実施内容

〔全学組織〕

- ・ アクティブラーニング指導法の研修
- ・ 新任教員のための研修会
- ・ 講演会

〔地域デザイン科学部〕

- ・ 授業方法についての研究会

〔各学科〕

- ・ 教員相互の授業参観

b 実施方法

〔全学組織〕

- ・ アクティブラーニングに関する優良事例のチップス集やアクティブラーニングマニュアルを用いたアクティブラーニング指導法の研修の実施
- ・ 新任教員のための研修会における教育・学生支援のあり方等について講義及び基盤教育センターにおける教育セミナーの開催
- ・ 講演会（主催：教育企画会議教育改善WG）

〔地域デザイン科学部〕

- ・ 授業方法についての学習会（主催：学部FD委員会）

〔各学科〕

- ・ 教員相互の授業参観（主催：各学科カリキュラム検討委員会）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

今後実施予定

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

該当なし

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前後期それぞれで、授業評価期末アンケートを各1回（7月と1月）他、中間アンケートを各1回実施する予定

b 教員や学生への公開状況，方法等

報告書を作成し、教員に対して評価結果を周知するとともに、学生に対しては閲覧の方法により公開している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

地域デザイン科学部は、地域の持続的な発展に関する教育・研究・地域貢献を推進することによって、豊かな生活の実現に貢献することを基本理念とし、コミュニティデザイン学科、建築都市デザイン学科、社会基盤デザイン学科の3学科構成で、地域の課題を理解し、各地域の強み（地域資源・地域特性）を活かしたまちづくりを支える専門職業人を養成することを目指して、平成28年4月から設置計画に基づく教育課程を実現している。

教員配置、施設、設備、授業科目、学部附属の地域デザインセンター等、計画通りに開設できたことにより、満足な状況にある。入学者も定員を充足しており、宇都宮大学の他学部比べて合格者の辞退率が低いなど、受験生からの評価も高いと判断する。

当学部の開設を核とする重点戦略「地域の地の拠点形成」等が高い評価を受け、平成28年度機能強化経費の増額につながり、また、新校舎建設の建設費が、文部科学省施設整備補助金により28、29年度当初予算で措置され、平成29年度中の施設整備の目処がつくなど、計画遂行に向けて順調に進んでいる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

未定

b 公表方法

- ・ 毎年「年次報告書」を作成の予定
- ・ 今後地域の自治体・企業等との協力で設置する「地域デザインネットワーク会議」において報告するとともに、大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 平成27年度に機関別認証評価を実施しており、その後の評価については学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有) ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成28年5月31日)